

平成31年度
入学者選抜要項

(大 綱)



長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

平成30年6月

この冊子は「募集要項（願書）」ではありませんので、試験時間・場所等の記載はありません。
出願（インターネット出願）を行う前に、必ず「募集要項」（76 ページ参照）を確認してください。

目 次

平成 31 年度入試の主な変更点	1
インターネット出願について	2
1. アドミッション・ポリシー	3
2. 入学者選抜実施日程	11
3. 募 集 人 員	13
4. 入学者選抜方法等	14
(1) 一 般 入 試	16
(2) アドミッション・オフィス入試（AO入試）	32
(3) 推 薦 入 試	44
(4) 帰 国 子 女 入 試	64
(5) 社 会 人 入 試	67
(6) 外国人留学生入試	69
5. 個別の入学資格審査	73
6. 障がい等のある入学志願者との事前相談	75
7. 学生寮への入居（多文化社会学部へ入学する者）	75
8. 募集要項の発表時期及び入手方法等	76
9. 入試情報の提供	78
(1) 個人成績	78
(2) 正解・解答例等	78
(3) 採点・評価基準	
〔一般入試〕	79
〔推薦入試〕	82
〔社会人入試〕	84
〔外国人留学生入試〕	85
(4) 可否判定基準	
〔一般入試〕	87
〔推薦入試〕	89
〔社会人入試〕	90
〔外国人留学生入試〕	91
10. 平成 30 年度長崎大学入学者選抜状況	92
11. 平成 31 年度入試の主な変更点（詳細）	100
12. 2020 年度長崎大学入学者選抜方法の変更点について（予告）	103
13. 2021 年度長崎大学入学者選抜方法の変更点について（予告）	104

平成31年度入試の主な変更点

(詳細は100～102ページ参照)

【多文化社会学部】

1. 一般入試（前・後期日程）及びAO入試で利用可能な外国語検定試験の変更

【教育学部】

1. 外国人留学生入試の出願要件の変更

【医学部保健学科】

1. 社会人入試の可否判定基準の変更

【歯学部】

1. 一般入試（前・後期日程）の出願書類の追加
2. 一般入試（前期日程）の選抜方法等の変更
3. 一般入試（後期日程）の採点・評価基準の変更
4. 外国人留学生入試の選抜方法等の変更
5. 外国人留学生入試の出願要件の追加及び利用可能な日本留学試験の変更

【薬学部薬学科】

1. 推薦入試の導入
2. 一般入試（後期日程）の募集人員及び選抜方法等の変更

【薬学部薬科学科】

1. AO入試の廃止及び推薦入試の導入

【工学部】

1. AO入試の募集人員，出願要件及び選抜方法等の変更
2. 外国人留学生入試の出願要件の追加及び利用可能な日本留学試験の変更

インターネット出願について

長崎大学では、学部入試（編入学試験除く。）については、インターネットを利用した出願方法を導入しています。紙媒体の出願方法との併用は行いませんので、学生募集要項は、本学ホームページから電子ファイル（PDF形式）をダウンロードして入手又は参照してください。また、各募集要項の発表時期及び入手方法等については、76ページを参照してください。

【インターネット出願を導入している入試区分】

- ①一般入試（前期日程・後期日程） ②AO入試（Ⅰ・Ⅱ） ③推薦入試（Ⅰ・Ⅱ）
④帰国子女入試 ⑤社会人入試 ⑥外国人留学生入試

【インターネットを利用した出願の流れ】※①～④まで行わなければ出願は完了しません。

①入試区分・入試制度の確認（事前準備書類の印刷）



本学HP「入試情報サイト」から「募集要項」をダウンロードし、受験希望の学部・学科等の出願条件・試験科目・出願期間や試験日等を確認します。

※志望理由書等、事前に印刷して準備する書類もありますので、ご注意ください。

②出願情報の登録（一時保存機能付き）



パソコン又はスマートフォンから本学HP「入試情報サイト」のインターネット出願ページにアクセスし、画面の指示に従って登録内容を入力します。

【登録内容】◎入試区分の選択 ◎学部・学科・受験科目等の選択
◎氏名・連絡先等の個人情報の入力

※一時保存機能により、検定料支払いの前に学校の先生や保護者の方の確認も可能です。

③支払い方法の選択・支払い



入学検定料の支払い方法を選択します。

【支払い方法】◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア ◎銀行ATM（ペイジー）
◎ネットバンキング

選択した支払い方法に従って、**支払い期限まで**に入学検定料を支払います。

④必要書類の印刷・郵送



システムから出願確認票を印刷し、自分で準備した調査書等の必要書類とともに封筒に入れます。

その封筒にシステムから印刷した宛名ラベルを貼り、長崎大学へ出願期間に間に合うように**郵送し、出願完了**となります。

【インターネット出願体験デモサイトについて】

本学のインターネット出願を体験できるデモサイトを、平成30年7月頃に公開する予定です。

準備ができましたら、本学ホームページ(<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/faculty/index.html>)で案内します。

また、インターネット出願に関する各種情報を、このホームページで随時お知らせしますので注意してください。

1. アドミッション・ポリシー

〔全学共通のアドミッション・ポリシー〕

長崎大学は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・専門的な知識や技術の習得に必要な知識・技能・理解の基礎が充実している。
- ・ものごとの本質を学修するために必要となる基礎的な論理的・批判的思考力、判断力がある。
- ・日本語・英語・その他の外国語で積極的にコミュニケーションを行おうとする姿勢とその基盤となる基礎的な言語運用力を持っている。
- ・自ら考えようとする態度がある。
- ・自らを高めるために継続的に学ぼうとする態度・意欲がある。
- ・多様性を認め、他者と協働しようとする態度がある。
- ・国際社会、地域社会への関心を持っている。

本学では、これらの資質・素養を大学入試センター試験、個別試験、調査書、小論文・課題論文、実技、面接等により総合的に評価し、入学者の選抜を行います。

〔多文化社会学部のアドミッション・ポリシー〕

多文化社会学部の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎的・基本的知識と教育課程を通して育成される論理的批判的思考力・判断力・表現力を評価します。

また、入学後のカリキュラムを考慮して、選抜にあたっては英語を主とした外国語の運用能力と、多文化状況や異文化への興味・関心、学ぶことへの意欲も重視します。

多文化社会学部は、入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・英語を主とする外国語の運用能力の基礎が充実している。
センター試験の「外国語」の配分、外国語（英語）検定試験の結果の活用、前期日程における個別学力検査「外国語」、外国語（英語）を用いた面接
- ・世界の多文化状況や異文化交流に興味、関心を持ち、グローバルな視点で自ら学ぼうとする意欲がある。
AO入試 I における筆記試験
- ・世界の多文化状況を客観的に捉え、見出された課題の解決に向けて論理的に思考できる。
後期日程における小論文
- ・世界規模の多種多様な考え方や価値観を尊重しつつ、それらについて批判的に思考できる。
前期日程における総合問題

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程 (4コース)	一般入試 前期日程 (オランダ)	一般入試 後期日程 (4コース)	AO入試 I 一般枠 (4コース, オランダ)	AO入試 I グローバル・国際 バカロレア枠 (4コース, オランダ)	帰国子女入試 外国人留学生入試
基礎学力	センター試験	センター試験	センター試験	調査書 自己推薦書	自己推薦書 諸活動の記録 調査書等	提出書類 面接
語学力 (英語)	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験	調査書 自己推薦書 個人面接	自己推薦書 諸活動の記録 調査書等	提出書類 面接
批判的・ 論理的 思考力	個別学力試験	個別学力試験	個別学力試験	個人面接 筆記試験	個人面接 筆記試験	面接
ライティング能力	個別学力試験	個別学力試験	個別学力試験	筆記試験	筆記試験	面接

コミュニケーション・自己表現能力	調査書*	調査書 面接	調査書 面接	調査書 自己推薦書 個人面接	自己推薦書 諸活動の記録 調査書等 個人面接	面接
多文化状況への興味・関心	個別学力試験	個別学力試験 面接	個別学力試験 面接	調査書 自己推薦書 個人面接	自己推薦書 諸活動の記録 調査書等 個人面接	面接

* 2020 年度入試に向けて検討中

【教育学部のアドミッション・ポリシー】

教育学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
- ・ 専門的な学修に必要な基礎的な論理的・批判的思考力や判断力、表現力がある。
- ・ 児童・生徒および保護者、同僚その他の人々との良好な対人関係を構築するために必要な非言語的要素を含むコミュニケーション能力がある。
- ・ 主体的に学修を継続し、発展させようとする意欲と態度がある。
- ・ 現代の教育課題への関心を持ち、教職を志望している。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	推薦入試 I	AO入試 I	外国人留学生 入試
基礎学力	センター試験	センター試験	調査書	調査書	日本留学試験 個別学力試験
思考力・判断力・表現力	個別学力試験	小論文	小論文等	課題論文 自己表現	個別学力試験
コミュニケーション能力	調査書等*	調査書*	面接	面接	面接
教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度	調査書等*	調査書*	面接 調査書 推薦書 志望理由書	面接 調査書 自己推薦書 諸活動の記録	面接

* 平成 31 年度入試においては参考資料とする。

【経済学部のアドミッション・ポリシー】

経済学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 基礎的学力が身についている。
- ・ 論理的思考力が身についている。
- ・ 英語を含むコミュニケーション力が身についている。
- ・ 強い学習意欲、主体性や行動力がある。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	AO 入試 I	推薦 入試 I	外国人留学生 入試	社会人 入試
基礎的学力が身につけている	センター試験 個別学力検査	センター試験 個別学力検査 (小論文)	課題論文	小論文	小論文 英語外部試験	小論文
論理的思考力が身につけている	センター試験 個別学力検査	センター試験 個別学力検査 (小論文)	課題論文	小論文	小論文	小論文
コミュニケーション 力が身につけている	センター試験 個別学力検査	センター試験 個別学力検査 (小論文)	課題論文 諸活動の記録 調査書 面接	小論文 調査書 面接	小論文 面接 英語外部試験 日本留学試験	小論文 面接
学習意欲、主体性や行 動力がある	—*	—*	自己推薦書 諸活動の記録 調査書 面接	調査書 面接	面接	面接

*2020 年度入試に向けて検討中

【医学部（医学科）のアドミッション・ポリシー】

医学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・入学後の学修に必要な基礎学力を有している。
医学に関する専門的知識を修得するために必要な科学的素養を広く有する。
専門的情報を収集・理解する上で必要な日本語および英語の読解力・表現力を有する。
- ・医学・医療分野の職業に生涯にわたり従事するというプロフェッショナルリズムを認知して、強い目的意識と高い志を持つ。また、その実践のために必要な思考力、判断力を有する。
- ・生命の尊厳を重んじ、高い倫理観と豊かな人間性を持つ。
- ・チーム医療への貢献のために必要な協調性、コミュニケーション能力、リーダーシップと強い責任感を有する。
- ・広く生命科学分野への探求心を有し、さらに、社会的諸問題や国際問題などへのグローバルな問題意識を常に持つ。
- ・地域社会における問題点解決に取り組む積極性を有する。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	推薦入試 II	外国人留学生入試
基礎学力	センター試験 個別学力試験	推薦書 調査書	日本留学試験 個別学力試験
読解力・表現力	センター試験 個別学力試験	センター試験	日本留学試験 個別学力試験
コミュニケーション能力	面接	面接	面接
思考力・判断力・表現力	センター試験 個別学力試験	推薦書 志望理由書	日本留学試験 個別学力試験

態度・意欲 倫理性・共感性 協調性・リーダーシップ 社会的関心	調査書* 面接	調査書 推薦書 志望理由書 面接	面接
--	------------	---------------------------	----

*2020 年度入試に向けて検討中

【医学部（保健学科）のアドミッション・ポリシー】

保健学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
- ・対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力がある。
実習では患者さんやその家族との間に良好な信頼関係を構築する必要があることから、非言語的要素を含むコミュニケーション能力を重視します。そのため全ての入学試験に面接を課します。
- ・専門的な学修に必要となる基礎的な論理的・批判的思考力や判断力，表現力がある。
- ・主体的に学修を継続する態度と意欲がある。
- ・基礎的な倫理性と，他者への共感性や協調性，リーダーシップを持つ。
- ・国際社会や地域社会における保健への関心がある。
- ・国際的な学術文献の講読に必要な基本的な英語読解力がある。
最新の科学的根拠を収集するために必要な英語読解力の基礎が養われていることを重視します。そのため前期日程と外国人留学生入試では個別試験で英語，後期日程と推薦入試Ⅰでは小論文で英語の問題を課します。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	推薦入試Ⅰ	外国人留学生 入試
基礎学力	センター試験	センター試験	推薦書 調査書	日本留学試験
コミュニケーション能力	面接	面接	面接	面接
思考力・判断力・表現力	センター試験 個別学力試験	センター試験 小論文	推薦書 小論文	面接
態度・意欲 倫理性・共感性 協調性・リーダーシップ 社会的関心	調査書 面接	調査書 面接	調査書 推薦書 志望理由書 面接	面接
英語読解力	センター試験 個別学力試験	センター試験 小論文	小論文	個別学力試験

【歯学部のアドミッション・ポリシー】

【一般コース】

歯学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・専門科目の修学に要する基礎学力を有している。
- ・専門科目の修学に要する思考力，判断力，表現力を有している。
- ・歯科口腔医学，歯科口腔医療に対する強い関心と明確な目的意識ならびに使命感を持っている。
- ・コミュニケーション能力と協調性を持っている。

【歯学研究コース】

一般コースに加え，以下の資質・素養を求めます。

- ・将来我が国の最先端歯科口腔医療，歯科口腔医学または歯科口腔医学教育を担うことを目指し，本学部卒業後，大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）に進学するための，歯学研究コースを履修することを確約し，遂行する強い意思を持っている。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	AO入試Ⅱ	外国人留学生入試
基礎学力	センター試験 調査書*	センター試験 調査書*	センター試験 調査書	日本留学試験 修了（修了見込）証明書 および成績証明書
思考力，判断力， 表現力	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験	センター試験 課題論文	日本留学試験 個別学力試験
歯科口腔医学，歯 科口腔医療に対す る強い関心と明確 な目的意識ならび に使命感	面接 志願調書	面接 志願調書	面接	面接
コミュニケーション 能力と協調性	面接	面接	面接 諸活動の記録	面接
最先端歯科医療， 歯学研究，歯学教 育を担うことを目 指し，大学院に進 学する強い意思			面接 自己推薦書	

* 平成 31 年度入試においては参考資料とする。

【薬学部のアドミッション・ポリシー】

<薬学科（6年制）>

薬学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・幅広い知識と十分な基礎学力がある。
- ・専門的な学修に必要な数学と理科の学力が優れている。
- ・英語論文の読解・解説をはじめ，グローバルな視点を持って社会に貢献するために必要な英語の学力が優れている。
- ・論理的な思考能力や問題解決能力を持つ。
- ・協調性やコミュニケーション能力を持つ。
- ・薬学，生命科学に高い関心があり，研究や持続的な学修への意欲を持つ。

選抜方法に関する別表（薬学部 薬学科）

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	推薦入試Ⅱ	外国人留学生 入試
基礎学力	センター試験	センター試験	センター試験	日本留学試験

数学，理科，英語の学力	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験	センター試験 面接	日本留学試験 個別学力試験
思考能力，問題解決能力	個別学力試験	個別学力試験 面接	面接	個別学力試験 面接
協調性，コミュニケーション 能力，関心，意欲	調査書*	調査書* 面接	推薦書 調査書 志望理由書 面接	面接

*2020 年度入試に向けて検討中

<薬科学科（4年制）>

薬科学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・幅広い知識と十分な基礎学力がある。
- ・専門的な学修に必要な数学と理科の学力が優れている。
- ・英語論文の読解・解説をはじめ，グローバルな視点を持って社会に貢献するために必要な英語の学力が優れている。
- ・論理的な思考能力や問題解決能力を持つ。
- ・積極的な自己表現力や行動力を持つ。
- ・薬学，生命科学に高い関心があり，研究や持続的な学修への意欲を持つ。

選抜方法に関する別表（薬学部 薬科学科）

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	推薦入試Ⅱ	外国人留学生 入試
基礎学力	センター試験	センター試験	センター試験	日本留学試験
数学，理科，英語の学力	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験	センター試験 面接	日本留学試験 個別学力試験
思考能力，問題解決能力	個別学力試験	個別学力試験	面接	個別学力試験 面接
自己表現力，行動力，関 心，意欲	調査書*	調査書*	推薦書 調査書 志望理由書 面接	面接

*2020 年度入試に向けて検討中

【工学部のアドミッション・ポリシー】

工学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・数学，物理，化学，英語の基礎学力が充実している。
- ・論理的思考力を有する。
- ・地域社会やグローバル社会に技術者として貢献する強い意志がある。
- ・地球と自然環境に配慮した循環型社会の実現への強い関心を持っている。
- ・物質・エネルギー・情報技術の創出と高効率利用法の発展に関心をもっている。
- ・基本的な倫理観と安全への意識がある。
- ・社会性に富む。
- ・主体性がある。
- ・実行力がある。
- ・継続して学修する意欲や態度がある。

選抜方法に関する別表

求める資質等 \ 入試区分	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	AO入試 I	AO入試 II	帰国子女入試 外国人留学生入試
数学・理科・英語の基礎学力	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験 (総合問題)	面接（口述試験を含む） または 小テスト	センター試験	面接（口述試験を含む）
論理的思考力を有する	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験 (総合問題)	面接（口述試験を含む） または 小テスト	センター試験	面接（口述試験を含む）
基礎的な倫理観と安全への意識がある	—*	—*	面接（口述試験を含む） 調査書	面接 調査書	面接（口述試験を含む）
継続して学修する意欲や態度がある	—*	—*	面接（口述試験を含む） 調査書	面接 調査書	面接（口述試験を含む）
社会性に富む、主体性がある、実行力がある	—*	—*	面接（口述試験を含む） 調査書	面接 調査書	面接（口述試験を含む）
地域社会やグローバル社会に技術者として貢献する強い意志がある	—*	—*	面接（口述試験を含む） 調査書	面接 調査書	面接（口述試験を含む）

*2020 年度入試に向けて検討中

【環境科学部のアドミッション・ポリシー】

環境科学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 多様な環境科学を学修する基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実していること。
このため、センター試験では幅広い科目に対して配点しています。また、選抜方法 A（文系受験）では国語、選抜方法 B（理系受験）では理科の配点を高くしています。
- 環境をめぐる諸問題に強い関心を持ち、環境科学を学ぶ意欲にあふれ、主体的に学修を継続する姿勢があること。
このため、後期日程や推薦入試、外国人留学生入試等における面接では、これらの資質・素養を評価します。
- 学修・研究に必要な基本的な英語能力があること。
このため、センター試験による評価では英語の配点が高く、前期日程の選抜方法 A（文系受験）の個別学力検査でも英語を課し、選抜方法 B（理系受験）では英語を選択可能な科目として位置づけています。
- 責任感や正義感が強く、協調性と思いやりがあり、社会に対する奉仕の志があること。
このため、推薦入試では、調査書をもとにこれらの資質を評価します。

選抜方法に関する別表

求める資質等 \ 入試区分	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	推薦入試 II	外国人留学生入試
基礎学力	センター試験	センター試験	センター試験	小論文 日本留学試験

読解力・判断力・表現力	センター試験 個別学力試験	センター試験 面接	調査書 面接	小論文 面接
英語読解力	センター試験 個別学力試験	センター試験	センター試験	面接
意欲・積極性，環境への 関心度，思考力	_*	面接	調査書 面接	面接

*2020 年度入試に向けて検討中

【水産学部のアドミッション・ポリシー】

水産学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・海洋環境，海洋生物に代表される水圏と社会の関わりに強い関心を持っている。
- ・将来，水産・海洋研究の発展に貢献し，国際的な視野で活躍するために必要となる幅広い内容に柔軟に対応できる問題解決能力を有している。
- ・将来，国内外の第一線で活躍し各分野のリーダーになれるような自主的，主体的学修・研究姿勢を有している。
- ・知識偏重ではなく，将来，実社会で活躍できる論理的思考能力を有している。
- ・諸課題を解決するために必要な基礎的知識や技能を習得している。

選抜方法に関する別表

入試 区分 求める 資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	AO入試 I	推薦入試 I	帰国子女 入試	外国人 留学生 入試
基礎的知識・ 技能	センター試験 個別学力試験	センター試験	諸活動の記録 調査書 小テスト	調査書 学校推薦書 面接	小論文 面接	面接
論理的思考力	_*	_*	課題論文 小テスト	面接	小論文 面接	面接
学修・研究姿勢	_*	面接	諸活動の記録 自己推薦書 面接	面接	面接	面接
問題解決能力	センター試験 個別学力試験	センター試験	課題論文 小テスト	_*	_*	_*
水圏と社会の 関わりへの関 心	_*	面接	自己推薦書 面接	志望理由書 面接	面接	面接

*2020 年度入試に向けて検討中

2. 入学者選抜実施日程

※試験時間・場所等は各入試区分の「募集要項」に記載予定。
「募集要項」の発表時期や入手方法等は76ページ参照。

〔一般入試〕

実施日程

区 分	学 部 名	募集要項 発表予定	出願期間	試 験 日	合格者発表	入学手続
前 期 日 程	全 学 部	11月下旬	1/28(月) ～ 2/ 6(水)	2/25(月) *教育学部中学校 教育コース技術 専攻、医学部医 学科及び歯学部は、 2/26(火) も実施する。	3/ 8(金)	3/14(木) 3/15(金)
後 期 日 程	全 学 部			3/12(火)		

〔アドミッション・オフィス入試（AO入試）〕

区 分 (注1)	学 部 名	募集要項 発表予定	出願期間	第1次選考 結果発送	第2次選考日	合格者発表	入学手続
A O 入 試 I	水産学部	7月上旬	9/ 3(月) ～ 9/ 7(金)	10/ 1(月)	10/11(木) 10/12(金)	10/24(水)	12/ 3(月)
	多文化社会学部				10/13(土) (注2)		
	経済学部						
	工学部						
	教育学部	10/13(土) 10/14(日)					
A O 入 試 II	歯学部	11/ 8(木) ～ 11/14(水)	12/ 6(木)	1/25(金)	2/12(火)	2/19(火)	
	工学部			1/29(火)			

注1) 「AO入試I」は大学入試センター試験を課さないもの、「AO入試II」は大学入試センター試験を課すものを表す。

2) AO入試Iの第2次選考日で、工学部は志願者多数の場合、選考が翌10月14日(日)にわたることがある。

〔推薦入試, 帰国子女入試, 社会人入試, 外国人留学生入試〕

区 分 (注1)	学 部 名	募集要項 発表予定	出願期間	試 験 日	合格者発表	入学手続
推薦入試Ⅰ	経済学部 医学部 (保健学科) 水産学部	9月上旬	11/1(木) ～ 11/7(水)	11/15(木) (注2)	12/6(木)	12/21(金)
	教育学部			11/21(水) (注3)		
推薦入試Ⅱ	薬学部		12/17(月) ～ 12/21(金)	1/24(木)	2/12(火)	2/19(火)
	医学部 (医学科) 環境科学部			1/25(金)		
	多文化社会学部		11/1(木) ～ 11/7(水)	11/14(水)	12/6(木)	12/21(金)
水産学部	11/15(木)					
工学部	1/30(水)			2/12(火)	2/21(木)	
社会人入試	経済学部 (夜間主コース) 【11月期】		10/15(月) ～ 10/19(金)	11/3(土)	11/22(木)	12/21(金)
	医学部 (保健学科)		2/12(火) ～ 2/18(月)	3/2(土)	3/14(木)	3/26(火)
	経済学部 (夜間主コース) 【3月期】					
外国人留学生入試	多文化社会学部 経済学部 工学部 環境科学部		11/16(金) ～ 11/22(木)	1/30(水) (注4)	2/12(火)	2/21(木)
	水産学部			2/1(金)		
	教育学部 医学部 歯学部 薬学部	2/25(月)		3/8(金)	3/14(木) 3/15(金)	
		*教育学部中学校 教育コース技術 専攻及び医学部 は2/26(火)も実施 する。				

- 注1) 「推薦入試Ⅰ」は大学入試センター試験を課さないもの, 「推薦入試Ⅱ」は大学入試センター試験を課すものを表す。
 2) 推薦入試Ⅰの試験日で, 水産学部は志願者多数の場合, 面接が翌11月16日(金)にわたることがある。
 3) 推薦入試Ⅰの試験日で, 教育学部は志願者多数の場合, 面接が翌11月22日(木)にわたることがある。
 4) 外国人留学生入試の試験日で, 工学部は志願者多数の場合, 選考が翌1月31日(木)にわたることがある。

3. 募集人員

学部	学科等		入学定員	募集人員									
				一般入試 (分離・分割方式)		アドミッション・ オフィス入試		推薦入試		帰国 子女 入試	社会人 入試	外国人 留学生 入試	
				前期 日程	後期 日程	AO 入試Ⅰ	AO 入試Ⅱ	推薦 入試Ⅰ	推薦 入試Ⅱ				
多文化社会学部	多文化社会学科	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	100	68	10	12					若干人		若干人
		オランダ特別コース		7		3					若干人		若干人
	小計		100	75	10	15							
教育学部	小学校 教育 コース	子ども理解実践専攻 教科授業実践専攻 ICT活用実践専攻 多文化理解実践専攻	240	55	15	15		40					若干人
		国語専攻		5				3					若干人
	社会専攻	5					3					若干人	
	数学専攻	7					2					若干人	
	理科専攻	7					3					若干人	
	中学校 教育 コース	音楽専攻		4				1					若干人
		美術専攻		4				1					若干人
		保健体育専攻		5				2					若干人
		技術専攻		3				2					若干人
		家庭専攻		3				2					若干人
		英語専攻		5				3					若干人
		幼稚園 教育 コース		芸術的感性開発専攻				10					
	こども保育専攻			15				5					若干人
	特別支援教育コース				7	3	1		4				
小計			240	125	18	26		71					
経済学部	総合経済学科	昼間コース	265	190	40	15		20					若干人
		夜間主コース	60								60		
	小計			325	190	40	15		20			60	
医学部	医学科		120	76					44				若干人
	保健 学科	看護学専攻	70	48	10		10					2	若干人
		理学療法学専攻	18	10	5		2					1	若干人
		作業療法学専攻	18	10	5		2					1	若干人
		計	106	68	20		14					4	
小計			226	144	20		14	44			4		
歯学部	歯学科		50	33	7		10						若干人
薬学部	薬学科		40	30	6				4				若干人
	薬科学科		40	21	15				4				若干人
	小計			80	51	21			8				
工学部	工 学 科	機械工学コース	380	263	50		6	5			若干人		若干人
		電気電子工学コース				10	2			若干人		若干人	
		情報工学コース				4	4			若干人		若干人	
		構造工学コース				7	5			若干人		若干人	
		社会環境デザイン工学コース				13	2			若干人		若干人	
		化学・物質工学コース				6	3			若干人		若干人	
小計			380	263	50	46	21						
環境科学部	環境科学科	選抜方法A(文系)	130	40	13				6				8
		選抜方法B(理系)		40	13			6	4				
	小計			130	80	26			16				8
水産学部	水産学科		110	45	45	5		15			若干人		若干人
合計			1,641	1,006	237	107	31	120	68		64	8	

注1)「AO入試Ⅰ」及び「推薦入試Ⅰ」は大学入試センター試験を課さないもの、「AO入試Ⅱ」及び「推薦入試Ⅱ」は大学入試センター試験を課すものを表す。

- 2) アドミッション・オフィス入試、推薦入試及び社会人入試(医学部保健学科)による入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般入試の前期日程の募集人員に加えて選抜する。
- 3) 外国人留学生入試(環境科学部)による入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般入試の募集人員に加えて選抜する。
- 4) 多文化社会学部の国際公共政策コース、社会動態コース、共生文化コース及び言語コミュニケーションコースについては、1年次終了時にコースを決定する。
- 5) 教育学部小学校教育コースの各入試並びに幼稚園教育コースの推薦入試及び外国人留学生入試はコースで募集し、入学時に専攻を決定する。
- 6) 工学部工学科の一般入試は工学科全体で募集し、合格発表時にコースを決定する。(合格者のコース決定方法は、P17「②入学者選抜方法等オ」の項を参照のこと。)

4. 入学者選抜方法等

【選抜方法の概要】

* 一般入試, アドミッション・オフィス入試 (AO入試)

(○は実施するもの, ×は実施しないものを表す。)

学部・学科名等		一般入試 (個別学力検査等)							AO入試		備考 〔欠員補充方法等〕				
		個別学力検査を課す	実技検査等			2段階選抜									
			実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査を行う	第1段階の選抜合格者				第2段階の選抜			
多文化社会学部		国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース (注1)	前期日程	○	×	×	×	×	○	×	○ (注2)	○	×	入学定員に欠員が生じたときは、原則として追加合格者を決定し補充することとするが、欠員補充第2次募集を行うこともある。	
			後期日程	×	×	○	○	×	○	×	○ (注2)				
		オランダ特別コース	前期日程	○	×	○	×	×	○	×	○ (注2)				
			後期日程は実施しない						×	×	×				
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×		
			後期日程	×	×	×	×	○	×						
		国語専攻	前期日程	○	×	×	×	×	×						
			後期日程は実施しない												
		社会専攻	前期日程	○	×	×	×	×	×						
			後期日程は実施しない												
		数学専攻	前期日程	○	×	×	×	×	×						
			後期日程は実施しない												
		理科専攻	前期日程	○	×	×	×	×	×						
			後期日程は実施しない												
		音楽専攻	前期日程	○	○	○	×	×	×						
			後期日程は実施しない							×	×	×	×	×	
		美術専攻	前期日程	○	○	×	×	×	×						
			後期日程は実施しない												
		保健体育専攻	前期日程	○	○	×	×	×	×						
			後期日程は実施しない												
技術専攻	前期日程	○	×	○	×	×	×								
	後期日程は実施しない														
家庭専攻	前期日程	×	×	×	×	○	×								
	後期日程は実施しない														
英語専攻	前期日程	○	×	×	×	×	×								
	後期日程は実施しない														
幼稚園教員養成課程	芸術的感性開発専攻	前期日程及び後期日程は実施しない						×	×	×	○	×			
	こども保育専攻	前期日程	○	×	×	×	×				×	×			
	後期日程は実施しない							×	×	×	×	×			
特別支援教育コース	前期日程	○	×	×	×	×	×				○	×			
	後期日程	×	×	×	×	○	×				○	×			
経済学部	昼間コース	前期日程	○	×	×	×	×				○	×			
		後期日程	×	×	×	○	×								
	夜間主コース	前期日程及び後期日程は実施しない						×	×	×	×	×			
医学部	医学科	前期日程	○	×	○	×	×		○	約5倍	×	×	×		
		後期日程は実施しない							×	×					
	保健学科	前期日程	○	×	○	×	×				×	×	×		
後期日程		×	×	○	○	×					×	×			
歯学部		前期日程	○	×	○	×	×				×	×	○		
		後期日程	○	×	○	×	×								
薬学部	薬学科	前期日程	○	×	×	×	×				×	×	×		
		後期日程	○	×	○	×	×		○	○ (注3)		×	×		
	薬科学科	前期日程	○	×	×	×	×				×	×	×		
後期日程		○	×	×	×	×									
工学部		前期日程	○	×	×	×	×				○	○			
		後期日程	○	×	×	×	×								
環境科学部	選抜方法A (文系受験)	前期日程	○	×	×	×	×				×	×			
		後期日程	×	×	○	×	×								
	選抜方法B (理系受験)	前期日程	○	×	×	×	×				×	×			
後期日程		×	×	○	×	×									
水産学部		前期日程	○	×	×	×	×		○	×	○ (注4)	○	×		
		後期日程	×	×	○	×	×		×	×	×				

注1) 多文化社会学部の国際公共政策コース、社会動態コース、共生文化コース及び言語コミュニケーションコースについては、1年次終了時にコースを決定する。

注2) 多文化社会学部における一般入試の2段階選抜の詳細は、16ページ記載の「(1) 一般入試 ②入学者選抜方法等 ア. 多文化社会学部」を参照すること。

注3) 大学入試センター試験の3教科5科目の合計得点が600点満点中480点以上の者

注4) 大学入試センター試験の5教科7科目又は5教科8科目の合計得点が900点満点中450点以上の者

* 推薦入試, 帰国子女入試, 社会人入試, 外国人留学生入試等

(○は実施するもの, ×は実施しないものを表す。)

学部・学科名等		推 薦 入 試							帰国子女, 社会人等のための入学者選抜			備 考		
		入学定員の一部について, 出身学校長の推薦に基づき, 学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する							帰国子女	社会人	外国人留学生			
		個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する (推薦Ⅰ)	個別学力検査を免除し, 大学入試センター試験を課す (推薦Ⅱ)	実 技 検 査 等									その他	
実技検査を課す	面接を行う			小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す									
多文化社会学部		×	×	×	×	×	×	×	○	×	○			
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○		
		中学校教育コース	国語専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	
			社会専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	
			数学専攻	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	
			理科専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	
			音楽専攻	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	
			美術専攻	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	
			保健体育専攻	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	
			技術専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	
			家庭専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	
			英語専攻	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	
		幼稚園教育コース	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○		
	特別支援教育コース	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○			
経 済 学 部	昼間コース	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○			
	夜間主コース	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×			
医 学 部	医 学 科		×	○	×	○ (注1)	×	×	×	×	○			
		保健学科	看護学専攻	○	×	×	○	○	×	×	○	○		
	理学療法学専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○			
	作業療法学専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○			
歯 学 部		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○			
薬 学 部	薬学科	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○			
	薬科学科	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○			
工 学 部		×	×	×	×	×	×	×	○	×	○			
環境科学部	選抜方法A (文系受験)	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○			
	選抜方法B (理系受験)													
水 産 学 部		○	×	×	○ (注2)	×	×	×	○	×	○			

注1) 推薦入試D (グローバルヘルス研究医枠)については, 日本語による面接に併せて, 英語による面接も行う。

注2) 面接の中で, 論理的思考能力及び英語能力を問う口述を含む。

(1) 一般入試

① 出願資格

次のア～ケのいずれかに該当する者で、かつ、平成31年度大学入学者選抜大学入試センター試験において、本学が指定した教科・科目を受験したものとします。

ア. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者

イ. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者

ウ. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

エ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者

オ. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者

カ. 文部科学大臣の指定した者

キ. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成31年3月31日までに合格見込みの者で平成31年3月31日までに18歳に達するもの

ク. 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

ケ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの

② 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、高等学校長等から提出された調査書の審査を総合して行います。

ただし、大学入試センター試験において、志望する学部・学科等が指定した教科・科目を全科目受験していなければ、本学・学部に出願できません。

また、個別学力検査等において、志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を全科目受験していなければ、合格者とはなれません。

上記によるほか、多文化社会学部（前・後期日程）、経済学部（前期日程）、医学部医学科（前期日程）、薬学部薬学科（後期日程）、工学部（前・後期日程）、環境科学部（前・後期日程）及び水産学部（前期日程）については次の方法により入学者の選抜を行います。

ア. 多文化社会学部（前・後期日程）

1) <前期日程>

大学入試センター試験の外国語の得点率が80%以上の者又は次の i) と ii) の両方を満たした者は第1段階選抜の合格者としてします。

i) 大学入試センター試験の外国語の得点率が75%以上

ii) 多文化社会学部が指定する大学入試センター試験の教科・科目のうち、外国語を除いた3教科3科目又は3教科4科目の得点を、多文化社会学部が定める前期日程の配点比率に換算した合計点100点満点中75点以上（75%以上の得点率）

<後期日程>

大学入試センター試験の外国語の得点率が85%以上の者又は次の iii) と iv) の両方を満たした者は第1段階選抜の合格者としてします。

iii) 大学入試センター試験の外国語の得点率が80%以上

iv) 多文化社会学部が指定する大学入試センター試験の教科・科目のうち、外国語を除いた2教科2科目の得点を、多文化社会学部が定める後期日程の配点比率に換算した合計点100点満点中80点以上（80%以上の得点率）

2) 1) にかかわらず、大学入試センターが発表する大学入試センター試験（本試験）平均点（中間集計その2）における英語の平均点（筆記試験とリスニングテストの平均点の合計を200点満点に換算）が、115点を下回る場合は、1) の得点率（英語に限る。）を見直すことがあります。

なお、得点率の見直しの有無及び見直し後の得点率は、平成31年1月25日頃に長崎大学ホームページ（入試情報サイト）で発表します。

3) TOEFL iBT 61点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定（英検）準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能) 1140点以上、GTEC(3技能) 700点以上、GTEC for STUDENTS(L&R&W) 700点以上、GTEC for STUDENTS

(L&R&W)+(S) 850点以上、GTEC CBT 1040点以上又は TEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有する者で出願時に申請したものは、大学入試センター試験の外国語の得点を満点として取り扱う。よって、第1段階選抜の合格者とします。ただし、外国語検定試験のスコア・級を申請する場合であっても、大学入試センター試験における「外国語」を受験する必要があります。

注1) 外国語検定試験は、平成29年1月以降に受験した試験に限ります。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を平成29年1月以降に受験した試験とします。

注2) 外国語検定試験は公式スコアを対象とし、TOEFL ITP、TOEIC IP及びGTEC (GTEC for STUDENTS (L&R&W) 含む。)(OFFICIAL SCOREの印字がないもの)は対象としません。

イ. 経済学部(前期日程)

配点A及び配点Bの2つの配点方式を用いて入学者の選抜を行います。(詳細は22, 23ページ記載の「一般入試の実施教科・科目等及び配点」並びに29ページ記載のiii「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄の(注16)及び(注17)を参照してください。)

ウ. 医学部医学科(前期日程)

入学志願者が前期日程においては募集人員(76人)の約5倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施することが極めて困難となるため、大学入試センター試験の成績により第1段階の選抜を行い、個別学力検査等の受験者を決定します。

エ. 薬学部薬学科(後期日程)

薬学部が指定する大学入試センター試験の3教科5科目の合計点が600点満点中480点以上の者を第1段階選抜の合格者とします。

オ. 工学部(前・後期日程)

工学部工学科における合格者のコースは、受験者が出願時に届け出た第1～4希望のコースに基づき、第1希望を優先して次のように決定し、合格者発表時に通知します。

合格者は、大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い者から、第1希望のコースに決定されます。ただし、各コースの第1希望者数が受入れ上限の目安^(※)を超えるときには、第2希望以下のコースに決定されることがあります。また、下位の希望コースを届け出なかった(例:第3, 4希望を書かなかった)などの事由で、出願の際に希望したコース以外になる場合もあります。

各コースの受入れ上限の目安は次のとおりです。

	(前期日程)	(後期日程)
○機械工学コース	60人程度	13人程度
○電気電子工学コース	60人程度	12人程度
○情報工学コース	40人程度	7人程度
○構造工学コース	30人程度	5人程度
○社会環境デザイン工学コース	25人程度	5人程度
○化学・物質工学コース	75人程度	16人程度

(※) 受入れ上限の目安は、各コースで教育の質を保証できる人員数に相当します。

カ. 環境科学部(前・後期日程)

文理融合教育を行う学部として、文系と理系からそれぞれ学生を受け入れるため、選抜方法A(文系受験)、選抜方法B(理系受験)の2つの方法により入学者の選抜を行います。

キ. 水産学部(前期日程)

大学入試センター試験を資格試験的に利用し、大学入試センター試験の得点は合否判定には利用しません。(個別学力検査等の成績のみで判定します。)

水産学部が指定する大学入試センター試験の5教科7科目又は5教科8科目の合計点が900点満点中450点以上の者を第1段階選抜の合格者とします。(29ページ記載のiv.「水産学部の前期日程における実施教科・科目等及び配点」を参照してください。)

ク. その他

本学では入学者選抜において、過去の大学入試センター試験の成績は利用しません。

③ 医学部保健学科出願における注意事項

1) 保健師国家試験受験資格について

平成29年度入学者から適用する教育カリキュラムを変更しており、学部教育では保健師国家試験受験資格を取得できません。保健師教育は、平成31年度以降に、大学院の修士課程で行う予定であり、準備を進めています。

2) 助産師国家試験受験資格について

助産師教育に関しては大学院の修士課程で行うため、学部教育では助産師国家試験受験資格を取得できません。

④ 学力検査の実施教科・科目等及び配点

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選抜
		教科	科目名	教科等	科目名等	
多文化社会学部 多文化社会学科 100人 前期 75 後期 10 AO 15	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース 90人 前期 68 後期 10 AO 12	前期	国 国 地歴 世B, 日B, 地理B } から1(注1) 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数Ⅰ・数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B } 理 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は } から1 外 物理, 化学, 生物, 地学から1 } (注6) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [4教科4科目]又は[4教科5科目]	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 批判的・論理的思考力テスト(総合問題)	2段階選抜の詳細は、16ページ 記載の「(1)一般入試 ②入学 者選抜方法等 ア. 多文化社 会学部」を参照すること。
		後期	国 国 地歴 世B, 日B, 地理B } から1(注1) 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [3教科3科目]	その他	小論文 面接	
	オランダ特別 コース 10人 前期 7 AO 3	前期	国 国 地歴 世B, 日B, 地理B } から1(注1) 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B } 理 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は } から1 外 物理, 化学, 生物, 地学から1 } (注6) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [4教科4科目]又は[4教科5科目]	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 批判的・論理的思考力テスト(総合問題) 面接	2段階選抜の詳細は、16ページ 記載の「(1)一般入試 ②入学 者選抜方法等 ア. 多文化社 会学部」を参照すること。
		後期	実 施 し な い			
教育学部 学校教育 教員養成 課程 240人 前期 125 後期 18 AO 26 その他 71	小学校教育コース 子ども理解実践専攻 教科授業実践専攻 ICT活用実践専攻 多文化理解実践専攻 125人 前期55 後期15 AO 15 その他40	前期	国 国 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 } 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } 数 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, } から3(注7) 理 簿, 情報から1又は2 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ } (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。) 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [6教科7科目]	国 教 外	国語総合・現代文B・古典B } から1(注12) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ	
		後期	国 国 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, } から3(注7) 理 簿, 情報から1又は2 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ } (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。) 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科6科目]	その他	小論文	
中学校教育コース 国語専攻 8人 前期 5 その他3	前期 2月25日	前期	国 国 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2(注3) 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, } から3(注7) 理 簿, 情報から1又は2 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ } (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。) 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科7科目]又は[6教科7科目]	国	国語総合・現代文B・古典B	
		後期	実 施 し な い			
中学校教育コース 社会専攻 8人 前期 5 その他 3	前期 2月25日	前期	国 国 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2(注3)(注10) 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, } から3(注7) 理 簿, 情報から1又は2 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ } (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。) 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科7科目]又は[6教科7科目]	国 教 外	国語総合・現代文B・古典B } から1(注12) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ	
		後期	実 施 し な い			
中学校教育コース 数学専攻 9人 前期 7 その他2	前期 2月25日	前期	国 国 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数 数Ⅰ・数A } 理 数Ⅱ・数B } ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び } 物理, 化学, 生物, 地学から1 } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 } 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科7科目]又は[5教科8科目]	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B } コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ	
		後期	実 施 し な い			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試 の方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接		配点合計
センター試験	50	*25		*25		200					300	AO 帰国子女 外国人
個別学力検査等						100	200				300	追加合格 欠員補充
計	50	*25		*25		300	200				600	
センター試験	50	*50				200					300	
個別学力検査等								250		50	300	
計	50	*50				200		250		50	600	
センター試験	50	*25		*25		200					300	AO 帰国子女 外国人
個別学力検査等						100	200			60	360	追加合格 欠員補充
計	50	*25		*25		300	200			60	660	
実 施 し な い												
センター試験	200	100	100	*200	*100	200					900	AO 推薦 外国人
個別学力検査等	*300			*300		300					600	追加合格 欠員補充
計	*500	100	100	*500	*100	500					1500	
センター試験	200	*100		*200	*100	200					800	
個別学力検査等								300			300	
計	200	*100		*200	*100	200		300			1100	
センター試験	200	200		*200	*100	200					900	推薦 外国人
個別学力検査等	300			*100	*200						300	追加合格 欠員補充
計	500	200		*200	*100	200					1200	
実 施 し な い												
センター試験	200	400		*200	*100	200					1100	推薦 外国人
個別学力検査等	*100			*100		100					200	追加合格 欠員補充
計	*300	400		*300	*100	300					1300	
実 施 し な い												
センター試験	200	*100		200	200	200					900	推薦 外国人
個別学力検査等				400		200					600	追加合格 欠員補充
計	200	*100		600	200	400					1500	
実 施 し な い												

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選抜
		教科	科目名	教科等	科目名等	
教育学部 学校教育 教員養成 課程	前期 2月25日 後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 (注1)	理 外	「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ	
			現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]			
実施しない						
中学校教育コース 音楽専攻 5人 前期 4 その他 1	前期 2月25日 後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 (注1)	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 実技検査(音楽) 面接	
			現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1(注9) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目]又は[5教科6科目]			
実施しない						
中学校教育コース 美術専攻 5人 前期 4 その他 1	前期 2月25日 後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 (注1)	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 実技検査(美術)	
			現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1(注9) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目]又は[5教科6科目]			
実施しない						
中学校教育コース 保健体育専攻 7人 前期 5 その他 2	前期 2月25日 後期	国 地歴 公民 理 教 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2(注3)	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 実技検査(体育)	
			現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から3(注8) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[6教科7科目]			
実施しない						
中学校教育コース 技術専攻 5人 前期 3 その他 2	前期 2月25日 ・26日 後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 (注1)	教理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, } から1 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」 (注13) コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 面接(簡単なものづくりを含む。)	
			現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 情報から1 ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1 ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]			
実施しない						
中学校教育コース 家庭専攻 5人 前期 3 その他 2	前期 2月25日 後期	国 地歴 公民 理 教 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2(注3)	その他	小論文	
			現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から3(注8) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[6教科7科目]			
実施しない						
中学校教育コース 英語専攻 8人 前期 5 その他 3	前期 2月25日 後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2(注3)	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	
			現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1又は2 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } から3(注7) 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[6教科7科目]			
実施しない						

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試 の方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接		配点合計
センター試験	200	*100		200	200	200					900	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等					400	200					600	
計	200	*100		200	600	400					1500	
実 施 し な い												
センター試験	200	*100		100	100	200					700	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						100			500	100	700	
計	200	*100		100	100	300			500	100	1400	
実 施 し な い												
センター試験	200	*100		100	100	200					700	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						100			600		700	
計	200	*100		100	100	300			600		1400	
実 施 し な い												
センター試験	200	*200 *100		200	*100 *200	200					900	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						100			600		700	
計	200	*200 *100		200	*100 *200	300			600		1600	
実 施 し な い												
センター試験	200	*100		200	200	200					900	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				*150	*150	150				300	600	
計	200	*100		*350	*350	350				300	1500	
実 施 し な い												
センター試験	200	*200 *100		200	*100 *200	200					900	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等								300			300	
計	200	*200 *100		200	*100 *200	200		300			1200	
実 施 し な い												
センター試験	200	200		*200 *100	*100 *200	200					900	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						600					600	
計	200	200		*200 *100	*100 *200	800					1500	
実 施 し な い												

学 部 ・ 学 科 等 名 及 び 入 学 定 員 等	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選抜		
		教科	科 目 名	教科等	科 目 名 等			
教育学部 学校教育 教員養成 課程	幼稚園 教育 コース 30人 前期15 AO 10 その他5	芸術的感性開 発専攻	前期	実 施 し な い (AO入試と推薦入試で募集する。)				
			後期					
	こども保育専攻	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1又は2 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目]	国 数 外	国語総合・現代文B・古典B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ	から1(注12)	
		後期	実 施 し な い					
特別支援教育コース 15人 前期 7 後期 3 AO 1 その他 4		前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1又は2 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目]	国 数 外	国語総合・現代文B・古典B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ	から1(注12)	
		後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, } から3(注7) 簿, 情報から1又は2 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ } (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科6科目]	その他	小論文		
経済学部	昼間 コース 325人 前期 190 後期 40 AO 15 その他 80	総合経済学科 265人 前期 190 後期 40 AO 15 その他 20	前期	国 数 外 地歴 公民 理 外	国 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 公民及び理科については, [a]又は[b](注11) [a] 地歴 公民 理 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2(注3) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) [b] 地歴 公民 理 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 物理, 化学, 生物, 地学から2 [5教科7科目]又は[5教科8科目]又は[6教科7科目]又は[6教科8科目]	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	
			後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, } から1(注1) 地理A, 地理B } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A } 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科6科目]	その他	小論文	
	夜間主 コース 60人	総合経済学科 60人	前期	実 施 し な い (社会人入試で募集する。)				
			後期	実 施 し な い (社会人入試で募集する。)				

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試 の方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接	
実 施 し な い (AO入試と推薦入試で募集する。)											AO 推薦 外国人 追加合格 欠員補充
センター試験	200	100	100	*200 *100	*100 *200	200					900
個別学力検査等	*300			*300		300					600
計	*500	100	100	*500 *400	*100 *200	500					1500
実 施 し な い											
センター試験	200	100	100	*200 *100	*100 *200	200					900
個別学力検査等	*300			*300		300					600
計	*500	100	100	*500 *400	*100 *200	500					1500
センター試験	200		*100	*200 *100	*100 *200	200					800
個別学力検査等								300			300
計	200		*100	*200 *100	*100 *200	200		300			1100
センター試験	配点a	100	*100	100	50	100					450
	配点b	100	*50	100	100	100					450
個別学力検査等 (注16)	配点c			150		150					300
	配点d			200 100		100 200					300 300
計	配点A (注17)	配点a-c	100	*100	250	50 100	250				750
		配点b-c		*50							
	配点B (注17)	配点a-d	100	*100	300 200	50	200 300				
		配点b-d		*50	300 200	100	200 300				
センター試験	100		*50	100	50	100				400	
個別学力検査等								200		200	
計	100		*50	100	50	100		200		600	
実 施 し な い (社会人入試で募集する。)											社会人 追加合格 欠員補充

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名			個別学力検査等		2段階 選 抜	
		教科	科 目 名	教科等	科 目 名 等			
医学部 226人 前期 144 後期 20 その他 62	医学科 120人 前期 76 その他 44	前期 2月25日 ・26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物から2 英, 独, 仏から1 [5教科7科目]	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から2 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 面接	募集人員の約5倍	
		後期	実 施 し な い					
	保健学科 106人 看護学専攻 70人 前期 48 後期 10 その他 12 理学療法学 専攻 18人 前期 10 後期 5 その他 3 作業療法学 専攻 18人 前期 10 後期 5 その他 3	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2 又は 物理, 化学, 生物から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 面接		
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2 又は 物理, 化学, 生物から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	その他	小論文(英語読解力を含む) 面接		
歯学部 歯学科 50人 前期 33 後期 7 AO 10		前期 2月25日 ・26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物から2 英, 独, 仏から1 [5教科7科目]	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, } から1 「生物基礎, 生物」から1 (注14) コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 面接		
		後期 3月12日	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物から1(注2) 英, 独, 仏から1 [3教科4科目]	その他 その他	総合問題 (高等学校の学習一般を前提とし, 筆記を 主体とした試験) 面接		
薬学部 80人 前期 51 後期 21 その他 8	薬学科 40人 前期 30 後期 6 その他 4	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		
		後期 3月12日	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]	その他	総合問題 (高等学校の学習一般を前提とし, 筆記を 主体とした試験) 面接		大学入試センター 試験3教科5科目 の合計点が, 600 点満点中480点以 上の者
	薬科学科 40人 前期 21 後期 15 その他 4	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ		
		後期 3月12日	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]	その他	総合問題 (高等学校の学習一般を前提とし, 筆記を 主体とした試験)		

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試の方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接		配点合計
センター試験	100	*50		100	100	100					450	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				250	250	200				60	760	
計	100	*50		350	350	300				60	1210	
実施しない												
センター試験	100	*50		100	100	100					450	推薦 社会人 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						200				100	300	
計	100	*50		100	100	300				100	750	
センター試験	100	*50		100	100	100					450	
個別学力検査等								300		100	400	
計	100	*50		100	100	100		300		100	850	
センター試験	200	*100		200	200	200					900	AO 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				*300	*300	300				段階評価 (注18)	600	
計	200	*100		*500	*500	500					1500	
センター試験				200	100	200					500	
個別学力検査等							300			段階評価 (注18)	300	
計				200	100	200	300				800	
センター試験	100	*100		200	200	200					800	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				100	100	100					300	
計	100	*100		300	300	300					1100	
センター試験				200	200	200					600	
個別学力検査等							200			50	250	
計				200	200	200	200			50	850	
センター試験	50	*50		100	100	100					400	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				100	200	100					400	
計	50	*50		200	300	200					800	
センター試験				200	200	200					600	
個別学力検査等							200				200	
計				200	200	200	200				800	

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選抜	
		教科	科目名	教科等	科目名等		
工学部 工学科 380人 前期 263 後期 50 AO 67	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ		
		理 外	数 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]	その他	総合問題 (高等学校の学習一般を前提とした筆記試験)		
※前期及び後期は工学科全体 で選抜し, AOは下記のコース 毎に選抜する。 ・機械工学コース ・電気電子工学コース ・情報工学コース ・構造工学コース ・社会環境デザイン工学コース ・化学・物質工学コース		後期 3月12日					
環境科学部 環境科学科 130人 前期 80 後期 26 その他 24	選抜方法A (文系受験)	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	
			理 外	その他	面接		
	選抜方法B (理系受験)	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ } から2 (注15)	
			理 外	その他	面接		
後期 3月12日	数 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]又は[3教科6科目]	その他	面接				
	水産学部 水産学科 110人 前期 45 後期 45 AO 5 その他 15	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1	大学入試センター 試験5教科7科目 又は5教科8科目 の合計点が, 900 点満点中450点以 上の者
後期 3月12日	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]	その他	面接			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試の方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接		配点合計
センター試験	100	*50		200	200	150					700	AO 帰国子女 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				250	250	100					600	
計	100	*50		450	450	250					1300	
センター試験				200	200	200					600	
個別学力検査等							200				200	
計				200	200	200	200				800	
センター試験	200	*100		200	100	200					800	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						200					200	
計	200	*100		200	100	400					1000	
センター試験	200	*200				200					600	
個別学力検査等									100		100	
計	200	*200				200			100		700	
センター試験	100	*100		200	200	200					800	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				*200	*200	*200					400	
計	100	*100		*400	*400	*400					1200	
センター試験				200	200	200					600	
個別学力検査等									100		100	
計				200	200	200			100		700	
センター試験	**	** (*)		**	**	**					0	AO 推薦 帰国子女 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				125	125						250	
計				125	125						250	
センター試験	100	*50		300	300	250					1000	
個別学力検査等									100		100	
計	100	*50		300	300	250			100		1100	

【 教科・科目名の表記方法について 】

i. 大学入試センター試験の出題教科・科目名は、次のように略してあります。

教科名		科目名					
略称	正式な教科名	略称	正式な科目名	略称	正式な科目名	略称	正式な科目名
国	国語	国	国語				
地歴	地理歴史	世A	世界史A	世B	世界史B		
		日A	日本史A	日B	日本史B		
公民	公民	現社	現代社会	倫	倫理		
		政経	政治・経済	倫・政経	倫理, 政治・経済		
数	数学	数I	数学I	数I・数A	数学I・数学A		
		数II	数学II	数II・数B	数学II・数学B		
		簿	簿記・会計	情報	情報関係基礎		
理	理科	科目名については略していない。					
外	外国語	英	英語	独	ドイツ語	仏	フランス語
		中	中国語	韓	韓国語		

ii. 個別学力検査の出題教科・科目名は、上記 i によるほか次のように略してあります。

科目名					
略称	正式な科目名	略称	正式な科目名	略称	正式な科目名
数III	数学III	数A	数学A	数B	数学B

【 大学入試センター試験の理科について 】

教科	グループ	出題科目
理科	①	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」
	②	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」

(注) 「グループ」はそれぞれ独立した試験時間帯であることを示す。

上記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。

- A : 理科①から2科目
- B : 理科②から1科目
- C : 理科①から2科目及び理科②から1科目
- D : 理科②から2科目

なお、受験する科目の選択方法については、大学入試センター試験の出願時に申し出ることになる。

【「学力検査の実施教科・科目等及び配点」に関する注意事項について】

i. 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」欄

- 地歴・公民及び「基礎を付していない」理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」とする。
 - (注1) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
 - (注2) 理科の「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
 - (注3) 地歴・公民を2科目選択する際に、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。
 - (注4) 理科で「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を選択する際に、同一名称（「物理基礎」と「物理」等）を含む科目の組合せを選択することはできない。
 - (注5) 理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合
 - ①「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を受験している場合は、高得点科目を採用する。
 - ②「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
 - (注6) 数学及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、理科については第2解答科目は採用しない。(多文化社会学部)
 - (注7) 数学及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、理科の第2解答科目は、第1解答科目を採用している場合のみ採用する。
※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。(教育学部)
 - (注8) 地歴・公民及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、地歴・公民及び理科の第2解答科目は、それぞれの第1解答科目を採用している場合のみ採用する。
※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。(教育学部)
 - (注9) 数学を2科目受験している場合は、高得点科目を採用する。(教育学部)
 - (注10) 世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1科目以上選択すること。(教育学部)
 - (注11) 学部が指定したパターン（【a】及び【b】）で高得点となるパターンを採用する。(経済学部)

ii. 「個別学力検査等」欄

- 個別学力検査等において複数教科、科目、科目群等から選択する場合は、出願の際に届け出ること。
 - (注12) 国語、数学のうち1教科を選択する（2教科とも受験することは不可）。(教育学部)
 - (注13) 数学及び理科（物理、化学、生物、地学から1科目）の2教科から1教科選択。2教科を受験することもできる。2教科を受験している場合は、高得点の教科を採用する。(出願後の選択・変更は不可) (教育学部)
 - (注14) 数学及び理科（物理、化学、生物から1科目）の2教科から1教科選択。2教科を受験することもできる。2教科を受験している場合は、高得点の教科を採用する。(出願後の選択・変更は不可) (歯学部)
 - (注15) 数学、理科（物理、化学、生物、地学から1科目）及び外国語から2教科選択。3教科を受験することもできる。3教科を受験している場合は、高得点の2教科を採用する。(出願後の選択・変更は不可) (環境科学部)

iii. 「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄

- 大学入試センター試験の配点は、配点等欄のとおり換算して利用する教科等がある。ただし、英語は筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を配点等欄のとおり換算して利用する。
- 配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。
 - (注16) 配点cについては、数学（100点満点）及び外国語（100点満点）のそれぞれの得点を1.5倍し、合計を300点満点とする。
配点dについては、数学（100点満点）及び外国語（100点満点）のうちいずれか高得点の教科の得点を2倍し、合計を300点満点とする。(経済学部)
 - (注17) 配点Aで110位以内にある者をまず合格者とする。次に、配点Aの合格者を除いた受験者の中から配点Bでの高得点順に合格者を決定する。(経済学部)
 - (注18) 面接は点数化せず段階評価を行い、評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。(歯学部)

iv. 「水産学部の前期日程における実施教科・科目等及び配点」

- 大学入試センター試験を資格試験的に利用し、大学入試センター試験の得点は合否判定には利用しない。(個別学力検査等の成績のみで判定する。)
配点に**印を付してある教科の得点は、第一段階選抜のみに利用する。
〔国語（200）、地歴・公民（100）、数学（200）、理科（200）、外国語（200）計900点とする。〕

v. 「その他」

本学の入学者選抜において、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。

⑤ 個別学力検査の出題範囲

教科・科目	出題範囲
数 学	学部・学科等が指定する4科目（「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B（数列・ベクトル）」）又は5科目（「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B（数列・ベクトル）」）を出題範囲とする。
物 理	「物理基礎」及び「物理」の全てを出題範囲とする。
化 学	「化学基礎」及び「化学」の全てを出題範囲とする。
生 物	「生物基礎」及び「生物」の全てを出題範囲とする。
地 学	「地学基礎」及び「地学」の全てを出題範囲とする。
英 語	学部・学科等が指定する3科目（「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」）又は5科目（「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」）を出題範囲とする。 リスニングテストは実施しない。

⑥ 個別学力検査等における実技検査の内容

教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コースの音楽専攻、美術専攻及び保健体育専攻の志願者には、次の内容についてそれぞれの実技検査を行う。

【音楽専攻：実技検査（音楽）（前期日程）】

楽典（必須）並びに声楽及び器楽（選択）

なお、声楽及び器楽の演奏課題に関しては、次のA、B又はCのいずれかで受験すること。

選択区分	演 奏 課 題		提出書類
A 声楽を主とする場合	声楽	イタリア歌曲、ドイツ歌曲、日本歌曲、オペラアリアの中から任意の一曲（暗譜・原語で演奏すること。）	伴奏楽譜
	ピアノ	ソナチネ程度の任意の一曲	
B ピアノを主とする場合	ピアノ	ハイドン、モーツァルト、ベートーベン、ショパン、シューマン、ブラームス、リストより任意の一曲（暗譜のこと。）	伴奏楽譜
	声楽	中学校教材程度の任意の一曲	
C 管弦打楽器を主とする場合	管弦打楽器	任意の管弦打楽器による任意の一曲	楽譜
	声楽	中学校教材程度の任意の一曲	伴奏楽譜
	ピアノ	ソナチネ程度の任意の一曲	

注1) 楽譜には必ず氏名を記入し、出願書類とともに提出すること。

2) 管弦打楽器のうちコントラバスとマリimba以外は受験者が持参すること。

3) 2月24日（日）の10:00～17:00までの間、教育学部音楽棟1階「学生ピアノ練習室（10室程度）」のピアノを開放するので、空いている部屋を適宜使用してもよい。なお、使用にあたっては、予約・申込等の手続は不要である。

【美術専攻：実技検査（美術）（前期日程）】

内 容	課 題 (幾何形立体・石こう製等)	受 験 者 が 持 参 す る も の
鉛筆デッサン	静物	鉛筆デッサンに必要な道具一式 (鉛筆、消し具など)

注1) 紙、カルトン、クリップ、イーゼル一式は大学で準備する。

【保健体育専攻：実技検査（体育）（前期日程）】

「陸上競技」、「器械運動」、「球技」の3領域にわたり検査を行う。

領 域 及 び 運 動		受 験 方 法
陸 上 競 技		全員が受験すること。
器 械 運 動		全員が受験すること。
球 技	①バレーボール ②バスケットボール ③サッカー	①～③の3種目から、2種目選択し、受験すること。

注1) 運動のできる服装を用意すること。

2) 専門の用具を使用してもよい。

3) 運動靴は、屋内用と屋外用を用意すること。

(2) アドミッション・オフィス入試 (AO入試)

アドミッション・オフィス入試の大綱は、次のとおりである。詳細については、7月上旬に発表する「平成31年度長崎大学アドミッション・オフィス入試学生募集要項」を参照すること。

【多文化社会学部】(一般枠)

[AOI]

実施学部・学科名	多文化社会学部 多文化社会学科	
募集人員	国際公共政策コース・社会動態コース・共生文化コース・言語コミュニケーションコース	8人
	オランダ特別コース	2人
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、かつ、TOEFL iBT 61点以上、TOEFL PBT 500点以上、TOEFL ITP 500点以上、TOEFL Junior Comprehensive 341点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定(英検)準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能)1140点以上、GTEC(3技能)700点以上、GTEC for STUDENTS(L&R&W)700点以上、GTEC for STUDENTS(L&R&W)+(S)850点以上、GTEC CBT 1040点以上又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月に修了見込みの者 2. 高等専門学校第3学年を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者 5. 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者 6. 文部科学大臣の指定した者(ただし、国際バカロレア資格等については、平成31年3月31日までに取得見込みの者を含む。) 7. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び平成31年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 8. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの <p>注1) 外国語検定試験は、平成28年9月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を平成28年9月以降に受験した試験とする。</p> <p>注2) 外国語検定試験は公式スコアを対象(TOEFL ITPを除く。)とし、TOEFL Junior Comprehensive(公開テストでないもの)、TOEIC IP及びGTEC(GTEC for STUDENTS(L&R&W)含む。)(OFFICIAL SCOREの印字がないもの)は対象としない。</p>	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、個人面接、筆記試験の結果等を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、個人面接(日本語及び英語による)及び筆記試験(論理的思考力と洞察力(観察力)を問う)※を行う。 配点は個人面接50点、筆記試験100点である。 <p>※参考：筆記試験について、平成30年度入試では課題文と新聞記事をもとに、小論文試験を行った。</p>	
出願期間	平成30年9月3日(月)～平成30年9月7日(金)	
試験日	第1次選考(書類選考)	選考結果は平成30年10月1日(月)に本人宛送付する。
	第2次選考(筆記試験・面接(個人))	平成30年10月13日(土)
合格者発表	平成30年10月24日(水)	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、本学の大学教育イノベーションセンターを通じて通知する予定である。	

実施学部・学科名	多文化社会学部 多文化社会学科			
募集人員	国際公共政策コース・社会動態コース・共生文化コース・言語コミュニケーションコース	4人		
	オランダ特別コース	1人		
出願要件	<p>【グローバル枠】 次の各号のすべてに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者 (1) 人文社会科学の観点からグローバルな課題について、学校教育プログラムにより2年以上にわたり課題研究に取り組み、高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者 (2) 全体の評定平均値が4.0以上であり、かつ、外国語（英語）の評定平均値が4.6以上である者</p> <p>【国際バカロレア枠】 次の各号のすべてに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格（International Baccalaureate Diploma（以下「IB」という。））を取得した者又は平成31年3月27日までに取得見込みの者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの (2) IBフルディプロマのスコアが32ポイント以上の者又は平成31年3月27日までにIBを取得見込みの者でIB Predicted Gradesが出願時に32ポイント以上であるもの (3) 日本語を母語とする者、日本語 B（HL）のスコアが6ポイント以上の者又は日本語 B（HL）のIB Predicted Gradesが出願時に6ポイント以上の者 (4) IBの取得において、本学の指定する次表の科目を履修していること。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="text-align: center;">科目</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6つの教科群のグループ「3. 個人と社会」のうち「経済」、「地理」、「歴史」、「情報テクノロジーとグローバル社会」、「哲学」、「社会・文化人類学」及び「グローバル政治」から1科目を高度レベル（HL）で履修</td> </tr> </table> <p>※ IBを取得見込みで出願した者が、平成31年3月27日までにIB資格証書の写しとIB最終試験の成績証明書を提出できない場合、IBフルディプロマのスコアが32ポイントに満たなかった場合又は日本語 B（HL）のスコアが6ポイントに満たなかった場合は、合格取消となる。</p>		科目	6つの教科群のグループ「3. 個人と社会」のうち「経済」、「地理」、「歴史」、「情報テクノロジーとグローバル社会」、「哲学」、「社会・文化人類学」及び「グローバル政治」から1科目を高度レベル（HL）で履修
科目				
6つの教科群のグループ「3. 個人と社会」のうち「経済」、「地理」、「歴史」、「情報テクノロジーとグローバル社会」、「哲学」、「社会・文化人類学」及び「グローバル政治」から1科目を高度レベル（HL）で履修				
選抜方法等	自己推薦書、諸活動の記録、調査書、個人面接、筆記試験の結果等を総合して合格者を決定する。 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等（グローバル枠の志願者については学校教育プログラムの概要及び所定の様式による志願者の課題研究報告書を含む。）により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、個人面接（日本語及び英語による）及び筆記試験（論理的思考力と洞察力（観察力）を問う）※を行う。 配点は個人面接50点、筆記試験100点である。 ※参考：一般枠と同様の枠組みで実施予定			
出願期間	平成30年9月3日（月）～平成30年9月7日（金）			
試験日	第1次選考（書類選考）	選考結果は平成30年10月1日（月）に本人宛送付する。		
	第2次選考（筆記試験・面接(個人)）	平成30年10月13日（土）		
合格者発表	平成30年10月24日（水）			
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、本学の大学教育イノベーションセンターを通じて通知する予定である。			

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程	
募集人員	小学校教育コース	15 人
	幼稚園教育コース 芸術的感性開発専攻	10 人
	特別支援教育コース	1 人
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月に修了見込みの者 2. 高等専門学校第3学年を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者（ただし、国際バカロレア資格等については、平成31年3月31日までに取得見込みの者を含む。） 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成31年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、課題論文、「自己表現」、個人面接の結果等を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、課題論文、「自己表現」及び個人面接を課し、選考を行う。ただし、幼稚園教育コース芸術的感性開発専攻の「自己表現」は、音楽・美術表現に限る。 	
出願期間	平成30年9月3日（月）～平成30年9月7日（金）	
試験日	第1次選考 （書類選考）	選考結果は平成30年10月1日（月）に本人宛送付する。
	第2次選考 （課題論文・面接（個人）等）	平成30年10月13日（土）・14日（日）
合格者発表	平成30年10月24日（水）	
その他	<p>入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、本学の大学教育イノベーションセンターを通じて通知する予定である。</p> <p>なお、小学校教育コースは出願登録の際、入学時の所属専攻志望調査を行うが、この調査は入試の合否判定には何ら影響はない。入学時の所属専攻は、本調査の本人の志望により決定する。ただし、各専攻間に著しい偏りが生じる場合は、入学試験の成績等を参考に決定する。なお、小学校教育コースの各専攻の説明については、次の教育学部ホームページを参照すること。</p> <p>（URL：http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/）</p>	

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科	
募集人員	5人	
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月に修了見込みの者 2. 高等専門学校第3学年を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成29年4月以降に取得した者及び平成31年3月31日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成31年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、課題論文、個人面接の成績等を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、読解力、論理的思考力等を問う課題論文を課し、個人面接を行う。 配点は課題論文50点、個人面接50点である。 	
出願期間	平成30年9月3日(月)～平成30年9月7日(金)	
試験日	第1次選考 (書類選考)	選考結果は平成30年10月1日(月)に本人宛送付する。
	第2次選考 (課題論文・面接(個人))	平成30年10月13日(土)
合格者発表	平成30年10月24日(水)	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、本学の大学教育イノベーションセンターを通じて通知する予定である。	

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科	
募集人員	10人	
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、かつ、実用英語技能検定(英検)の試験結果を提出でき、本学部の国際ビジネス(plus)プログラムに強い関心があり、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>注) 実用英語技能検定(英検)は、高等学校入学後に受験した試験が望ましい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月に修了見込みの者 2. 高等専門学校第3学年を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成29年4月以降に取得した者及び平成31年3月31日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成31年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、実用英語技能検定(英検)の合格証明書、課題論文、個人面接の成績等を総合して合格者を決定する。なお、自己推薦書(様式1)は、「経済学部の国際ビジネス(plus)プログラムを通じて、どのように学びを深め、卒業後どのように活躍したいと考えているかについて」とする。</p> <p>注) 諸活動の記録は、グローバルに関係する活動に限る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書、実用英語技能検定(英検)の試験結果等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、読解力、論理的思考力等を問う課題論文を課し、個人面接を行う。 配点は課題論文50点、個人面接50点である。 	
出願期間	平成30年9月3日(月)～平成30年9月7日(金)	
試験日	第1次選考 (書類選考)	選考結果は平成30年10月1日(月)に本人宛送付する。
	第2次選考 (課題論文・面接(個人))	平成30年10月13日(土)
合格者発表	平成30年10月24日(水)	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、本学の大学教育イノベーションセンターを通じて通知する予定である。	

実施学部・学科名	歯学部 歯学科	
募集人員	10 人	
出願要件	<p>平成 31 年度大学入試センター試験で歯学部が指定した教科・科目を受験する者で、次のいずれかに該当し、かつ、合格した場合は入学することを確約できるもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成 29 年 4 月以降に卒業した者及び平成 31 年 3 月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による 12 年の学校教育を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月に修了見込みの者 2. 外国において、学校教育における 12 年の課程を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 4. 専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者（ただし、平成 29 年 4 月以降に修了した者に限る。）及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ※専修学校の高等課程とは、修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすもので、文部科学大臣が別に指定するもの 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成 29 年 4 月以降に取得した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに取得見込みの者 <p>注) AO入試への出願は、入学後は歯学研究コース（大学院の進学を目指す学生を対象とした所定のカリキュラムコースで、第 3 年次から履修する）を履修し、大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）に進学する者に限る。</p>	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、大学入試センター試験の成績、課題論文、個人面接の評価等を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。 2. 第 2 次選考 第 1 次選考に合格した者に対して、課題論文及び個人面接を課し、大学入試センター試験の成績と合わせて総合評価により選考を行う。 ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として 70%に満たない場合は選考の対象としない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p>数 : 数 I・数 A 数 II・数 B</p> <p>理 : 物理, 化学, 生物 から 2</p> <p>外 : 英, 独, 仏 から 1</p> <p style="text-align: right;">[3教科5科目]</p> </div>	
出願期間	平成 30 年 11 月 8 日 (木) ～ 平成 30 年 11 月 14 日 (水)	
試験日	第 1 次 選 考 (書類選考)	選考結果は平成 30 年 12 月 6 日 (木) に本人宛送付する。
	第 2 次 選 考 (課題論文・面接(個人))	平成 31 年 1 月 25 日 (金)
合格者発表	平成 31 年 2 月 12 日 (火)	
その他		

実施学部・学科名	工学部 工学科			
募 集 人 員	AO入試 I・A	24人	電気電子工学コース	4人
			情報工学コース	1人
			構造工学コース	5人
			社会環境デザイン工学コース	10人
			化学・物質工学コース	4人
	AO入試 I・B	22人	機械工学コース	6人
			電気電子工学コース	6人
			情報工学コース	3人
			構造工学コース	2人
			社会環境デザイン工学コース	3人
			化学・物質工学コース	2人
出 願 要 件	<p>【AO入試 I・A】 次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成 29 年 4 月以降に卒業した者及び平成 31 年 3 月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による 12 年の学校教育を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月に修了見込みの者 2. 高等専門学校第 3 学年を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における 12 年の課程を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成 29 年 4 月以降に取得した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、かつ、18 歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの <hr/> <p>【AO入試 I・B】 次の各号に該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校の専門教育を主とする学科又は総合学科を平成 29 年 4 月以降に卒業した者及び平成 31 年 3 月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による 12 年の学校教育（専門教育を主とする学科）を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月に修了見込みの者 2. 高等学校学習指導要領に記載の主として専門学科において開設される各教科に属する科目のうち、工業に関する教科・科目を 20 単位以上修得した者及び平成 31 年 3 月までに修得見込みの者（ただし、電気電子工学コースについては、工業又は水産（電気・通信）に関する教科・科目を 20 単位以上修得した者及び平成 31 年 3 月までに修得見込みの者、情報工学コースについては、工業又は情報に関する教科・科目を 20 単位以上修得した者及び平成 31 年 3 月までに修得見込みの者、社会環境デザイン工学コースについては、工業又は農業（土木）に関する教科・科目を 20 単位以上修得した者及び平成 31 年 3 月までに修得見込みの者） 			

選 抜 方 法 等

自己推薦書，調査書の評価，適性評価，基礎学力評価の結果等を総合して合格者を決定する。

1. 第1次選考

自己推薦書及び調査書により選考を行う。

自己推薦書では，志望する理由についての記述内容を総合的に評価し，点数化する。

調査書では，①各科目の評定平均値，②出欠の記録，③「指導上参考になる諸事項」または「備考」の欄等に記載された諸活動（生徒会活動，各種オリンピック，チャレンジ，グランプリ等への参加活動等）の記録を点数化する。なお，区分Bの受験者については，③にジュニアマイスター顕彰を含める。

2. 第2次選考

(1) 第1次選考に合格した者に対して，面接で試問を行うとともにコースによっては課題作文を課す。志望動機及び志望コースで学ぶ適性（アドミッション・ポリシーに対する適性）を，分野関心度，基礎知識，論理的思考力，理解力，日本語による表現力，発想の豊かさ等の観点から，総合的に評価する。(※)

(2) 面接での口述試験（コースによってはペーパーによる小テストを組合せる）で，教科に関する基礎学力や，志望コースの専門分野に関連する理科の科目等の基礎学力を総合的に評価する。調査書の各科目の評定平均値も総合評価の参考にする。(※)

・配点

適性評価	基礎学力評価
100	100

・合否判定（第2次選考）

上記の配点で適性評価と基礎学力評価の合計点が140点以上である者を対象に，合計点の高い順に合格者を決定する。ただし，適性評価の点数が著しく低い場合は，不合格とする。

※ 第2次選考の(1),(2) についての各コースの内容は次表のとおりである。

・適性評価の内容

コース	形態・内容等	評価事項等
機械工学	面接（口述試験）	アドミッション・ポリシーとともに，本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，分野関心度，論理的な発想の豊かさ等を評価。
電気電子工学	面接（口述試験）	面接では，本コースへの理解度，関心度，志望動機を評価。
情報工学	面接（口述試験）と課題作文	面接では，本コースへの理解度，関心度，志望動機を評価するとともに，課題作文についての質疑応答も評価に加える。 課題作文では，分野関心度，論理的思考力，日本語能力を評価。
構造工学	面接（口述試験）	志望動機，分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を総合的に評価。
社会環境デザイン工学	面接（口述試験）と課題作文	分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を問う，志望動機及び適性を評価。
化学・物質工学	面接（口述試験）と課題作文	本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，志望動機，分野関心度，論理的思考，発想の豊かさ，課題解決能力と作文力を評価。

(次ページに続く)

選 抜 方 法 等	・基礎学力評価の内容		
	コース	形態・内容等	評価事項等
	機械工学	面接(口述試験)	数学(数Ⅰ, 数A, 数Ⅱ, 数B, 数Ⅲ)・物理(物理基礎, 物理の「様々な運動」と「波」)・英語(基礎的英単語, 短文和訳)の基礎学力。
	電気電子工学	小テスト	数学(数Ⅰ, 数A, 数Ⅱ, 数B, 数Ⅲ)・物理(物理基礎, 物理の「様々な運動」, 「電気と磁気」)・英語(基礎的英単語, 短文和訳)の基礎学力。
	情報工学	面接(口述試験)	募集区分A: 数学・物理・英語の基礎学力。 募集区分B: 数学・情報関連科目・英語の基礎学力。 どちらの区分も, 数学の範囲は数Ⅰ, 数A, 数Ⅱ, 数B全般とし, 英語は基礎的な短文の音読・読解・会話で評価する。区分Aの物理は物理基礎および物理の「様々な運動」「電気と磁気」を範囲とし, 区分Bの情報関連科目は情報技術検定程度の基礎学力を評価する。
	構造工学	小テスト	数学(数Ⅰ, 数A(確率除く。), 数Ⅱ(複素数除く。), 数B(ベクトル, 数列), 数Ⅲ)・物理(物理基礎(熱・波・電気を除く「物体の運動とエネルギー」), 物理「様々な運動」)・英語(英文和訳)の基礎学力。
	社会環境デザイン工学	小テスト	数学(数Ⅰ, 数A, 数Ⅱ, 数B, 数Ⅲ(募集区分Bについては数Ⅲを除く。))・物理(物理基礎の「物体の運動とエネルギー」, 物理の「様々な運動」)・英語の基礎学力。
化学・物質工学	小テスト(数学・物理・化学・英語)と面接(口述試験)	数学(数Ⅰ, 数A, 数Ⅱ, 数B)・物理(物理基礎, 物理)・化学(化学基礎, 化学)・英語(英文和訳, 和文英訳, 語彙等)の基礎学力。	
出 願 期 間	平成30年9月3日(月) ～ 平成30年9月7日(金)		
試 験 日	第1次選考 (書類選考)	選考結果は平成30年10月1日(月)に本人宛送付する。	
	第2次選考 (適性評価, 基礎学力評価)	平成30年10月13日(土)	
合 格 者 発 表	平成30年10月24日(水)		
そ の 他	<p>1. 志願者多数の場合, 第2次選考が10月14日(日)にわたる場合がある。その場合は, 第1次選考結果通知時に第1次選考通過者へ通知する。</p> <p>2. 入学手続者に対しては, 入学までの期間, 在学する学校長の許諾を得た上で, 入学前教育を行うこととしている。その内容については, 本学の大学教育イノベーションセンターを通じて通知する予定である。</p>		

実施学部・学科名	工学部 工学科			
募 集 人 員	A O 入 試 II	2 1 人	機械工学コース	5 人
			電気電子工学コース	2 人
			情報工学コース	4 人
			構造工学コース	5 人
			社会環境デザイン工学コース	2 人
			化学・物質工学コース	3 人
出 願 要 件	<p>平成 31 年度大学入試センター試験で工学部が指定した教科・科目を受験する者で、次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できるもの （本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成 29 年 4 月以降に卒業した者及び平成 31 年 3 月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による 12 年の学校教育を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月に修了見込みの者 2. 高等専門学校第 3 学年を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における 12 年の課程を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 29 年 4 月以降に修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成 29 年 4 月以降に取得した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、かつ、18 歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの 			
選 抜 方 法 等 (次ページに続く)	<p>自己推薦書、調査書、大学入試センター試験の成績、面接の結果等を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 次選考 自己推薦書及び調査書により選考を行う。 自己推薦書では、記述内容を総合的に評価し、点数化する。 調査書では、①各科目の評定平均値、②出欠の記録、③「指導上参考になる諸事項」または「備考」の欄等に記載された諸活動（生徒会活動、各種オリンピック、チャレンジ、グランプリ等への参加活動等）の記録を点数化する。 			

<p>選 抜 方 法 等</p>	<p>2. 第2次選考</p> <p>第1次選考に合格した者に対して、面接を課し、大学入試センター試験の成績と合わせて、下記の方法による総合評価(※)により選考を行う。</p> <p>ただし、大学入試センター試験指定4科目(数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 物理, 化学)のうち、得点率が75%以上の科目が2科目以上ある者を選考の対象とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p>数：数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p>理：物理 化学</p> <p style="text-align: right;">[2教科4科目]</p> </div> <p>※ 総合評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接：志望動機，志望コースの分野関心度，アドミッション・ポリシーに対する適性，発想の豊かさ，勉学意欲などについて総合的に評価する。自己推薦書と調査書も総合評価の参考にする。 ・配点 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>試験の区分, 科目</th> <th>数Ⅰ・数A</th> <th>数Ⅱ・数B</th> <th>物理</th> <th>化学</th> <th>面接</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター試験</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>第2次選考</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・合否判定(第2次選考) <p>総合点300点以上の者を対象に、総合点の高い順に合格者を決定する。ただし、面接の点数が著しく低い場合は、不合格とする。</p>	試験の区分, 科目	数Ⅰ・数A	数Ⅱ・数B	物理	化学	面接	配点合計	センター試験	100	100	100	100		400	第2次選考					100	100	計	100	100	100	100	100	500
試験の区分, 科目	数Ⅰ・数A	数Ⅱ・数B	物理	化学	面接	配点合計																							
センター試験	100	100	100	100		400																							
第2次選考					100	100																							
計	100	100	100	100	100	500																							
<p>出 願 期 間</p>	<p>平成30年11月8日(木) ～ 平成30年11月14日(水)</p>																												
<p>試 験 日</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;">第1次選考 (書類選考)</td> <td style="padding: 5px;">選考結果は平成30年12月6日(木)に本人宛送付する。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第2次選考 (面接)</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">平成31年1月29日(火)</td> </tr> </table>	第1次選考 (書類選考)	選考結果は平成30年12月6日(木)に本人宛送付する。	第2次選考 (面接)	平成31年1月29日(火)																								
第1次選考 (書類選考)	選考結果は平成30年12月6日(木)に本人宛送付する。																												
第2次選考 (面接)	平成31年1月29日(火)																												
<p>合 格 者 発 表</p>	<p>平成31年2月12日(火)</p>																												
<p>そ の 他</p>																													

実施学部・学科名	水産学部 水産学科	
募集人員	5人	
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校における専門教育を主とする学科又は総合学科を平成31年3月卒業見込みの者、又は高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職業教育に関する教科・科目を20単位以上修得した者及び平成31年3月までに修得見込みの者 2. 合格した場合は、入学することを確約できる者 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、課題論文、小テスト、面接の結果を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録及び調査書により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、課題論文、小テスト（論理的思考能力及び英語に関する基礎学力を問う）及び面接を行う。 	
出願期間	平成30年9月3日（月）～平成30年9月7日（金）	
試験日	<p>第1次選考 （書類選考）</p> <hr/> <p>第2次選考 （課題論文・小テスト・面接）</p>	<p>選考結果は平成30年10月1日（月）に本人宛送付する。</p> <p>平成30年10月11日（木）・12日（金）</p>
合格者発表	平成30年10月24日（水）	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、本学の大学教育イノベーションセンターを通じて通知する予定である。	

(3) 推薦入試

推薦入試の大綱は次のとおりである。詳細については、9月上旬頃発表予定の「平成31年度長崎大学推薦入試学生募集要項」を参照すること。

【教育学部】

〔推薦Ⅰ〕

(推薦入試A:一般推薦枠)

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程
募集人員	小学校教育コース 35人 中学校教育コース 国語3人, 社会3人, 数学2人, 理科3人, 音楽1人, 美術1人, 保健体育2人, 技術2人, 家庭2人, 英語3人 幼稚園教育コース 5人 特別支援教育コース 4人
出願要件	次のコース・専攻ごとに掲げる各号に該当するもの 1. 小学校教育コース (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者, あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者 (2) 地域とともにすすめる初等教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 2. 中学校教育コース 国語専攻 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者, あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者 (2) 国語科教育に対する強い意欲を持ち, かつ中等教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 3. 中学校教育コース 社会専攻 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者, あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者 (2) 社会科教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 4. 中学校教育コース 数学専攻 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者, あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者 (2) 数学科教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 5. 中学校教育コース 理科専攻 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者, あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者 (2) 理科教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 6. 中学校教育コース 音楽専攻 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者, あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者 (2) 音楽教育に対して特に熱意のある者 (3) 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者

(次ページに続く)

7. 中学校教育コース 美術専攻

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者
- (2) 美術教育に対して特に熱意のある者
- (3) 人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

8. 中学校教育コース 保健体育専攻

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者
- (2) 保健体育、スポーツ競技に対して特に熱意があり、入学後も自立して競技を続ける意欲のある者
- (3) 学習成績概評がB段階以上に属し、全国大会・コンクール(国民体育大会、全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会等)又はブロック大会・コンクール(九州、中国、四国、近畿、関東等の都道府県大会よりも上位の大会を指す)に出場した者
- (4) 教師となる強い意志を持ち、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (5) 合格した場合は、入学することを確約できる者

9. 中学校教育コース 技術専攻

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者
- (2) 技術教育に対して特に深い理解と熱意のある者
- (3) 学習成績概評がB段階以上に属し、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

10. 中学校教育コース 家庭専攻

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者
- (2) 家庭科教育に対して特に熱意のある者
- (3) 学習成績概評がB段階以上に属し、家庭の評定平均値が4.0以上あり、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

11. 中学校教育コース 英語専攻

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者
- (2) 英語科教育に対して特に熱意のある者
- (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

12. 幼稚園教育コース

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者
- (2) 幼児教育に対して特に熱意のある者
- (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

13. 特別支援教育コース

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者
- (2) 特別支援教育に対して特に熱意のある者
- (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書及び各コース・専攻が指定する次の検査の成績等を審査し，その結果を総合して合格者を決定する。</p> <table border="0"> <tr> <td>小学校教育コース</td> <td></td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース</td> <td>国語専攻</td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース</td> <td>社会専攻</td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース</td> <td>数学専攻</td> <td>【面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース</td> <td>理科専攻</td> <td>【小論文，面接（簡単な操作を含む）】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース</td> <td>音楽専攻</td> <td>【実技検査，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース</td> <td>美術専攻</td> <td>【実技検査，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース</td> <td>保健体育専攻</td> <td>【面接（集団）】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース</td> <td>技術専攻</td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース</td> <td>家庭専攻</td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> <tr> <td>中学校教育コース</td> <td>英語専攻</td> <td>【面接】</td> </tr> <tr> <td>幼稚園教育コース</td> <td></td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育コース</td> <td></td> <td>【小論文，面接】</td> </tr> </table>	小学校教育コース		【小論文，面接】	中学校教育コース	国語専攻	【小論文，面接】	中学校教育コース	社会専攻	【小論文，面接】	中学校教育コース	数学専攻	【面接】	中学校教育コース	理科専攻	【小論文，面接（簡単な操作を含む）】	中学校教育コース	音楽専攻	【実技検査，面接】	中学校教育コース	美術専攻	【実技検査，面接】	中学校教育コース	保健体育専攻	【面接（集団）】	中学校教育コース	技術専攻	【小論文，面接】	中学校教育コース	家庭専攻	【小論文，面接】	中学校教育コース	英語専攻	【面接】	幼稚園教育コース		【小論文，面接】	特別支援教育コース		【小論文，面接】												
小学校教育コース		【小論文，面接】																																																		
中学校教育コース	国語専攻	【小論文，面接】																																																		
中学校教育コース	社会専攻	【小論文，面接】																																																		
中学校教育コース	数学専攻	【面接】																																																		
中学校教育コース	理科専攻	【小論文，面接（簡単な操作を含む）】																																																		
中学校教育コース	音楽専攻	【実技検査，面接】																																																		
中学校教育コース	美術専攻	【実技検査，面接】																																																		
中学校教育コース	保健体育専攻	【面接（集団）】																																																		
中学校教育コース	技術専攻	【小論文，面接】																																																		
中学校教育コース	家庭専攻	【小論文，面接】																																																		
中学校教育コース	英語専攻	【面接】																																																		
幼稚園教育コース		【小論文，面接】																																																		
特別支援教育コース		【小論文，面接】																																																		
出 願 期 間	平成 30 年 11 月 1 日（木） ～ 平成 30 年 11 月 7 日（水）																																																			
試 験 日	平成 30 年 11 月 21 日（水）																																																			
合 格 者 発 表	平成 30 年 12 月 6 日（木）																																																			
そ の 他	<p>1. 1 学校あたりの推薦人員は次のとおり。</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 小学校教育コース</td> <td>：</td> <td>1 人とする。</td> </tr> <tr> <td>(2) 中学校教育コース</td> <td>国語専攻</td> <td>：</td> <td>2 人以内とする。</td> </tr> <tr> <td>(3) 中学校教育コース</td> <td>社会専攻</td> <td>：</td> <td>1 人とする。</td> </tr> <tr> <td>(4) 中学校教育コース</td> <td>数学専攻</td> <td>：</td> <td>1 人とする。</td> </tr> <tr> <td>(5) 中学校教育コース</td> <td>理科専攻</td> <td>：</td> <td>1 人とする。</td> </tr> <tr> <td>(6) 中学校教育コース</td> <td>音楽専攻</td> <td>：</td> <td>制限しない。</td> </tr> <tr> <td>(7) 中学校教育コース</td> <td>美術専攻</td> <td>：</td> <td>制限しない。</td> </tr> <tr> <td>(8) 中学校教育コース</td> <td>保健体育専攻</td> <td>：</td> <td>制限しない。</td> </tr> <tr> <td>(9) 中学校教育コース</td> <td>技術専攻</td> <td>：</td> <td>1 人とする。</td> </tr> <tr> <td>(10) 中学校教育コース</td> <td>家庭専攻</td> <td>：</td> <td>2 人以内とする。</td> </tr> <tr> <td>(11) 中学校教育コース</td> <td>英語専攻</td> <td>：</td> <td>1 人とする。</td> </tr> <tr> <td>(12) 幼稚園教育コース</td> <td>：</td> <td></td> <td>制限しない。</td> </tr> <tr> <td>(13) 特別支援教育コース</td> <td>：</td> <td></td> <td>1 人とする。</td> </tr> </table> <p>2. 志願者が多数の場合は，面接が 11 月 22 日(木)にわたることがある。</p> <p>3. 小学校教育コース及び幼稚園教育コースは出願登録の際，入学時の所属専攻志望調査を行うが，この調査は入試の合否判定には何ら影響はない。入学時の所属専攻は，本調査の本人の志望により決定する。ただし，各専攻間に著しい偏りが生じる場合は，入学試験の成績等を参考に決定する。なお，小学校教育コース及び幼稚園教育コースの各専攻の説明については，次の教育学部ホームページを参照すること。 (URL : http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/)</p>	(1) 小学校教育コース	：	1 人とする。	(2) 中学校教育コース	国語専攻	：	2 人以内とする。	(3) 中学校教育コース	社会専攻	：	1 人とする。	(4) 中学校教育コース	数学専攻	：	1 人とする。	(5) 中学校教育コース	理科専攻	：	1 人とする。	(6) 中学校教育コース	音楽専攻	：	制限しない。	(7) 中学校教育コース	美術専攻	：	制限しない。	(8) 中学校教育コース	保健体育専攻	：	制限しない。	(9) 中学校教育コース	技術専攻	：	1 人とする。	(10) 中学校教育コース	家庭専攻	：	2 人以内とする。	(11) 中学校教育コース	英語専攻	：	1 人とする。	(12) 幼稚園教育コース	：		制限しない。	(13) 特別支援教育コース	：		1 人とする。
(1) 小学校教育コース	：	1 人とする。																																																		
(2) 中学校教育コース	国語専攻	：	2 人以内とする。																																																	
(3) 中学校教育コース	社会専攻	：	1 人とする。																																																	
(4) 中学校教育コース	数学専攻	：	1 人とする。																																																	
(5) 中学校教育コース	理科専攻	：	1 人とする。																																																	
(6) 中学校教育コース	音楽専攻	：	制限しない。																																																	
(7) 中学校教育コース	美術専攻	：	制限しない。																																																	
(8) 中学校教育コース	保健体育専攻	：	制限しない。																																																	
(9) 中学校教育コース	技術専攻	：	1 人とする。																																																	
(10) 中学校教育コース	家庭専攻	：	2 人以内とする。																																																	
(11) 中学校教育コース	英語専攻	：	1 人とする。																																																	
(12) 幼稚園教育コース	：		制限しない。																																																	
(13) 特別支援教育コース	：		1 人とする。																																																	

(推薦入試B:離島教育推薦枠)

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程
募 集 人 員	小学校教育コース 5人
出 願 要 件	次に掲げる各号に該当するもの (1) 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者 (2) 離島における教育に強い関心を持ち、卒業後は長崎県内の離島地区小学校において教職に就くことを強く希望する者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、小論文及び面接の成績等を総合して合格者を決定する。
出 願 期 間	平成30年11月1日(木) ～ 平成30年11月7日(水)
試 験 日	平成30年11月21日(水)
合 格 者 発 表	平成30年12月6日(木)
そ の 他	1. 1学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。 2. 志願者が多数の場合は、面接が11月22日(木)にわたることがある。 3. 小学校教育コースは出願登録の際、入学時の所属専攻志望調査を行うが、この調査は入試の合否判定には何ら影響はない。入学時の所属専攻は、本調査の本人の志望により決定する。ただし、各専攻間に著しい偏りが生じる場合は、入学試験の成績等を参考に決定する。なお、小学校教育コースの各専攻の説明については、次の教育学部ホームページを参照すること。 (URL : http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/)

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科 (昼間コース)								
募集人員	20人								
出願要件	<p>次の1, 2及び3(3-1又は3-2)を満たすもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 合格した場合は、入学することを確約できる者 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物が優れ、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 <p>3-1. 高等専門学校第3学年を平成31年3月修了見込みの者</p> <p>3-2. 高等学校若しくは中等教育学校の専門教育を主とする学科若しくは総合学科を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者。ただし、以下の(1)から(5)までのいずれかに該当する者には出願資格がない</p> <ol style="list-style-type: none"> 普通科に在籍している者 国語を主とする学科、系等に在籍し、下表の数学及び英語のすべての科目を履修した者(履修中を含む。) 理数を主とする学科、系等に在籍し、下表の国語及び英語のすべての科目を履修した者(履修中を含む。) 外国語又は国際関係を主とする学科、系等に在籍し、下表の国語及び数学のすべての科目を履修した者(履修中を含む。) 専門教育を主とする学科、系等(国語、理数、外国語又は国際関係を主とする学科、系等を除く。)又は総合学科に在籍し、下表の国語、数学及び英語のすべての科目を履修した者(履修中を含む。) <table border="1" data-bbox="517 1200 1307 1440"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国語総合(又は国語表現), 現代文B, 古典B(又は古典A)</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱ, 数学B</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ</td> </tr> </tbody> </table>	教科	科目	国語	国語総合(又は国語表現), 現代文B, 古典B(又は古典A)	数学	数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱ, 数学B	英語	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ
教科	科目								
国語	国語総合(又は国語表現), 現代文B, 古典B(又は古典A)								
数学	数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱ, 数学B								
英語	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ								
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書、小論文(英語の問題を含む。)及び面接の成績等を総合して合格者を決定する。								
出願期間	平成30年11月1日(木) ～ 平成30年11月7日(水)								
試験日	平成30年11月15日(木)								
合格者発表	平成30年12月6日(木)								
その他	1学校あたりの推薦人員は、5人以内とする。								

【医学部】

〔推薦Ⅱ〕

(推薦入試A：地域医療枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科																					
募集人員	15人																					
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかに該当するもの <ol style="list-style-type: none"> 長崎県内の小学校、中学校若しくは高等学校を卒業した者 長崎県内の高等学校を卒業見込みの者 長崎県内の特別支援学校若しくは高等専門学校等において、通常の課程による12年の学校教育(注)を修了した者、又は修了見込みの者 (注)特別支援学校の小学部及び中学部については、①の小学校及び中学校と同様に取り扱う。 地域医療を志し、学習成績概評が㊤又はA段階に属する者で、人物に優れ、長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 入学後は地域医療枠所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎大学病院及び長崎大学が指定する医療機関等で、2年間の初期研修を含む3年間の臨床研修に従事することを確約できる者 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 合格した場合は、入学することを確約できる者 																					
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 推薦入試A・Bは、出願時に届け出た第1希望及び第2希望に基づき、第1希望を優先して次のように合格者を決定する。 まず、第1希望について、①の総得点の高い順に合格者を決定する。第1希望の合格者で募集人員に満たない場合は、その不足した人員を第2希望の受験者を対象に①の総得点の高い順に合格者を決定する。 なお、推薦入試Bによる合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を推薦入試Aの募集人員に加えて選抜する。 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。 また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 5%;">：</td> <td style="width: 40%;">国</td> <td rowspan="4" style="width: 5%; vertical-align: middle;">} から1</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>：</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>：</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>：</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>：</td> <td>物理, 化学, 生物から2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>：</td> <td>英, 独, 仏から1</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> </div>	国	：	国	} から1	地歴	：	世B, 日B, 地理B	公民	：	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	：	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B	理	：	物理, 化学, 生物から2		外	：	英, 独, 仏から1	
国	：	国	} から1																			
地歴	：	世B, 日B, 地理B																				
公民	：	現社, 倫, 政経, 倫・政経																				
数	：	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B																				
理	：	物理, 化学, 生物から2																				
外	：	英, 独, 仏から1																				
出願期間	平成30年12月17日(月)～平成30年12月21日(金)																					
試験日	平成31年1月25日(金)																					
合格者発表	平成31年2月12日(火)																					
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1学校あたりの推薦人員は、推薦入試Bと合わせて4人以内とする。 推薦入試A・Bは、入学希望順位を付して併せて出願することができる。ただし、第2希望の出願は任意である。 推薦入試Bを第2希望として出願する者は、長崎県の推薦を受けること。 推薦入試C, Dのいずれとも併願することはできない。 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 																					

【医学部】

〔推薦Ⅱ〕

(推薦入試B：地域医療特別枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科												
募集人員	15人												
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかに該当するもの <ol style="list-style-type: none"> 長崎県内の小学校、中学校若しくは高等学校を卒業した者 長崎県内の高等学校を卒業見込みの者 長崎県内の特別支援学校若しくは高等専門学校等において、通常の課程による12年の学校教育(注)を修了した者、又は修了見込みの者 (注)特別支援学校の小学部及び中学部については、①の小学校及び中学校と同様に取り扱う。 地域医療を志し、学習成績概評が㊶又はA段階に属する者で、人物に優れ、長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 長崎県の推薦がある者 入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受け、医学科の地域医療特別枠所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎県が指定する長崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者(長崎県医学修学資金貸与制度に基づく。) 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 合格した場合は、入学することを確約できる者 												
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 推薦入試A・Bは、出願時に届け出た第1希望及び第2希望に基づき、第1希望を優先して次のように合格者を決定する。 まず、第1希望について、①の総得点の高い順に合格者を決定する。第1希望の合格者で募集人員に満たない場合は、その不足した人員を第2希望の受験者を対象に①の総得点の高い順に合格者を決定する。 なお、推薦入試Bによる合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を推薦入試Aの募集人員に加えて選抜する。 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。 また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 50%;">国</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B、日B、地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物理、化学、生物から2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英、独、仏から1</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">} から1</p> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> </div>	国	国	地歴	世B、日B、地理B	公民	現社、倫、政経、倫・政経	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B	理	物理、化学、生物から2	外	英、独、仏から1
国	国												
地歴	世B、日B、地理B												
公民	現社、倫、政経、倫・政経												
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B												
理	物理、化学、生物から2												
外	英、独、仏から1												
出願期間	平成30年12月17日(月)～平成30年12月21日(金)												
試験日	平成31年1月25日(金)												
合格者発表	平成31年2月12日(火)												
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1学校あたりの推薦人員は、推薦入試Aと合わせて4人以内とする。 推薦入試A・Bは、入学希望順位を付して併せて出願することができる。ただし、第2希望の出願は任意である。 推薦入試C、Dのいずれとも併願することはできない。 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 長崎県医学修学資金については、長崎県福祉保健部医療人材対策室(TEL.095-895-2421)まで問い合わせること。 												

(推薦入試C：佐賀県枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科												
募 集 人 員	2人												
出 願 要 件	<p>佐賀県内の高等学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月に卒業見込みの者、あるいは佐賀県内の特別支援学校等において、通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評が㊤又はA段階に属する者 2. 人物に優れ、佐賀県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できる者 3. 入学後は「佐賀県医師修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は、小児科、産科、救急科又は麻酔科の医師として、佐賀県が指定する佐賀県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者 4. 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 5. 合格した場合は、入学することを確約できる者 												
選 抜 方 法 等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。 また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 50%;">国</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物理, 化学, 生物から2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏 から1</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">} から1</p> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> </div>	国	国	地歴	世B, 日B, 地理B	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B	理	物理, 化学, 生物から2	外	英, 独, 仏 から1
国	国												
地歴	世B, 日B, 地理B												
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経												
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B												
理	物理, 化学, 生物から2												
外	英, 独, 仏 から1												
出 願 期 間	平成30年12月17日(月) ～ 平成30年12月21日(金)												
試 験 日	平成31年1月25日(金)												
合 格 者 発 表	平成31年2月12日(火)												
そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。 2. 推薦入試A, B, C(宮崎県枠), Dのいずれとも併願することはできない。 3. 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 4. 佐賀県医師修学資金については、佐賀県健康福祉本部医務課地域医療体制整備室(TEL. 0952-25-7033)まで問い合わせること。 												

(推薦入試C：宮崎県枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科												
募 集 人 員	2人												
出 願 要 件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかに該当するもの <ol style="list-style-type: none"> 宮崎県内の小学校、中学校、高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 宮崎県内の高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの者 宮崎県内の特別支援学校若しくは高等専門学校等において、通常の課程による12年の学校教育(注)を修了した者、又は修了見込みの者 <p>(注)特別支援学校の小学部及び中学部については、①の小学校及び中学校と同様に取り扱う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物に優れた者で、高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 宮崎県の推薦がある者 入学後は「宮崎県医師修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は宮崎県が指定する宮崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 合格した場合は、入学することを確約できる者 												
選 抜 方 法 等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。</p> <p>また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 50%;">： 国</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>： 世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>： 現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>： 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>： 物理, 化学, 生物から2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>： 英, 独, 仏 から1</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">} から1</p> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> </div>	国	： 国	地歴	： 世B, 日B, 地理B	公民	： 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	： 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B	理	： 物理, 化学, 生物から2	外	： 英, 独, 仏 から1
国	： 国												
地歴	： 世B, 日B, 地理B												
公民	： 現社, 倫, 政経, 倫・政経												
数	： 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B												
理	： 物理, 化学, 生物から2												
外	： 英, 独, 仏 から1												
出 願 期 間	平成30年12月17日(月) ～ 平成30年12月21日(金)												
試 験 日	平成31年1月25日(金)												
合 格 者 発 表	平成31年2月12日(火)												
そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。 2 推薦入試A, B, C(佐賀県枠), Dのいずれとも併願することはできない。 3 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 4 宮崎県医師修学資金については、宮崎県福祉保健部医療業務課(TEL.0985-26-7055)まで問い合わせること。 												

(推薦入試D：グローバルヘルス研究医枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科																		
募 集 人 員	10人																		
出 願 要 件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物に優れた者で、高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 2. 入学後は所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(医学系基礎研究分野)に進学し、グローバルヘルスあるいは基礎医学研究等に貢献する者 3. 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者 																		
選 抜 方 法 等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績、日本語による面接及び英語による面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、あるいは大学入試センター試験外国語科目の得点率が、原則として85%に満たない場合は不合格とする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">国</td> <td style="padding: 2px;">: 国</td> <td rowspan="4" style="font-size: 2em; padding: 0 10px;">}</td> <td rowspan="4" style="padding: 0 10px;">から1</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">地歴</td> <td style="padding: 2px;">: 世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">公民</td> <td style="padding: 2px;">: 現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">数</td> <td style="padding: 2px;">: 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">理</td> <td style="padding: 2px;">: 物理, 化学, 生物から2</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">外</td> <td style="padding: 2px;">: 英, 独, 仏 から1</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">[5教科7科目]</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 2. 日本語による面接及び英語による面接のいずれかの評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 	国	: 国	}	から1	地歴	: 世B, 日B, 地理B	公民	: 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	: 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B	理	: 物理, 化学, 生物から2			外	: 英, 独, 仏 から1		
国	: 国	}	から1																
地歴	: 世B, 日B, 地理B																		
公民	: 現社, 倫, 政経, 倫・政経																		
数	: 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B																		
理	: 物理, 化学, 生物から2																		
外	: 英, 独, 仏 から1																		
出 願 期 間	平成30年12月17日(月) ～ 平成30年12月21日(金)																		
試 験 日	平成31年1月25日(金)																		
合 格 者 発 表	平成31年2月12日(火)																		
そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1学校あたりの推薦人員は、4人以内とする。 2. 推薦入試A, B, Cのいずれとも併願することはできない。 3. 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 4. 入学後は、以下の4つのプログラムのいずれか1つに所属する。 <ol style="list-style-type: none"> ①熱帯医学研究医プログラム(熱帯医学の基礎研究に貢献する者) ②国際保健医療プログラム(国際保健医療, 放射線健康科学分野に貢献する者) ③一般研究医プログラム(基礎医学研究に貢献する者) ④法医学プログラム(法医学研究に貢献する者) 																		

【医 学 部】

〔推薦Ⅰ〕

(推薦入試①：一般推薦枠)

実施学部・学科名	医学部 保健学科
募集人員	看護学専攻 8人 理学療法学専攻 2人 作業療法学専攻 2人
出願要件	高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの 1. 医療技術者を志し、学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物に優れ、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書及び本人自筆の志望理由書並びに小論文（英語の問題を含む）及び面接の評価を総合して合格者を決定する。
出願期間	平成30年11月1日（木）～平成30年11月7日（水）
試験日	平成30年11月15日（木）
合格者発表	平成30年12月6日（木）
その他	1. 1学校あたりの推薦人員は制限しない。 2. 保健師国家試験受験資格について 平成29年度入学者から適用する教育カリキュラムを変更しており、学部教育では保健師国家試験受験資格は取得できない。保健師教育は、平成31年度以降に、大学院の修士課程で行う予定であり、準備を進めている。 3. 助産師国家試験受験資格について 助産師教育に関しては大学院の修士課程で行うため、学部教育では助産師国家試験受験資格を取得できない。

(推薦入試②：離島看護師推薦枠)

実施学部・学科名	医学部 保健学科
募集人員	看護学専攻 2人
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物に優れ、長崎県の離島医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 卒業後は、長崎県内の離島に勤務することを確約できる者 3. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書及び本人自筆の志望理由書並びに小論文（英語の問題を含む）及び面接の評価を総合して合格者を決定する。</p>
出願期間	平成30年11月1日（木）～平成30年11月7日（水）
試験日	平成30年11月15日（木）
合格者発表	平成30年12月6日（木）
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1学校あたりの推薦人員は制限しない。 2. 保健師国家試験受験資格について 平成29年度入学者から適用する教育カリキュラムを変更しており、学部教育では保健師国家試験受験資格は取得できない。保健師教育は、平成31年度以降に、大学院の修士課程で行う予定であり、準備を進めている。 3. 助産師国家試験受験資格について 助産師教育に関しては大学院の修士課程で行うため、学部教育では助産師国家試験受験資格を取得できない。

実施学部・学科名	薬学部 薬学科
募集人員	4人
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域医療を志し、学習成績概評が㊤又はA段階に属する者で、人物に優れ、長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 2. 大学卒業後あるいは博士課程修了後、長崎大学病院あるいは長崎大学病院の推薦する病院、薬局等にて3年間、薬剤師業務に従事することを確約できる者 3. 大学入試センター試験で、薬学部が指定した教科・科目を受験する者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p>数 : 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p>理 : 物理、生物から1 化学</p> <p>外 : 英、独、仏、中、韓 から1</p> <p style="text-align: right;">〔3教科5科目〕</p> </div>
出願期間	平成30年12月17日(月) ～ 平成30年12月21日(金)
試験日	平成31年1月24日(木)
合格者発表	平成31年2月12日(火)
その他	1学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。

実施学部・学科名	薬学部 薬科学科
募集人員	4人
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬学・生命科学分野の研究者・技術者を志し、学習成績概評が㊤又はA段階に属する者で、人物に優れ、博士号の取得を目指して長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士後期課程又は博士課程まで進学することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 2. 大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程に進学し、その後、博士号の取得を目指して同研究科博士後期課程又は博士課程に進学することを確約できる者 3. 大学入試センター試験で、薬学部が指定した教科・科目を受験する者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p>数 : 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p>理 : 物理, 生物から1 化学</p> <p>外 : 英, 独, 仏, 中, 韓 から1</p> <p style="text-align: right;">[3教科5科目]</p> </div>
出願期間	平成30年12月17日(月) ～ 平成30年12月21日(金)
試験日	平成31年1月24日(木)
合格者発表	平成31年2月12日(火)
その他	1学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。

(推薦入試①：普通科等)

実施学部・学科名	環境科学部 環境科学科							
募集人員	選抜方法A（文系受験）	6人						
	選抜方法B（理系受験）	6人						
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成30年3月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成30年3月以降に修了した者及び平成31年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの （本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 環境科学を志し、人物、学業に優れ、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 大学入試センター試験で、環境科学部が指定した教科・科目を受験する者 合格した場合は、入学することを確約できる者 							
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験及び面接の成績等を審査し、その結果を総合して合格者を決定する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">【大学入試センター試験指定教科・科目】</th> </tr> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">選抜方法A（文系受験）</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">選抜方法B（理系受験）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 国：国 地歴：世B、日B、地理B 公民：現社、倫、政経、倫・政経 数：数I、数I・数Aから1 数II、数II・数Bから1 理：物理基礎、化学基礎、生物基礎、 地学基礎から2又は物理、化学、生物、 地学から1 外：英、独、仏、中、韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目] </td> <td style="vertical-align: top;"> 国：国 地歴：世B、日B、地理B 公民：現社、倫、政経、倫・政経 数：数I・数A 数II、数II・数Bから1 理：物理基礎、化学基礎、生物基礎、 地学基礎から2又は物理、化学、生物、 地学から1 外：英、独、仏、中、韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目] </td> </tr> </tbody> </table>		【大学入試センター試験指定教科・科目】		選抜方法A（文系受験）	選抜方法B（理系受験）	国：国 地歴：世B、日B、地理B 公民：現社、倫、政経、倫・政経 数：数I、数I・数Aから1 数II、数II・数Bから1 理：物理基礎、化学基礎、生物基礎、 地学基礎から2又は物理、化学、生物、 地学から1 外：英、独、仏、中、韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目]	国：国 地歴：世B、日B、地理B 公民：現社、倫、政経、倫・政経 数：数I・数A 数II、数II・数Bから1 理：物理基礎、化学基礎、生物基礎、 地学基礎から2又は物理、化学、生物、 地学から1 外：英、独、仏、中、韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目]
【大学入試センター試験指定教科・科目】								
選抜方法A（文系受験）	選抜方法B（理系受験）							
国：国 地歴：世B、日B、地理B 公民：現社、倫、政経、倫・政経 数：数I、数I・数Aから1 数II、数II・数Bから1 理：物理基礎、化学基礎、生物基礎、 地学基礎から2又は物理、化学、生物、 地学から1 外：英、独、仏、中、韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目]	国：国 地歴：世B、日B、地理B 公民：現社、倫、政経、倫・政経 数：数I・数A 数II、数II・数Bから1 理：物理基礎、化学基礎、生物基礎、 地学基礎から2又は物理、化学、生物、 地学から1 外：英、独、仏、中、韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目]							
出願期間	平成30年12月17日（月）～平成30年12月21日（金）							
試験日	平成31年1月25日（金）							
合格者発表	平成31年2月12日（火）							
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1学校あたりの推薦人員は、制限しない。 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 大学入試センター試験において、理科を学部が指定した科目数より多く受験している場合は、以下のとおりとする。 <ol style="list-style-type: none"> (1)「基礎を付した2科目」と「基礎を付していない1科目」を受験した場合は高得点科目を採用する。 (2)「基礎を付していない2科目」を受験した場合は第1解答科目を採用する。 							

(推薦入試②：普通科等以外)

実施学部・学科名	環境科学部 環境科学科
募集人員	4人
出願要件	<p>高等学校若しくは中等教育学校の専門教育を主とする学科若しくは総合学科を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育（専門教育を主とする学科）を平成31年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの （本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境科学を志し、人物、学業に優れ、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 大学入試センター試験で、環境科学部が指定した教科・科目を受験する者 3. 在籍する高校（学科）での成績（評定値平均）が最上位の者又はそれに準ずる者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験及び面接の成績等を審査し、その結果を総合して合格者を決定する。 大学入試センター試験については、下表の科目の中から2科目以上を受験すること。ただし、基礎を付した理科科目を含む場合は、基礎を付した理科2科目を含む3科目以上を受験すること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p>国：国 地歴：世A，世B，日A，日B，地理A，地理B 公民：現社，倫，政経，倫・政経 数：数I，数I・数A 数II，数II・数B，簿，情報 理：物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎 物理，化学，生物，地学 外：英</p> </div> <p>受験した全科目の中で合計点が最も高くなるように2科目（基礎を付した理科科目を含む場合は3科目）の成績を採用する。（例：数I，物理基礎，化学基礎）</p>
出願期間	平成30年12月17日（月）～平成30年12月21日（金）
試験日	平成31年1月25日（金）
合格者発表	平成31年2月12日（火）
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1学校あたりの推薦人員は、制限しない。 2. 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目選択する際に、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。 3. 大学入試センター試験において、理科で「基礎を付した2科目」と「基礎を付していない1科目」を選択する際、同一名称（「物理基礎」と「物理」等）を含む科目の組合せで受験している場合は、高得点科目のみ採用する。 4. 大学入試センター試験の地歴・公民及び理科それぞれの第2解答科目は、それぞれの第1解答科目を採用している場合に限り採用する。

【水産学部】

〔推薦Ⅰ〕

実施学部・学科名	水産学部 水産学科
募集人員	15人
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者、あるいは、高等専門学校第3学年又は通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評がB段階以上に属し、人物が優秀で、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書及び面接（論理的思考能力及び英語能力を問う口述を含む。）の評価を総合して合格者を決定する。</p>
出願期間	平成30年11月1日（木）～平成30年11月7日（水）
試験日	平成30年11月15日（木）
合格者発表	平成30年12月6日（木）
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1学校あたりの推薦人員は制限しない。 2. 本学部では、履修コース制を採用して教育を行っている。志願の際は、長崎大学案内及び水産学部案内を参照すること。 3. 志願者が多数の場合は、面接が11月16日（金）にわたることがある。

*** 推薦入試の実施教科・科目等及び配点**

学部学科等名		大学入試センター試験・学力検査等の配点等														
		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	英語面接	実技検査	志望理由書	調査書	推薦書	配点合計
教 育 部	小学校教育コース 推薦入試 A・B	センター試験														
		学力検査等							100	120						220
		計							100	120						220
	国語専攻	センター試験														
		学力検査等							120	100						220
		計							120	100						220
	社会専攻	センター試験														
		学力検査等							100	120						220
		計							100	120						220
	数学専攻	センター試験														
		学力検査等									300					300
		計									300					300
	理科専攻	センター試験														
		学力検査等							100	120						220
		計							100	120						220
音楽専攻	センター試験															
	学力検査等								100		300				400	
	計								100		300				400	
美術専攻	センター試験															
	学力検査等								300		300				600	
	計								300		300				600	
保健体育専攻	センター試験															
	学力検査等								100						100	
	計								100						100	
技術専攻	センター試験															
	学力検査等							100	100						200	
	計							100	100						200	
家庭専攻	センター試験															
	学力検査等							100	100						200	
	計							100	100						200	
英語専攻	センター試験															
	学力検査等									300					300	
	計									300					300	
幼稚園教育コース	センター試験															
	学力検査等							100	120						220	
	計							100	120						220	
特別支援教育コース	センター試験															
	学力検査等							100	120						220	
	計							100	120						220	

学部学科等名		大学入試センター試験・学力検査等の配点等															
		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	英語面接	実技検査	志望理由書	調査書	推薦書	配点合計	
経済学部	総合経済学科 (昼間コース)	センター試験															
		学力検査等							80	20							100
		計							80	20							100
医学部	医学科 (推薦入試A/B/C)	センター試験	200	*100		200	200	200								900	
		学力検査等								120				80		200	
		計	200	*100		200	200	200		120				80		1100	
	医学科 (推薦入試D)	センター試験	200	*100		200	200	250								950	
		学力検査等								120	100			80		300	
		計	200	*100		200	200	250		120	100			80		1250	
	保健学科 (推薦入試①・②)	センター試験															
		学力検査等							100	100						200	
		計							100	100						200	
薬学部	薬学科	センター試験				200	200	200							600		
		学力検査等								120				80	200		
		計				200	200	200		120				80	800		
	薬科学科	センター試験				200	200	200							600		
		学力検査等								120				80	200		
		計				200	200	200		120				80	800		
環境科学部	推薦① (文系受験) 選抜方法A	センター試験	200	*200		100	100	200							800		
		学力検査等								150				50	200		
		計	200	*200		100	100	200		150				50	1000		
	推薦② (理系受験) 選抜方法B	センター試験	100	*100		200	200	200							800		
		学力検査等								150				50	200		
		計	100	*100		200	200	200		150				50	1000		
	推薦②	センター試験	*100	*100		*100	*100	*100							200		
		学力検査等								100				100	200		
		計	*100	*100		*100	*100	*100		100				100	400		
水産学部	水産学科	センター試験															
		学力検査等								150					150		
		計								150					150		

注1) 配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。

注2) 大学入試センター試験の外国語(英語)の配点は、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点(250点満点)を配点のとおりに圧縮して利用する。(医学部(医学科の推薦入試A/B/C)、薬学部及び環境科学部)

* 推薦入試における実技検査の内容

教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コースの音楽専攻及び美術専攻の志願者には、次の内容についてそれぞれの実技検査を行う。

【音楽専攻：実技検査（音楽）】

楽典（必須）並びに声楽及び器楽（選択）

なお、声楽及び器楽の演奏課題に関しては、次のA、B又はCのいずれかで受験すること。

選択区分	演 奏 課 題		提出書類
A 声楽を主とする場合	声楽	イタリア歌曲、ドイツ歌曲、日本歌曲、オペラアリアの中から任意の一曲（暗譜・原語で演奏すること。）	伴奏楽譜
	ピアノ	ソナチネ程度の任意の一曲	
B ピアノを主とする場合	ピアノ	ハイドン、モーツアルト、ベートーベン、ショパン、シューマン、ブラームス、リストより任意の一曲（暗譜のこと。）	伴奏楽譜
	声楽	中学校教材程度の任意の一曲	
C 管弦打楽器を主とする場合	管弦打楽器	任意の管弦打楽器による任意の一曲	楽譜
	声楽	中学校教材程度の任意の一曲	伴奏楽譜
	ピアノ	ソナチネ程度の任意の一曲	

注1) 楽譜には必ず氏名を記入し、出願書類とともに提出すること。

2) 管弦打楽器のうちコントラバスとマリンバ以外は受験者が持参すること。

3) 11月20日（火）の10:00～17:00までの間、教育学部音楽棟1階「学生ピアノ練習室（10室程度）」のピアノを開放するので、空いている部屋を適宜使用してもよい。なお、使用にあたっては、予約・申込等の手続は不要である。

【美術専攻：実技検査（美術）】

内 容	課 題 (幾何形立体・石こう製等)	受 験 者 が 持 参 す る も の
鉛筆デッサン	静物	鉛筆デッサンに必要な道具一式 (鉛筆, 消し具など)

注1) 紙、カルトン、クリップ、イーゼル一式は大学で準備する。

2) 次にあげる自作の作品を面接時に持参すること。(作品・計3点)

各作品の制作証明書を出願書類に添えて提出すること。(計3枚)

・デッサン1点 古代ギリシャ・ローマ等の石膏像デッサンで大きさ・紙質自由

・本人が移動可能な大きさの作品2点

(4) 帰国子女入試

帰国子女入試の大綱は次のとおりである。詳細については、9月上旬頃発表予定の「平成31年度長崎大学帰国子女入試学生募集要項」を参照すること。

【 多文化社会学部 】

〔帰国子女〕

実施学部・学科名	多文化社会学部 多文化社会学科	
募集人員	国際公共政策コース・社会動態コース・共生文化コース・言語コミュニケーションコース	若干人
	オランダ特別コース	若干人
出願要件	<p>日本国籍（日本国の永住権を有する外国籍を含む。）を有し、保護者の海外勤務等の事情により外国に在留（保護者の帰国等により単身で在留する場合も含む。）し、外国の教育を受けた者で、次のいずれかに該当し、かつ、TOEFL iBT 75点以上、TOEFL PBT 537点以上、TOEIC L&R 750点以上、実用英語技能検定（英検）準1級以上又はIELTS 6.0以上のいずれかのスコア・級を有するもの</p> <p>1. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育の12年の課程（日本における通常の課程による学校教育期間を含む。）を、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者ただし、外国において、最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を受けている者に限る。</p> <p>2. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を原則として2年以上継続して受け、引き続き、日本の高等学校の第2学年又は第3学年に編入学を認められた者で、平成31年3月31日までに卒業見込みのもの</p> <p>3. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を3年以上継続して受け、引き続き、日本の高等学校に入学又は第1学年に編入学した者で、平成31年3月31日までに卒業見込みのもの</p> <p>4. 次のいずれか一つを平成29年度又は平成30年度に外国において授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達していること。</p> <p>(1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>(2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>(3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(4) 英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格</p> <p>注1) 外国語検定試験は、平成28年11月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定（英検）については、二次試験を平成28年11月以降に受験した試験とする。</p> <p>注2) 外国語検定試験は公式スコアを対象とし、TOEFL ITP 及びTOEIC IPは対象としない。</p>	
選抜方法等	提出された書類及び面接（日本語及び英語による）の成績の結果を総合して合格者を決定する。	
出願期間	平成30年11月1日（木）～ 平成30年11月7日（水）	
試験日	平成30年11月14日（水）	
合格者発表	平成30年12月6日（木）	
その他		

実施学部・学科名	工学部 工学科 全コース (機械工学, 電気電子工学, 情報工学, 構造工学, 社会環境デザイン工学, 化学・物質工学)
募 集 人 員	各コースとも若干人
出 願 要 件	<p>日本国籍（日本国の永住権を有する外国籍を含む。）を有し、保護者の海外勤務等の事情により外国に在留（保護者の帰国等により単身で在留する場合も含む。）し、外国の教育を受けた者で、次のいずれかに該当するもの</p> <p>1. 12年の学校教育課程を修了又は平成31年3月31日までに修了見込み（最終学年が国内、国外のいずれかにあるかは問わない。）の者で、次の(1)及び(2)の要件を満たしていること。</p> <p>(1) 外国において2年以上継続して日本の高等学校相当の課程の正規の学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を受けたこと又は受ける見込みであること。</p> <p>(2) 上記(1)の要件を満たしてから2年以内であること。（最終学年が国外の場合、最終学年を平成29年4月1日以降修了又は修了見込みであること、最終学年が国内の場合、最終学年に平成29年4月1日以降在学していること。）</p> <p>2. 次のいずれか一つを平成29年度又は平成30年度に外国において授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達していること。</p> <p>(1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>(2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>(3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(4) 英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格</p>
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を免除し、面接試験〔数学及び理科（物理・化学）に関する基礎的問題についての口述試験等を含む。〕の成績及び提出された書類の審査の結果を総合して合格者を決定する。
出 願 期 間	平成30年11月1日（木）～ 平成30年11月7日（水）
試 験 日	平成31年 1月30日（水）
合 格 者 発 表	平成31年 2月12日（火）
そ の 他	

実施学部・学科名	水産学部 水産学科
募集人員	若干人
出願要件	<p>日本国籍（日本国の永住権を有する外国籍を含む。）を有し、保護者の海外勤務等の事情により外国に在留（保護者の帰国等により単身で在留する場合も含む。）し、外国の教育を受けた者で、次のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育の12年の課程（日本における通常の課程による学校教育期間を含む。）を、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 ただし、外国において、最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を受けている者に限る。 2. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を原則として2年以上継続して受け、引き続き、日本の高等学校の第2学年又は第3学年に編入学を認められた者で、平成31年3月31日までに卒業見込みのもの 3. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を3年以上継続して受け、引き続き、日本の高等学校に入学又は第1学年に編入学した者で、平成31年3月31日までに卒業見込みのもの 4. 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成29年度又は平成30年度に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの 5. ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成29年度以降に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの 6. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成29年度又は平成30年度に授与された者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの 7. 英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を平成29年度又は平成30年度に外国において取得した者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、提出された書類の審査及び面接・小論文の成績の結果を総合して合格者を決定する。
出願期間	平成30年11月1日（木）～ 平成30年11月7日（水）
試験日	平成30年11月15日（木）
合格者発表	平成30年12月6日（木）
その他	

(5) 社会人入試

社会人入試の大綱は次のとおりである。詳細については、9月上旬頃発表予定の「平成31年度長崎大学社会人入試学生募集要項」を参照すること。

なお、経済学部においては、11月期及び3月期の複数の受験機会を設ける。

【経済学部】

〔社会人〕

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科 (夜間主コース)
募集人員	11月期 : 40人 3月期 : 20人
出願要件	<p>次の1又は2に該当する者</p> <p>1. 現に就業し(就職内定及び就職予定を含む。), 入学後も就業しながら勉学することを確約できる者で, 次のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者で, かつ, 18歳に達するもの</p> <p>2. 社会人経験(注)を有し, 平成31年3月31日までに, 22歳に達し, 上記1の各号のいずれかに該当する者</p> <p>注1) 就業しながら, 定時制又は通信制の高等学校(大学の夜間部を含む。)に在学した期間を含む。</p> <p>注2) 家事・家業・パート等の従事期間も含む。</p>
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し, 志望理由書, 推薦書, 履歴書, 就業証明書, 調査書等, 小論文及び面接の成績等を総合して合格者を決定する。
出願期間	11月期 : 平成30年10月15日(月) ~ 平成30年10月19日(金) 3月期 : 平成31年2月12日(火) ~ 平成31年2月18日(月)
試験日	11月期 : 平成30年11月3日(土) 3月期 : 平成31年3月2日(土)
合格者発表	11月期 : 平成30年11月22日(木) 3月期 : 平成31年3月14日(木)
その他	

実施学部・学科名	医学部 保健学科
募集人員	看護学専攻 2人 理学療法学専攻 1人 作業療法学専攻 1人
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、平成31年3月31日までに23歳に達し、社会人経験（注）3年以上を有する者で、合格した場合は必ず本学に入学することが確約でき、卒業後は看護、理学療法、作業療法の分野に就業する意志のあるもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 5. 文部科学大臣の指定した者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成31年3月31日までに合格見込みの者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。） <p>注1) 就業しながら、定時制又は通信制の高等学校（大学の夜間部を含む。）に在学した期間を含む。</p> <p>注2) 家事・家業・パート等の従事期間も含む。</p>
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、調査書、履歴書及び本人自筆の志望理由書並びに小論文（英語の問題を含む。）及び面接の評価を総合して合格者を決定する。
出願期間	平成30年10月15日（月）～ 平成30年10月19日（金）
試験日	平成30年11月 3日（土）
合格者発表	平成30年11月22日（木）
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師国家試験受験資格について 平成29年度入学者から適用する教育カリキュラムを変更しており、学部教育では保健師国家試験受験資格は取得できない。保健師教育は、平成31年度以降に、大学院の修士課程で行う予定であり、準備を進めている。 2. 助産師国家試験受験資格について 助産師教育に関しては大学院の修士課程で行うため、学部教育では助産師国家試験受験資格を取得できない。

(6) 外国人留学生入試

外国人留学生入試の大綱は次のとおりである。詳細については、9月上旬頃発表予定の「平成31年度長崎大学外国人留学生入試学生募集要項」を参照すること。

実施学部	多文化社会学部, 教育学部, 経済学部(昼間コース), 医学部, 歯学部, 薬学部, 工学部, 環境科学部, 水産学部
募集人員	環境科学部8人, 他の学部はいずれも若干人
出願要件	<p>外国人〔日本国籍を有しない者(日本国永住許可を受けている者を除く。)]で, 次の(1)~(5)のいずれかに該当し, 平成29年度又は平成30年度の日本留学試験において各学部が指定する教科・科目を受験したもの。</p> <p><u>日本留学試験において各学部が指定する教科・科目等については, 次ページで確認すること。</u></p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者(平成31年3月修了見込みの者を含む。)で, 平成31年3月31日までに18歳に達するもの又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。</p> <p>(2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で, 平成31年3月31日までに18歳に達するもの。</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で, 平成31年3月31日までに18歳に達するもの。</p> <p>(4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で, 平成31年3月31日までに18歳に達するもの。</p> <p>(5) 英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を外国において取得した者で, 平成31年3月31日までに18歳に達するもの。</p> <p>【多文化社会学部】 上記の要件を満たし, かつ, TOEFL iBT 61点以上, TOEFL PBT 500点以上, TOEIC L&R 730点以上又はIELTS 5.5以上のいずれかのスコアを有すること。 注1) 外国語検定試験は, 平成28年11月以降に受験した試験に限る。 注2) 外国語検定試験は公式スコアを対象とし, TOEFL ITP及びTOEIC IPは対象としない。</p> <p>【教育学部(小学校教育コース・幼稚園教育コース・特別支援教育コース)】 上記の要件を満たし, かつ, TOEFL iBT 41点以上, TOEFL PBT 440点以上, TOEIC L&R 400点以上のいずれかのスコアを有すること。(ただし, 出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。)</p> <p>【教育学部(中学校教育コース英語専攻)】 上記の要件を満たし, かつ, TOEFL iBT, TOEFL PBT又はTOEIC L&Rを受験していること。(ただし, 出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。)</p> <p>【経済学部】 上記の要件を満たし, かつ, TOEFL iBT 39点以上又はTOEIC L&R 385点以上を有すること。(ただし, 出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。)</p> <p>【歯学部】 上記の要件を満たし, かつ, 日本留学試験の日本語(聴解・聴読解, 読解及び記述)合計360点以上, 基礎学力(数学, 理科2科目)320点以上の得点を有すること。</p> <p>【工学部】 上記の要件を満たし, かつ, 日本留学試験の日本語(聴解・聴読解及び読解)合計240点以上の得点を有すること。</p>
選抜方法等	<u>70ページから72ページで確認すること。</u>
出願期間	【平成30年11月16日(金)～平成30年11月22日(木)】
試験日	多文化社会学部, 経済学部, 工学部, 環境科学部 【平成31年1月30日(水)】※1 水産学部 【平成31年2月1日(金)】 教育学部, 歯学部, 薬学部 【平成31年2月25日(月)】※2 医学部 【平成31年2月25日(月)・26日(火)】
合格者発表	多文化社会学部, 経済学部, 工学部, 環境科学部, 水産学部 【平成31年2月12日(火)】 教育学部, 医学部, 歯学部, 薬学部 【平成31年3月8日(金)】

注) 日本の高等学校等を卒業した者は, この選抜には該当しない。

不明な点がある場合は, 長崎大学学生支援部入試課(095-819-2114)まで問い合わせること。

※1 工学部は志願者多数の場合, 選考が平成31年1月31日(木)にわたることがある。

※2 教育学部中学校教育コース技術専攻は平成31年2月25日(月)及び26日(火)の2日間実施する。

選抜方法等

外国人留学生入試の選抜は、日本留学試験、本学が実施する学力検査等の成績及び出願書類の審査の結果を総合して行う。
 なお、日本留学試験において各学部が指定する教科・科目等並びに本学の学力検査等については次表のとおりとする。

学部・学科等		日本留学試験において指定する教科・科目等			本学の学力検査等	
		出題教科・科目	出題言語の指定	成績の利用方法	実施教科等	摘 要
多文化社会学部		日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接 (日本語及び英語による面接)	英語の能力は、面接の中でみる。
		総合科目	日本語・英語のどちらでも良い			
		数学 コース1	日本語・英語のどちらでも良い			
教育学部	小学校教育コース (注1)	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接	面接は日本語で行う。
		総合科目	日本語			
		数学 コース1	日本語			
	国語専攻	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	国語	国語(国語総合・現代文・古典)
		総合科目	日本語			
		数学 コース1	日本語			
	社会専攻	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	国語面接	国語(国語総合・現代文・古典) 面接(社会科に関する口頭試問を含む。) 面接は日本語で行う。
		総合科目	日本語			
		数学 コース1	日本語			
	数学専攻	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	数学	数学[数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(注2)]
		理科「物理」 「化学」 「生物」から2	日本語			
		数学 コース2	日本語			
	理科専攻	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	理科	理科は、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」から出願時に1科目群を選択し届けること。
		理科「物理」 「化学」 「生物」から2	日本語			
		数学 コース2	日本語			
	音楽専攻	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	実技検査(音楽)	72ページの実技検査の内容を参照すること。
		総合科目	日本語			
		数学 コース1	日本語			
	美術専攻	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	実技検査(美術)	72ページの実技検査の内容を参照すること。
		総合科目	日本語			
		数学 コース1	日本語			
	保健体育専攻	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	実技検査(体育)	72ページの実技検査の内容を参照すること。
		総合科目	日本語			
		数学 コース1	日本語			
	技術専攻	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	数学 } から1 理科 } 外国語 面接	数学[数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B]、理科[「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎、地学」から1]の2教科から出願時に1教科を選択すること。 外国語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ) 面接(簡単なものづくりを含む。) 面接は日本語で行う。
		理科「物理」 「化学」 「生物」から2	日本語			
		数学 コース2	日本語			
家庭専攻	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接	面接(家庭科に関する口頭試問を含む。) 面接は日本語で行う。	
	理科「物理」 「化学」 「生物」から2	日本語				
	数学 コース2	日本語				
英語専攻	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	外国語	外国語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)(注3)	
	総合科目	日本語				
	数学 コース1	日本語				
幼稚園教育コース (注1)	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接	面接は日本語で行う。	
	総合科目	日本語				
	数学 コース1	日本語				
特別支援教育コース	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接	面接は日本語で行う。	
	総合科目	日本語				
	数学 コース1	日本語				

学部・学科等		日本留学試験において指定する教科・科目等			本学の学力検査等	
		出題教科・科目	出題言語の指定	成績の利用方法	実施教科等	摘要
経済学部		日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績(ただし、日本語の満点(記述を除く)の400点を200点に換算したうえで、3教科合計の満点の600点を100点に換算する。)	小論文 面接 (TOEFL iBT又はTOEIC L&Rのスコアを評価に含む。)	小論文は日本語又は英語で解答すること。面接は日本語で行う。
		総合科目	日本語			
		数学 コース1	日本語			
医学部 (医学科)		日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	数学, 理科, 外国語 面接	数学〔数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B(注2)〕, 理科(物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物から2), 外国語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)(注3) 理科は, 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から出願時に2科目群を選択し届け出ること。面接は日本語で行う。
		理科「化学」 「生物」	英語			
		数学 コース2	英語			
医学部 (保健学科)		日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	外国語 面接	外国語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)(注3) 面接は日本語で行う。
		理科「化学」 「生物」から1	英語			
歯学部		日本語	日本語のみ	平成29年6月, 11月又は平成30年6月実施分のいずれか1回分の成績	数学 理科 } から1 外国語 面接	数学〔数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B(注2)〕, 理科(物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物から1), の2教科から出願時に1教科を選択すること。(2教科の受験可)(注4) ただし, 理科を選択した場合は, 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から出願時に1科目群を選択し届け出ること。 外国語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ(注3)〕 面接は日本語で行う。
		理科「物理」 「化学」 「生物」から2	日本語・英語の どちらでも良い			
		数学 コース2	日本語・英語の どちらでも良い			
薬学部 (薬学科) (薬科学科)		日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	数学, 理科, 外国語 面接	数学〔数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B(注2)〕, 理科(物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物から1), 外国語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)(注3) 理科は, 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から出願時に1科目群を選択し届け出ること。面接は日本語で行う。
		理科「化学」 「物理」 「生物」から1	日本語・英語の どちらでも良い			
		数学 コース2	日本語・英語の どちらでも良い			
工学部		日本語	日本語のみ	平成29年6月, 11月又は平成30年6月実施分のいずれか1回分の成績	面接 (口述試験等を含む)	面接は日本語で行う。 英語能力は, 面接の中でみる。 社会環境デザイン工学コースにおいては, 面接の際の資料とするため, 面接前に基礎的な試問(筆記)を行う。
		理科「物理」 「化学」	日本語・英語の どちらでも良い			
		数学 コース2	日本語・英語の どちらでも良い			
環境科学部	文系受験	日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	小論文 面接	小論文は日本語で解答すること。面接は日本語で行う。 英語能力は, 面接の中でみる。 入学後は, 英語の講義を必修科目として受講する必要がある。
		総合科目	日本語			
	数学(コース1又はコース2)	日本語				
	理系受験	日本語	日本語のみ			
理科「物理」 「化学」 「生物」から2		日本語				
	数学(コース1又はコース2)	日本語				
水産学部		日本語	日本語のみ	平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接	面接は日本語で行う。 英語能力は, 面接の中でみる。
		理科「物理」 「化学」 「生物」から2	日本語			
		数学(コース1又はコース2)	日本語			

注1) 小学校教育コース及び幼稚園教育コースは出願登録の際, 入学時の所属専攻志望調査を行うが, この調査は入試の合否判定には何ら影響はない。入学時の所属専攻は, 本調査の本人の志望により決定する。ただし, 各専攻間に著しい偏りが生じる場合は, 入学試験の成績等を参考に決定する。なお, 小学校教育コース及び幼稚園教育コースの各専攻の説明については, 次の教育学部ホームページを参照すること。
(URL: <http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/>)

2) 表示の5科目「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B(数列, ベクトル)」の範囲から出題する。

3) 英語はリスニングテストを実施しない。

4) 数学及び理科の2教科から1教科選択。2教科を受験することもできる。2教科を受験している場合は高得点科目を採用する。

* 外国人留学生入試における実技検査の内容

教育学部学校教育教員養成課程・中学校教育コースの音楽専攻、美術専攻及び保健体育専攻の志願者についてはそれぞれ以下の実技検査を行う。

①音楽専攻：実技検査（音楽）

1. 楽典	
2. 声楽	課題曲（暗譜） ・イタリア歌曲、ドイツ歌曲、日本歌曲の中から任意の一曲
3. ピアノ	ソナタ程度以上の任意の一曲（暗譜、繰り返しなし）

注1) 声楽の伴奏楽譜には必ず氏名を記入し、出願書類とともに提出すること。

2) 2月24日（日）の10:00~17:00までの間、教育学部音楽棟1階「学生ピアノ練習室（10室程度）」のピアノを開放するので、空いている部屋を適宜使用してもよい。なお、使用にあたっては、予約・申込等の手続は不要である。

②美術専攻：実技検査（美術）

内 容	課 題 (幾何形立体・石こう製等)	受験生が持参するもの
鉛筆デッサン	静物	鉛筆デッサンに必要な道具一式 (鉛筆, 消し具など)

注1) 紙, カルトン, クリップ, イーゼルー式は大学で準備する。

③保健体育専攻：実技検査（体育）

「陸上競技」, 「器械運動」, 「球技」の3領域にわたり検査を行う。

領 域 及 び 運 動		受 験 方 法
陸 上 競 技		全員が受験すること。
器 械 運 動		全員が受験すること。
球 技	①バレーボール ②バスケットボール ③サッカー	①~③の3種目から, 2種目選択し, 受験すること。

注1) 運動のできる服装を用意すること。

2) 専門の用具を使用してもよい。

3) 運動靴は, 屋内用と屋外用を用意すること。

5. 個別の入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により本学の入学者選抜試験に出願を希望する者については、事前に本学の入学資格審査を受け、認定された場合に限り出願を認めるものとします。

(1) 入学資格審査の対象者

- ① 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- ② 中学校卒業で、各種の学校等での学習歴、社会での実務経験等に基づいて高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(2) 申請期日及び申請先等

長崎大学の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者は、選抜試験別にそれぞれ次の期日までに申請してください。

- ① A O 入試・・・平成30年 7月19日(木)
- ② 社会人入試・・・平成30年 9月18日(火) ※3月期は、平成31年1月15日(火)
- ③ 一般入試・・・平成30年11月26日(月)

ただし、大学入試センター試験の出願に必要な場合は、①の期日までに申請してください。

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「長崎大学入学資格認定申請書」と朱書きしてください。(持参でも可)

なお、不明な点がありましたら、下記にお問い合わせ願います。

※申請先：〒852-8521 長崎市文教町1-14

長崎大学学生支援部入試課 (TEL 095-819-2111)

(3) 申請書類

- ① 前記(1)①に該当する者
 - ア. 入学資格認定申請書(様式第1)
 - イ. 学習等の履歴書(様式第2)
 - ウ. 当該学校の教育が12年の課程であることを証明できるもの
 - エ. 当該学校の教育内容等を証明できるもの
 - オ. 卒業証明書又は卒業見込証明書(生年月日を記載したもの)
 - カ. 返信用封筒(長形3号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、392円分の郵便切手を貼ったもの)
- ② 前記(1)②に該当する者
 - ア. 入学資格認定申請書(様式第1)
 - イ. 学習等の履歴書(様式第2)
 - ウ. 各種の学校等での学習歴を証明できるもの
 - エ. 社会経験等の履歴(様式第3)
 - オ. 今までに取得した資格等を証明できるもの
 - カ. 18歳に達した者であることを証明できるもの(健康保険証、運転免許証、パスポート等の写し)
 - キ. 返信用封筒(長形3号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、392円分の郵便切手を貼ったもの)

申請書類のうち、本学所定の様式(様式第1～第3)については、長崎大学ホームページからダウンロードするか、郵送により請求してください。

また、他大学において個別の入学資格審査による認定を受けた者は、その認定を受け

たことを証明する書類の写しを添付してください。

※申請書類（本学所定の様式（様式第1～第3））の入手方法

（ホームページによる方法）

次の長崎大学ホームページからダウンロードしてください。

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/31shinsa.pdf>

（郵送による方法）

前記（2）の申請先へ返信用封筒（定形）に宛先を明記し、返信用の切手（92円分）を貼り、封筒の表に入学資格認定申請書請求と朱書きで明記して請求してください。

（4）入学資格審査基準

入学資格審査は、提出された申請書類によって行います。

① 前記（1）①の申請者

申請者の当該学校の教育内容等が、高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査します。

当該学校の年間及び週当たりの授業時数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数が「高等学校学習指導要領に定める標準授業時数、すべての生徒に履修させる各教科・科目及び卒業までに修得させる単位数」と同等以上であること。

② 前記（1）②の申請者

申請者の学習歴、社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。

（5）審査機関

入学資格審査は、長崎大学入学者選抜委員会で行います。

（6）入学資格審査結果の通知

入学資格審査の結果は、それぞれ次の期日までに申請者宛に発送します。

① A O 入試・・・平成30年 8月24日（金）

② 社会人入試・・・平成30年10月 5日（金）※3月期は、平成31年2月1日（金）

③ 一般入試・・・平成31年 1月18日（金）

なお、大学入試センター試験の出願に必要な場合は、①の期日までに発送します。

入学資格が認められた者には、「長崎大学入学資格認定書」を交付します。

また、入学資格が認められなかった者には、理由を付して審査結果を通知します。

（7）長崎大学入学者選抜試験への出願

「長崎大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学者選抜試験に出願することができます。出願する際は、必ず「長崎大学入学資格認定書(写)」を添付してください。

なお、交付された本学の入学資格認定書は次年度以降も有効です。

（8）その他

入学資格が認められた後であっても、申請書類の内容に事実と異なる点があった場合には、入学資格を取り消します。

6. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、原則として出願期間開始2週間前迄に下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え、本学学生支援部入試課に相談してください。上記期限経過後でも可能な限り事前相談に応じますが、十分な対応が出来なくなることもあります。

入学者選抜において、事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはありません。

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行うこともあります。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともあります。

*** 申請書の内容**（志願者の住所・氏名・連絡先電話番号・FAX番号を明記してください。）

- | | |
|--------------------|------------------|
| ア. 志願学部・学科（コース・専攻） | イ. 障がいの種類・程度 |
| ウ. 受験上の配慮を希望する事項 | エ. 修学上の配慮を希望する事項 |
| オ. 出身学校等でとられていた配慮 | カ. 日常生活の状況 |

☆ 本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

7. 学生寮への入居（多文化社会学部へ入学する者）

多文化社会学部に入学する学生は、原則、入学時から1年間、大学キャンパス外でも多文化状況に触れることを目的とした学生寮「国際学寮ホルテンシア」に全員入居し、外国人留学生とのルームシェアによる共同生活を行います。

学生寮の概要は、次のとおりです。

なお、防犯対策として、各ユニットの玄関にカードキー対応ドアを、各個室に暗証番号対応ドアを装備しています。

寮名称	国際学寮ホルテンシア
所在地	A棟：長崎市白鳥町8-77 B棟：長崎市白鳥町8-78 (大学まで徒歩12分程度)
収容人数	135人（A棟72人・B棟63人） 1ユニット4人（外国人留学生1人を含む。）のルームシェア形式 (ただし、1ユニットのみ車椅子対応の3人のルームシェア)
入居費用	月額： <u>22,000円</u> （ただし、水道光熱費は別途自己負担） ※ 退去時のクリーニング費用として10,000円（入居時に徴収） ※ 上記のほか、借家人賠償責任保険等の加入が必要（入居時のみ）
共用施設	集会室、駐輪場、中庭、ゴミ置き場
個室部分の設備 (洋室4.5帖)	机、椅子、電気スタンド、エアコン、ベッド（収納庫（ベッド下）及びマットレス付き）、光回線インターネット、TV端子、照明、暗証番号対応ドア
ユニット内の設備 (DK8.2帖)	シャワーブース、トイレ、洗面台、システムキッチン、ダイニングセット（テーブル、椅子）、冷蔵庫、食器棚、電子オーブンレンジ、洗濯乾燥機、衣類乾燥機、掃除機、炊飯器、エアコン、カードキー対応玄関ドア等
食事	食事の提供なし（各ユニットのキッチンで自炊可能）

注) 入学者の状況によっては、外国人留学生とのルームシェアとならない場合がある。

詳しくは、長崎大学多文化社会学部ホームページをご覧ください。

<http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/>



問い合わせ先：長崎大学学生支援センター（学生支援課生活支援班） ☎ 095-819-2103

8. 募集要項の発表時期及び入手方法等

(1) 募集要項の発表時期

募集人員，出願期日，個別学力検査等の実施日程，その他必要な事項を記載した学生募集要項は，次のとおり発表する予定です。

- A O入試学生募集要項 7月上旬
- 推薦入試，帰国子女入試，社会人入試，外国人留学生入試学生募集要項 9月上旬
- 一般入試学生募集要項 11月下旬

(2) 募集要項の入手方法等

平成30年度入試からのインターネット出願の導入により，募集要項は冊子体での配布を廃止しています。

募集要項は**本学ホームページ** (<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/contact/index.html>) (右のQRコードからアクセス可能) から**電子ファイル (PDF形式) をダウンロードして入手・参照**してください。(印刷した冊子はありません。)




(3) 大学案内，入学者選抜要項(大綱)の請求方法(参考) ※入学者選抜要項は願書ではありません。

① 長崎大学入試課窓口で受け取る方法

長崎大学入試課窓口(長崎市文教町1-14:長崎大学正門を入ってすぐ右手の建物の1階)において無料で配布しております。(平日 8:45~17:30, 土・日・祝日を除く。)

② 長崎大学ホームページから請求する方法

長崎大学ホームページから  テレメールまたは大学情報センター「モバっちよ」を利用して大学案内及び入学者選抜要項を請求できます。

詳しくは，長崎大学ホームページ(入試情報サイト)をご覧ください。

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/contact/index.html>

③ テレメールで請求する方法

インターネット(パソコン・スマホ・ケータイ)または自動音声応答電話で資料を請求することができます。

i 下のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマホ・ケータイ)	http://telemail.jp	右のQRコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。 
自動音声応答電話	 050-8601-0101 (24時間受付) ※IP電話への通話料金は，一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約12円。 ※住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。	

ii 資料請求番号(6桁)をプッシュ又は入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)
「大学案内(パンフレット)」	567640	215円
「入学者選抜要項(大綱)」	587640	215円

iii あとはガイダンスに従って登録してください。

注1) テレメールのパスワードをお持ちの方はお届け先の登録は不要です。

2) 資料は請求してから1~2日後に資料が届きます。ただし，受付時間や地域，配達事情によっては，3日以上かかる場合もあります。4日以上経っても届かない場合には，テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。なお，発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

3) 料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上，資料到着後二週間以内に表示料金をお支払いください。なお，支払い手数料が別途必要です。(コンビニ払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円，窓口扱いは130円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円。)また，複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

※ テレメールでの請求方法についてのお問合せは
 テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102 (9:30~18:00)

④ 大学情報センター「モバっちょ」で請求する場合

パソコン、スマートフォン、携帯電話のいずれかで下記にアクセスし、画面の案内に従って請求してください。お急ぎの方は宅配便のご利用もできます。

<http://djc-mb.jp/nagasaki-u2/>



※ 料金は、大学案内：250円、大学案内＋入学者選抜要項：350円です。

※ お支払い方法は、i 携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払い（支払手数料は別途50円必要）、ii コンビニ後払い（支払手数料は別途126円必要）の2種類から選択できます。

※ 携帯電話・スマートフォンから請求した場合、お使いの機種や携帯電話会社との契約状況によっては通話料金と一緒に支払いできない場合があります。その場合はコンビニ後払いを選択してください。

※ 上記④の請求方法についてのお問合せは
 大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター
 TEL 050-3540-5005（平日 10:00～18:00）

⑤ 郵送により請求する方法

郵送による場合は、郵便番号、住所、氏名を明記した返信用封筒（角形2号封筒）に送料分の切手〔大学案内：400円分、入学者選抜要項：400円分、大学案内＋入学者選抜要項：600円分〕を貼付したものを同封し、下記の請求先へ請求してください。

なお、請求する封筒の表に資料の名称（例：「大学案内請求」）を朱書きしてください。

⑥ 宅配便（送料着払い）により請求する方法

下記連絡先へ電話連絡の上、希望資料名・部数・送付先・送付先電話番号をFAXでお知らせください。

料金は、送付部数や送付先で異なりますが、おおよそ1,000円程度となります。

※ 上記⑤、⑥の請求先及び連絡先は
 〒852-8521 長崎市文教町1番14号 長崎大学学生支援部入試課
 TEL. 095-819-2111 FAX. 095-819-2112

9. 入試情報の提供

(1) 個人成績

本学では、平成30年度入試からインターネット出願を導入しており、個人成績（一般入試・推薦入試・社会人入試・帰国子女入試・外国人留学生入試）の提供については、出願時の希望の有無により提供いたします。郵送や出願期間後の請求は受け付けませんのでご注意願います。

ただし、AO入試に係る個人成績は提供できません。

○請求者：受験者本人に限ります。

○請求方法：インターネット出願時の個人情報登録画面の「入試成績の開示請求」欄で「希望する」を選択し、「入試成績の開示請求通知書の送付先」を入力してください。登録された送付先へ個人成績を平成31（2019）年6月以降、郵送にて送付します。

○手数料：400円

○提供内容：①大学入試センター試験の教科ごとの得点
（本学が判定に使用した教科の配点換算後の点数）
②本学が実施する学力・実技等検査の得点
③①+②の総得点及び順位

(2) 正解・解答例等

正解・解答例又は出題の意図（一般入試）については、当該日程の全試験終了後、本学が指定した日時に提供します。

(3) 採点・評価基準

採点・評価基準については、本要項の〔一般入試 P79～P81，推薦入試 P82～P84，社会人入試 P84，外国人留学生入試 P85～P86〕に記載しています。

(4) 合否判定基準

合否判定基準については、本要項の〔一般入試 P87～P88，推薦入試 P89～P90，社会人入試 P90，外国人留学生入試 P91〕に記載しています。

採点・評価基準〔一般入試〕

〔前期日程〕

学部名・教科名			採点・評価基準		
共通問題	数 学		数学の基礎を理解し、応用する力を測る意図で出題している。正しい推論のもとに結論に至っているかどうかを判定するため、推論の過程と結論をそれぞれ評価する。したがって、解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。結論が正しくても、途中の推論及び計算式が十分でない場合は減点される。		
	理 科	物 理	物理現象に関する思考力・考察力・表現力などを総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。		
		化 学	基礎的な学習の到達度とともに、科学的な思考力及び応用力を総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。		
		生 物	生物学についての思考力及び応用力を総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。		
		地 学	自然科学についての思考力、独創性、発想力、表現力などを総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。		
	外 国 語		読解力、表現力など総合的な能力をみることを主眼とする。		
多文化社会学部	批判的・論理的思考力テスト (総合問題)		批判的思考力と思考内容を論理的に表現することができる力及び世界の多文化状況に関する関心と理解を評価する。		
	面接 (オランダ特別コースのみ)		複数の面接員による個人面接を行う。 日本語及び英語により実施し、意欲・積極性、思考力及び語学力(英語)を評価する。		
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	国 語	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力をみる。	
		中学校教育コース	国語専攻	国 語	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力をみる。
			社会専攻	国 語	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力をみる。
			音楽専攻	実技検査 (音楽)	楽典に関する知識とその応用力を評価する。 声楽と器楽の基礎的な技能と表現力が備わっているかを評価する。
				面 接	音楽教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		美術専攻	実技検査 (美術)	鉛筆デッサンの基礎的な表現力をみる。	

学部名・教科名			採点・評価基準	
教育学部	学校教育教員養成課程	保健体育専攻	実技検査(体育)	出題する領域のスポーツや運動に関する基礎的及び応用的な実践能力と技能をみる。
		技術専攻	面接	中学校技術・家庭(技術分野)のものづくりについての理解力や構想・表現力を評価する。 また、技術の教員を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		家庭専攻	小論文	課題に対する理解力、考察力、論理的思考力、記述力等を評価する。
		幼稚園教育コース こども保育専攻	国語	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力をみる。
		特別支援教育コース	国語	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力をみる。
医学部	医学科	面接		面接は個人面接。 志願調書を参考に、以下の項目を評価する。 ①応用力(問題解決力) ②意欲(積極性) ③協調性 ④総合能力
	保健学科	面接		面接では、志望動機、コミュニケーション能力等から医療技術者としての適性を判断する。 評価は点数化する。
歯学部	歯学科	面接		面接は個人面接を行い、アドミッション・ポリシーに基づき、志願調書を参考に、志望動機、意欲、目的意識、コミュニケーション能力、協調性等を総合的に判断する。点数化せず、段階評価する。

〔後期日程〕

学部名・教科名			採点・評価基準	
多文化社会学部	小論文		課題に対する理解、批判的思考力と思考内容を論理的に表現することができる力及び世界の多文化状況に関する関心と理解を評価する。	
	面接		複数の面接員による個人面接を行う。 日本語及び英語により実施し、意欲・積極性及び語学力(英語)を評価する。 調査書は、面接の評価の中で考慮する。	
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	小論文	課題に対する理解力、考察力、論理的思考力、記述力等を評価する。
	特別支援教育コース	小論文	小論文	課題に対する理解力、考察力、論理的思考力、記述力等を評価する。

学部名・教科名		採 点 ・ 評 価 基 準
経済学部	小 論 文	基礎的知識，読解力，分析力，構想力，独創性，論理性，表現力等を評価する。
医学部	保健学科 小 論 文 ・ 面 接	小論文では，一部英語の読解力を含み，論理的思考力，基礎的学力，論文構成力等をみる。 面接では，個人面接を実施し，志望動機，勉学意欲，コミュニケーション能力，社会的関心等から医療技術者としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。
歯学部	総合問題・面接	総合問題は，理解力，判断力，論理的思考力，表現力等をみる。日本語，英語による教科横断の問題で，成績を点数評価する。 面接は，個人面接を行い，アドミッション・ポリシーに基づき，志願調書を参考に，志望動機，意欲，目的意識，コミュニケーション能力，協調性等を総合的に判断する。点数化せず，段階評価する。
薬学部	薬学科 総合問題・面接	総合問題は，高等学校の学習一般を前提とし，筆記を主体とした試験であり，考察力，論理的思考力，理解力，記述力，表現力等を総合的に問う。 面接は個人面接を行い，アドミッション・ポリシーに基づき，志望動機，意欲，将来展望，積極性，コミュニケーション能力，協調性等から薬剤師としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。
	薬科学科 総 合 問 題	高等学校の学習一般を前提とし，筆記を主体とした試験であり，考察力，論理的思考力，理解力，記述力，表現力等を総合的に問う。
工学部	総 合 問 題	高等学校の学習一般（数学，物理，化学）を前提とした筆記試験であり，数学（基本的な計算問題を主とする）2問，物理2問，化学2問の計6問からその場で任意の4問を選択する方式とし，成績を点数評価する。 ・ 出題範囲 数学：数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ。 物理：「物理基礎」及び「物理」の全てを出題範囲とする。 化学：「化学基礎」及び「化学」の全てを出題範囲とする。 ・ 成績評価 本学工学部で学ぶ資質や適性を基礎学力で問う。
環境科学部	面 接	面接では，環境への関心度，意欲・積極性，思考力等から判断し評価する。評価は点数化する。
水産学部	面 接	面接は，志望動機，学部への関心，将来展望，高校生活等についての質疑応答から，入学への関心度，学力素養について総合的に評価する。各面接員の評価を平均して点数化する。 調査書は，面接の評価の中で考慮する。

採点・評価基準〔推薦入試〕

学部名・教科名			採点・評価基準	
教 育 部 ・ 中 学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	小 学 校 教 育 コ ー ス	推薦入試A	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，地域とともにすすめる初等教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		推薦入試B	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，離島における教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
	中 学 校 教 育 コ ー ス	国語専攻	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，国語科の中等教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		社会専攻	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，社会科教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，あわせて地理・歴史科，公民科の基礎知識を口頭試問し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		数学専攻	面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，数学科教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，あわせて数学の教科に関する知識，理解力，数理的思考能力等を口頭試問し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		理科専攻	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，理科の中等教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，あわせて理科の教科に関する知識と能力を口頭試問（観察，実験に関する簡単な操作を含む。）し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		音楽専攻	実技検査（音楽）	楽典に関する知識とその応用力を評価する。 声楽と器楽の基礎的な技能と表現力が備わっているかを評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，音楽教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		美術専攻	実技検査（美術）	鉛筆デッサンの基礎的な表現力をみる。
	面接		調査書，志望理由書，推薦書，持参作品等の出願書類を参考に，美術教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。	
	保健体育専攻	面接(集団)	テーマを課した集団面接により，保健体育，スポーツ競技に対する熱意，意欲等を評価し，教師となる意志，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。	
技術専攻	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。		
	面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，技術教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，あわせて科学技術に関する知識を口頭試問し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。		

学部名・教科名			採点・評価基準	
教育学部・学校教育教員養成課程	中学校教育コース	家庭専攻	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，家庭科教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，あわせて家庭の教科に関する知識を口頭試問し，教育者をめざすにあたっての諸能力を総合的に判断する。
	英語専攻	家庭専攻	面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，英語科教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，あわせて英語による簡単な問答と基本的な英文読解力についての口頭試問を行い，教育者をめざすにあたっての諸能力を総合的に判断する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，英語科教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，あわせて英語による簡単な問答と基本的な英文読解力についての口頭試問を行い，教育者をめざすにあたっての諸能力を総合的に判断する。
	幼稚園教育コース		小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，幼児教育に関する問題意識，コミュニケーション能力，表現活動に対する体験や関心等から，教育者をめざすにあたっての適性を総合的に判断する。
	特別支援教育コース		小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，地域とともにすすめる特別支援教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者をめざすにあたっての諸能力を総合的に判断する。
経済学部				<p>(1) 小論文（英語の問題を含む。） 英語を含む基礎的知識，読解力，分析力，構想力，独創性，論理性，表現力等を評価する。</p> <p>(2) 面接 調査書，推薦書等の出願書類を参考に意欲，目的意識，表現力等を評価する。</p>
医学部	医学科			<p>(1) 調査書・推薦書・志望理由書 調査書の学業成績及び他の特記事項，推薦書並びに志望理由書を点数化する。</p> <p>(2) 面接 面接は個人面接。 推薦書・志望理由書を参考に，以下の項目を評価する。 ①応用力（問題解決力） ②意欲（積極性） ③協調性 ④総合能力</p>
	保健学科			<p>(1) 小論文（英語の問題を含む。） 英語を含む基礎的学力，論理的思考力，論文構成力等をみる。</p> <p>(2) 面接 志望動機，勉学意欲，将来展望，社会的関心等の他，提示された課題についてグループ討議を行い，医療技術者としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。</p>

学部名		採 点 ・ 評 価 基 準
薬学部	薬学科	(1) 調査書・推薦書・志望理由書 調査書の学業成績及び他の特記事項，推薦書並びに志望理由書を点数化する。 (2) 面接 面接は個人面接を行い，アドミッション・ポリシーに基づき，志望動機，意欲，将来展望，積極性，コミュニケーション能力，協調性等から薬剤師としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。
	薬科学科	(1) 調査書・推薦書・志望理由書 調査書の学業成績及び他の特記事項，推薦書並びに志望理由書を点数化する。 (2) 面接 面接は個人面接を行い，アドミッション・ポリシーに基づき，志望動機，意欲，将来展望，積極性，コミュニケーション能力，協調性等から研究者としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。
環境科学部	推薦入試Ⅱ①	面接では，環境への関心度，意欲・積極性，思考力等から判断し評価する。 評価（調査書を含む。）は点数化する。
	推薦入試Ⅱ②	面接では，環境への関心度，意欲・積極性，思考力等から判断し評価する。 評価（調査書を含む。）は点数化する。
水産学部	水産学科	志望動機，学部への関心，将来展望，高校生活等について質疑応答及び学力素養に関わる口頭による試問を行い，入学への関心度と学力素養について総合的に評価する。 調査書は，面接の評価の中で考慮する。

採点・評価基準〔社会人入試〕

学部名・教科名		採 点 ・ 評 価 基 準
経済学部	小論文	基礎的知識，読解力，分析力，構想力，独創性，論理性，表現力等を評価する。 配点 80 点。
	面接	調査書，志望理由書，推薦書，履歴書，就業証明書など出願書類を参考に意欲，目的意識，表現力等を評価する。配点 20 点。
医学部	小論文 (英語の問題を含む)	論理的思考力，基礎的学力，論文構成力等をみる。配点 100 点。
	面接	個人面接を実施し，社会人経験，志望動機，勉学意欲，将来展望等から医療技術者としての適性を総合的に判断する。配点 100 点。

採点・評価基準〔外国人留学生入試〕

学 部 名 ・ 教 科 名		採 点 ・ 評 価 基 準		
多文化社会学部		面 接	<p>複数の面接員による個人面接を行う。</p> <p>日本語及び英語により実施し、提出された書類（TOEFL等の成績、日本留学試験の成績通知書等）を参考に、日本語運用能力並びに志望動機、勉学意欲、思考力、英語能力等を総合的に判断する。</p>	
学 校 教 育 教 員 養 成 部	小 学 校 教 育 コ ー ス	面 接	志望理由、学習・研究意欲、基礎的知識を中心に評価する。	
		国語専攻	国 語	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力をみる。
	社 会 専 攻	国 語	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力をみる。	
		面 接	志望理由、学習・研究意欲、基礎的知識を中心に評価する。	
	数 学 専 攻	数 学	<p>数学の基礎を理解し、応用する力を測る意図で出題している。正しい推論のもとに結論に至っているかどうかを判定するため、推論の過程と結論をそれぞれ評価する。したがって、解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。結論が正しくても、途中の推論及び計算式が十分でない場合は減点される。</p>	
	中 学 校	理 科 専 攻	理 学	物理学についての思考力、考察力、発想力、表現力などを総合的に評価する。
			化 学	化学についての思考力、独創性、発想力、表現力などを総合的に評価する。
			生 物	生物学についての思考力、独創性、発想力、表現力などを総合的に評価する。
			地 学	地学についての思考力、独創性、発想力、表現力などを総合的に評価する。
	音 楽 専 攻	実技検査 (音楽)	<p>楽典に関する知識とその応用力を評価する。</p> <p>声楽と器楽の基礎的な技能と表現力が備わっているかを評価する。</p>	
	美 術 専 攻	実技検査 (美術)	鉛筆デッサンの基礎的な表現力をみる。	
	保 健 体 育 専 攻	実技検査 (体育)	出題する領域のスポーツや運動に関する基礎的及び応用的な実践能力と技能をみる。	
	高 等 学 校 課 程	数 学	数 学	<p>数学の基礎を理解し、応用する力を測る意図で出題している。正しい推論のもとに結論に至っているかどうかを判定するため、推論の過程と結論をそれぞれ評価する。したがって、解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。結論が正しくても、途中の推論及び計算式が十分でない場合は減点される。</p>
			理 学	物理学についての思考力、考察力、発想力、表現力などを総合的に評価する。
		技 術 専 攻	化 学	化学についての思考力、独創性、発想力、表現力などを総合的に評価する。
生 物			生物学についての思考力、独創性、発想力、表現力などを総合的に評価する。	
地 学			地学についての思考力、独創性、発想力、表現力などを総合的に評価する。	
外 国 語			読解力、表現力など総合的な能力をみることを主眼とする。	
面 接		<p>中学校技術・家庭（技術分野）のものづくりについての理解力や構想・表現力を評価する。</p> <p>また、技術の教員を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。</p>		

学部名・教科名			採点・評価基準
教育学部	学校教育教員養成課程	中学校教育コース 家庭専攻	面接 家庭科に関する基礎的知識と実践力，学習・研究意欲等を総合的に評価する。
		英語専攻	外国語 読解力，表現力など総合的な能力をみることを主眼とする。
		幼稚園教育コース	面接 志望理由，学習・研究意欲，基礎的知識を中心に評価する。
		特別支援教育コース	面接 志望理由，学習・研究意欲，基礎的知識を中心に評価する。
経済学部		小論文	基礎的知識，読解力，分析力，構想力，独創性，論理性，表現力等を評価する。
		面接	修了（見込）証明書，成績証明書，日本留学試験の成績通知書の写し，TOEFL iBT 又は TOEIC L&R のスコア等を参考にしながら，意欲，目的意識，表現力等を評価する。
医学部 （医学科）		面接	面接は，個人面接とし，評価は段階評価する。
医学部 （保健学科）		面接	面接は，個人面接で評価は点数化する。
歯学部		面接	面接は，個人面接とし，評価は段階評価する。
薬学部		面接	面接は，複数の面接員が行い，薬学に対する志望動機及び理由，論理性，意欲，科学的知識，適性等を総合的に5段階評価（5～1）して採点する。
工学部		面接	面接（複数の面接担当者による個人面接を行う。）では英語能力並びに志望動機，勉学意欲，基礎知識，社会性，修学状況等の評価項目に従い点数化する。
環境科学部		小論文	課題に対する理解力，考察力等並びに日本語による記述力，表現力等を評価し点数化する。
		面接	面接では，日本語の会話能力並びに意欲・積極性，環境への関心度，思考力，英語能力等から判断し評価する。点数化せず，段階評価する。
水産学部		面接	複数の面接員による個人面接を行う。提出された書類（日本留学試験の成績通知書等）を参考に，志望動機，学部への関心，将来展望等についての質疑応答及び学力素養に関わる口頭による試問を行い，入学への関心度と学力素養について総合的に評価する。

※ 医学部，歯学部，薬学部の教科に係る採点・評価基準は一般入試（前期日程）と同じである。

合 否 判 定 基 準 [一 般 入 試]

[前期日程]

学部名	合 否 判 定 基 準				
多文化社会学部	<p>(1) 大学入試センター試験の外国語の得点率が80%以上の者又は、次の①と②の両方を満たした者は第1段階選抜の合格者とする。 ①大学入試センター試験の外国語の得点率が75%以上 ②多文化社会学部が指定する大学入試センター試験の教科・科目のうち、外国語を除いた3教科3科目又は3教科4科目の得点を、多文化社会学部が定める前期日程の配点比率に換算した合計点100点満点中75点以上（75%以上の得点率）</p> <p>(2) (1)にかかわらず、大学入試センターが発表する大学入試センター試験（本試験）平均点（中間集計その2）における英語の平均点（筆記試験とリスニングテストの平均点の合計を200点満点に換算）が、115点を下回る場合は、(1)の得点率（英語に限る。）を見直すことがある。 なお、得点率の見直しの有無及び見直し後の得点率は、平成31年1月25日頃に長崎大学ホームページ（入試情報サイト）で発表する。</p> <p>(3) TOEFL iBT 61点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定（英検）準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能) 1140点以上、GTEC(3技能) 700点以上、GTEC for STUDENTS(L&R&W) 700点以上、GTEC for STUDENTS(L&R&W)+(S) 850点以上、GTEC CBT 1040点以上又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有する者で出願時に申請したものは、大学入試センター試験の外国語の得点を満点として取り扱う。よって第1段階選抜の合格者とする。</p> <p>(4) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で合格者を決定する。 (5) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。 (6) 批判的・論理的思考力テスト（総合問題）において、評価が著しく低い者は、大学入試センター試験等の成績にかかわらず不合格とすることがある。 (7) 面接において、評価が著しく低い者は、大学入試センター試験等の成績にかかわらず不合格とすることがある。（オランダ特別コースのみ）</p>				
教育学部	<p>(1) いずれのコース、専攻も、大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で合否を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。 (3) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点が50%未満の者は不合格とする。</p>				
経済学部	<p>(1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点により順位づけする。 (2) 配点Aで110位以内にある者をまず合格者とする。次に、配点Aの合格者を除いた受験者の中から配点Bでの高得点順に合格者を決定する。ただし、配点A及びBにおいて、合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>				
医 学 部	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">医 学 科</td> <td> <p>(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査の得点及び面接の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①面接の得点が上位の者 ②個別学力検査の得点が上位の者 ③個別学力検査の数学の得点が上位の者 ④個別学力検査の外国語の得点が上位の者</p> </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">保 健 学 科</td> <td> <p>(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査等の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験の成績及び個別学力検査等（外国語）の成績にかかわらず不合格とすることがある。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査の外国語の得点が上位の者 ②面接の得点が上位の者</p> </td> </tr> </table>	医 学 科	<p>(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査の得点及び面接の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①面接の得点が上位の者 ②個別学力検査の得点が上位の者 ③個別学力検査の数学の得点が上位の者 ④個別学力検査の外国語の得点が上位の者</p>	保 健 学 科	<p>(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査等の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験の成績及び個別学力検査等（外国語）の成績にかかわらず不合格とすることがある。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査の外国語の得点が上位の者 ②面接の得点が上位の者</p>
医 学 科	<p>(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査の得点及び面接の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①面接の得点が上位の者 ②個別学力検査の得点が上位の者 ③個別学力検査の数学の得点が上位の者 ④個別学力検査の外国語の得点が上位の者</p>				
保 健 学 科	<p>(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査等の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験の成績及び個別学力検査等（外国語）の成績にかかわらず不合格とすることがある。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査の外国語の得点が上位の者 ②面接の得点が上位の者</p>				
歯学部	<p>(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等（数学又は理科、外国語（必須）の2教科）の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①大学入試センター試験の数学の得点が上位の者 ②大学入試センター試験の外国語の得点が上位の者</p>				
薬学部	<p>(1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>				
工学部	<p>(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い順に合格者を決定する。（合格者のコース決定方法は、P17「②入学者選抜方法等 オ」の項を参照のこと。） (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①個別学力検査等の得点が上位の者 ②個別学力検査等の数学の得点が上位の者 ③大学入試センター試験の数学の得点が上位の者</p>				
環境科学部	<p>(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点で決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。特定科目の成績重視は、行っていない。</p>				
水産学部	<p>(1) 大学入試センター試験を資格試験的に利用する。 (2) 個別学力検査等の総得点で順位を決め、高得点順に合格者とする。（大学入試センター試験の得点は合否判定には利用しない。） (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>				

〔後期日程〕

学部名		合 否 判 定 基 準
多文化社会学部		<p>(1) 大学入試センター試験の外国語の得点率が85%以上の者又は、次の①と②の両方を満たした者は第1段階選抜の合格者とする。</p> <p>①大学入試センター試験の外国語の得点率が80%以上</p> <p>②多文化社会学部が指定する大学入試センター試験の教科・科目のうち、外国語を除いた2教科2科目の得点を、多文化社会学部が定める後期日程の配点比率に換算した合計点100点満点中80点以上(80%以上の得点率)</p> <p>(2) (1)にかかわらず、大学入試センターが発表する大学入試センター試験(本試験)平均点(中間集計その2)における英語の平均点(筆記試験とリスニングテストの平均点の合計を200点満点に換算)が、115点を下回る場合は、(1)の得点率(英語に限る。)を見直すことがある。</p> <p>なお、得点率の見直しの有無及び見直し後の得点率は、平成31年1月25日頃に長崎大学ホームページ(入試情報サイト)で発表する。</p> <p>(3) TOEFL iBT 61点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定(英検)準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能)1140点以上、GTEC(3技能)700点以上、GTEC for STUDENTS(L&R&W)700点以上、GTEC for STUDENTS(L&R&W)+(S)850点以上、GTEC CBT 1040点又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有する者で出願時に申請したものは、大学入試センター試験の外国語の得点を満点として取り扱う。よって第1段階選抜の合格者とする。</p> <p>(4) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で合格者を決定する。</p> <p>(5) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p> <p>(6) 小論文又は面接において、評価が著しく低い者は、大学入試センター試験等の成績にかかわらず不合格とすることがある。</p>
教育学部		<p>(1) いずれのコースも、大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で合否を決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p> <p>(3) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点が50%未満の者は不合格とする。</p>
経済学部		<p>(1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
医学部	保健学科	<p>(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査等(小論文及び面接)の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等(小論文)の成績にかかわらず不合格とすることがある。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。</p> <p>①小論文の成績が上位の者</p> <p>②面接の成績が上位の者</p>
歯学部		<p>(1) 大学入試センター試験及び総合問題の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び総合問題の成績にかかわらず不合格とすることがある。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。</p> <p>①大学入試センター試験の数学の得点が上位の者</p> <p>②大学入試センター試験の外国語の得点が上位の者</p>
薬学部	薬学科	<p>(1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
	薬科学科	<p>(1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
工学部		<p>(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点が50%以下の者は不合格とする。</p> <p>(2) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い順に合格者を決定する。(合格者のコース決定方法は、P17「②入学者選抜方法等オ」の項を参照のこと。)</p> <p>(3) 総得点が同点の場合は、次の順序で順位を決定する。</p> <p>①総合問題の得点が上位の者</p> <p>②大学入試センター試験の数学の得点が上位の者</p> <p>③大学入試センター試験の理科の得点が上位の者</p>
環境科学部		<p>(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等(面接)の得点との総得点で決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
水産学部		<p>(1) 大学入試センター試験及び面接の成績の総得点で順位を決め、高得点順に合格者とする。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>

合否判定基準〔推薦入試〕

学部名	合 否 判 定 基 準
教育学部	(1) 各コース・専攻が指定する検査の総合計の得点率が60%以上の者について総得点で合否を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
経済学部	(1) 小論文及び面接の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。ただし、小論文、面接のいずれかの点数が著しく低い者については個別に審査して合否を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
医学部	(1) 【推薦入試A／B】 ① 高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び面接の評価を総合して合格者を決定する。 ② 出願時に届け出た第1希望及び第2希望に基づき、第1希望を優先して、次のように合格者を決定する。 まず、第1希望について、①の総得点の高い順に合格者を決定する。第1希望の合格者で募集人員に満たない場合は、その不足した人員を第2希望の受験者を対象に①の総得点の高い順に合格者を決定する。 なお、推薦入試Bによる合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を推薦入試Aの募集人員に加えて選抜する。 ③ 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。 また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 【推薦入試C】 高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び面接の評価を総合して合格者を決定する。 ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。 また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 【推薦入試D】 高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績、日本語による面接及び英語による面接の評価を総合して合格者を決定する。 ① 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、あるいは大学入試センター試験外国語科目の得点率が、原則として85%に満たない場合は不合格とする。 ② 日本語及び英語による面接のいずれかの評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ① 面接（推薦入試Dにおいては、日本語による面接）の得点が上位の者 ② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の得点が上位の者 ③ 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点が上位の者
保健学科	(1) 提出された書類等を参考にしつつ、小論文及び面接の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。 ただし、小論文、面接のいずれかの得点が著しく低い者については、個別に審査して合否を決定する。 (2) 総得点が同点の場合は、小論文の成績を優先し、順位を決定する。

学部名		合 否 判 定 基 準
薬学部		<p>(1) 調査書、推薦書、志望理由書、大学入試センター試験と面接の総得点で決定する。 ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、不合格とする。 また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
環境科学部	推薦入試Ⅱ①	<p>(1) 大学入試センター試験の得点、調査書の評価及び面接の評価の合計点を高得点順に序列化し、合格者を決定する。</p> <p>(2) 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が原則として60%未満の者は不合格とする。</p> <p>(3) 面接の評価が50点以下の者は不合格とする。</p> <p>(4) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
	推薦入試Ⅱ②	<p>(1) 大学入試センター試験の得点、調査書の評価及び面接の評価の合計点を高得点順に序列化し、合格者を決定する。</p> <p>(2) 大学入試センター試験、調査書及び面接の総合計の得点率が原則として60%未満の者は不合格とする。</p> <p>(3) 大学入試センター試験の最高得点科目の得点率が原則として60%未満の者は不合格とする。</p> <p>(4) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
水産学部	水産学科	<p>(1) 各面接員による評価を点数化し、合計する。</p> <p>(2) 合計点を高得点順に並べ、高得点順に合格者とする。</p> <p>(3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>

合否判定基準〔社会人入試〕

学部名		合 否 判 定 基 準
経済学部		<p>(1) 小論文及び面接の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。ただし、小論文、面接のいずれかの点数が著しく低い者については個別に審査して合否を決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
医学部	保健学科	<p>(1) 提出された書類等を参考にしつつ、小論文及び面接の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。ただし、小論文、面接のいずれかの得点が著しく低い者、あるいは総得点が一定の基準に達していない者については個別に審査して合否を決定する。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、小論文の成績を優先し順位を決定する。</p>

合否判定基準〔外国人留学生入試〕

学部名	合 否 判 定 基 準
多文化社会学部	提出された書類（TOEFL等の成績、日本留学試験の成績通知書等）及び面接の得点を総合して、合格者を決定する。
教育学部	(1) 小学校教育コース、幼稚園教育コース及び特別支援教育コースは、面接の結果と、提出された資料（日本留学試験の成績通知書）を参考に、総合的に合格者を決定する。 (2) 中学校教育コースは、個別学力検査等と日本留学試験の総得点で合否を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
経済学部	(1) 日本留学試験(100点)、小論文(40点)及び面接(60点)の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。ただし、小論文、面接のいずれかの点数が著しく低い者については個別に審査して合否を決定する。 (2) 面接においてはTOEFL iBT又はTOEIC L&Rの成績も評価する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
医学部 (医学科)	日本留学試験、個別学力検査（数学・理科・外国語）の得点及び面接の評価を総合して、合格者を決定する。
医学部 (保健学科)	日本留学試験、個別学力検査（外国語）及び面接の得点を総合して、合格者を決定する。
歯学部	日本留学試験、個別学力検査（数学又は理科、外国語（必須）の2教科）の得点及び面接の評価を総合して、合格者を決定する。
薬学部	日本留学試験、個別学力検査（数学・理科・外国語）の得点及び面接の試験結果を総合的に評価して合格者を決定する。
工学部	(1) 日本留学試験（100点）及び面接（200点）の得点を合計し、総合計の得点率が70%以上の者を対象に、総得点の高い順に志望コースごとの合格者を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は、その同点者全員を合格とする。
環境科学部	(1) 日本留学試験及び小論文の総得点と面接で決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は、その同点者全員を合格とする。 (3) 小論文の配点は100点とし、得点が50点未満の者は不合格とする。 (4) 面接の評価が著しく低い場合には、総得点にかかわらず不合格とすることがある。
水産学部	面接員による評点を合計し、高得点順に並べる。合計点が満点の70%以上の者を対象にして、上位者から合格者とする。

10. 平成30年度長崎大学入学者選抜状況

学部	日 程・学 科 等	募集人員	志願者	受験者 A	合格者 B	競争率 A/B	辞退者	追加合格者	入学者	男女別		新卒既卒別		地域別				
										男	女	新卒	既卒	県内	県外	九州・海通		
多文化 社 会	前期日程	68	105	98	87	1.1	15	0	72	18	54	67	5	12	60	60		
			5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オランダ特別コース	7	6	6	5	1.2	1	0	4	1	3	3	1	0	4	1	1	
	小計	75	116	104	92	1.1	16	0	76	19	57	70	6	12	64	61	61	
	後期日程	10	77	13	12	1.1	0	0	11	6	5	9	2	0	11	10	10	
			2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般枠	8	13	13	9	1.4	0	0	9	1	8	9	0	2	7	8	8	
	グローバル・ 国際バカロレア枠	2	2	2	2	1.0	0	0	0	2	0	2	3	0	0	2	2	
	小計	4	3	3	3	1.0	0	0	3	0	3	3	0	0	0	3	0	
	A0 I	1	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
外国人留學生	15	18	18	14	1.3	0	0	14	1	13	14	0	2	12	10	10		
小計	4	4	4	2	2.0	0	0	2	2	0	2	0	0	2	0	0		
外国人留學生	7	5	5	2	2.5	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0		
合計	100	224	144	122	1.2	19	144	0	103	26	77	93	8	14	89	81		
教 育	小学校教育コース	55	82	76	60	1.3	4	0	56	18	38	44	12	37	19	54	4	
		5	5	5	5	1.0	0	0	5	5	5	5	3	5	2	4	4	
	国語専攻	5	8	8	5	1.6	0	0	8	0	8	8	2	0	0	0	0	
	社会専攻	7	13	13	7	1.9	0	0	6	6	6	7	1	0	5	1	5	
	理学専攻	7	16	16	8	2.0	0	0	7	7	7	7	0	5	2	7	7	
	経済専攻	4	14	13	5	2.6	0	0	5	5	5	5	0	0	4	1	1	
	芸術専攻	4	2	2	2	1.0	0	0	2	2	2	2	0	1	1	2	2	
	保健体育専攻	5	22	21	2	4.2	0	0	2	5	4	5	1	0	4	1	5	
	技術専攻	3	9	9	3	3.0	0	0	3	3	3	3	2	0	2	1	1	
	家庭専攻	3	10	10	3	3.3	0	0	3	3	3	3	3	0	3	0	3	
英語専攻	5	17	16	6	2.7	0	0	6	6	6	6	5	1	5	5	4		
小計	15	30	29	15	1.9	0	0	15	15	15	15	8	0	8	7	14		
幼稚園教育コース	7	16	15	8	1.9	0	0	8	8	8	7	8	0	5	3	6		
特別支援教育コース	125	244	233	132	1.8	7	0	125	44	81	109	16	0	78	47	111		
小計	15	114	37	18	2.1	1	0	17	5	12	10	7	0	8	9	16		
後期日程	3	14	4	1	4.0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1		
小学校教育コース	18	128	41	19	2.2	1	0	18	5	13	11	7	0	9	9	17		
特別支援教育コース	35	67	67	35	1.9	0	0	35	26	26	35	4	0	9	26	26		
小計	5	4	4	4	1.0	0	0	4	4	4	4	0	0	4	0	4		
推 薦 I	推薦A	3	6	6	3	2.0	0	0	3	1	2	3	0	2	1	3	3	
	推薦B	3	8	8	3	2.7	0	0	3	3	3	3	0	3	0	3	3	
	国語専攻	2	14	14	2	7.0	0	0	2	2	2	2	0	2	0	2	2	
	社会専攻	3	9	9	4	2.3	0	0	4	2	2	4	0	2	2	4	4	
	理学専攻	1	4	4	1	4.0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	1	
	芸術専攻	2	11	11	2	2.0	0	0	2	2	2	2	0	0	2	1	2	
	保健体育専攻	2	5	5	2	2.5	0	0	2	1	1	2	0	0	2	0	2	
	技術専攻	2	4	4	2	2.0	0	0	2	2	2	2	0	0	2	0	2	
	家庭専攻	3	11	11	4	2.8	0	0	4	1	3	4	0	0	2	2	4	
	英語専攻	5	18	18	5	3.6	0	0	5	5	5	5	0	0	5	5	5	
小計	4	4	4	3	1.3	0	0	3	0	3	3	0	0	1	2	3		
後期日程	71	167	167	71	2.4	0	0	71	21	50	71	0	0	29	42	62		
小学校教育コース	15	61	61	15	4.1	0	0	15	5	14	15	0	0	8	7	14		
幼稚園教育コース	10	20	20	10	2.0	0	0	10	10	10	10	0	0	5	5	9		
特別支援教育コース	1	3	3	1	3.0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1	1		
小計	26	84	84	26	3.2	0	0	26	5	21	26	0	0	13	13	24		
外国人留學生	240	624	526	249	2.1	8	0	241	75	166	217	23	0	129	112	214		
合計	190	377	374	214	1.7	14	0	200	136	64	176	24	0	73	127	183		
前期日程	40	312	142	49	2.9	0	0	38	19	22	18	10	0	10	28	34		
後期日程	20	20	20	19	1.1	0	0	19	4	4	19	0	0	6	13	16		
推薦 I	40	64	63	51	1.2	10	0	41	17	24	36	3	2	14	27	32		
社会人	20	28	28	21	1.3	2	0	19	17	17	24	0	0	5	14	15		
小計	60	92	91	72	1.3	12	0	60	34	26	53	5	2	19	41	47		
A0 I	5	29	29	5	5.8	0	0	5	3	3	2	2	0	0	5	5		
グローバル枠	10	7	7	6	1.2	0	0	6	4	2	6	0	0	4	2	6		
小計	15	36	36	11	3.3	0	0	11	7	4	11	0	0	4	7	11		
外国人留學生	12	9	9	9	1.0	2	0	7	5	2	0	0	0	7	0	7		
合計	325	849	672	374	1.8	39	0	335	208	127	287	39	9	112	223	296		
経 済	推薦 I	11	11	11	11	1.0	0	0	11	11	11	11	0	0	0	0	0	
	11月期	3	3	3	3	1.0	0	0	3	3	3	3	0	0	0	0	0	
	3月期	8	8	8	8	1.0	0	0	8	8	8	8	0	0	0	0	0	
	小計	11	11	11	11	1.0	0	0	11	11	11	11	0	0	0	0	0	
	実習力枠	10	10	10	10	1.0	0	0	10	10	10	10	0	0	0	0	0	
	グローバル枠	1	1	1	1	1.0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	
	小計	15	15	15	15	1.0	0	0	15	15	15	15	0	0	0	0	0	
	A0 I	10	10	10	10	1.0	0	0	10	10	10	10	0	0	0	0	0	
	外国人留學生	12	12	12	12	1.0	0	0	12	12	12	12	0	0	0	0	0	
	合計	325	849	672	374	1.8	39	0	335	208	127	287	39	9	112	223	296	

学部	日・学科等	募集人員	志願者	受験者 A	合格者 B	競争率 A/B	辞退者	追加合格者	入学者		新卒既卒別		地域別			
									男	女	新卒	既卒	県内	県外	九州・沖縄	
医学	医学科	76	380	349	86	4.1	2	2	86	21	18	68	15	71	57	
	前期日程		138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保健学科	48	104	100	52	1.9	7	5	50	3	43	7	28	22	45	
	理学療法専攻	10	35	32	11	2.9	0	0	11	1	4	1	10	8	5	
	作業療法専攻	10	27	27	12	2.2	2	0	10	9	8	2	2	10	8	
	小計	144	664	506	161	3.2	11	7	157	76	81	77	46	111	116	
	後期日程		10	48	14	3.4	4	0	10	0	10	6	4	6	10	
	保健学科	5	30	11	6	1.8	2	2	5	2	3	2	4	4	4	
	理学療法専攻	5	41	18	7	2.6	0	0	7	3	6	1	0	7	4	
	作業療法専攻	20	187	77	27	2.9	6	1	22	15	15	7	0	17	18	
	小計	15	33	31	17	1.8	0	0	17	9	8	4	16	1	17	
	医学科	15	22	19	3	6.3	0	0	3	2	1	3	0	3	0	
	推薦A	2	4	3	2	1.5	0	0	2	2	0	2	0	2	2	
推薦B	2	6	6	2	3.0	0	0	2	2	0	2	0	2	2		
推薦C(佐賀県校)	10	41	32	10	3.2	0	0	10	4	6	7	4	6	9		
推薦D	8	32	32	8	4.0	0	0	8	8	7	8	0	3	5		
一般推薦枠	2	14	14	2	7.0	0	0	2	1	1	2	0	0	2		
推薦枠	2	16	16	2	8.0	0	0	2	2	0	2	0	0	2		
推薦枠	2	2	2	2	1.0	0	0	2	1	1	2	0	0	2		
推薦枠	58	170	155	48	3.2	0	0	48	20	28	14	27	21	45		
看護学専攻	2	2	2	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
理学療法専攻	1	1	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
作業療法専攻	1	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	4	3	3	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
外国人留学生	若干	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	226	1,044	743	236	3.1	17	8	227	101	126	98	78	149	179		
前期日程		33	172	60	33	1.8	1	1	33	20	10	22	9	24		
後期日程		17	85	80	7	11.4	0	0	17	5	2	9	1	6		
A0 II		10	34	34	10	3.4	0	0	10	3	3	7	0	7		
外国人留学生	若干	3	1	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	50	304	175	50	3.5	1	1	50	25	25	14	13	37	31		
前期日程		30	108	100	34	2.9	1	1	33	12	18	14	7	26		
後期日程		21	65	64	34	1.9	0	29	17	12	17	12	14	15		
小計	51	173	164	68	2.4	1	5	62	29	33	35	26	21	41		
薬学科	10	244	113	13	8.7	0	0	11	4	7	9	1	0	11		
薬科学科	15	91	35	24	1.5	10	0	14	9	4	10	4	1	13		
小計	25	335	148	37	4.0	12	0	25	13	12	19	5	1	24		
A0 II		4	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0		
外国人留学生	若干	1	1	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	80	509	313	105	3.0	18	0	87	42	45	40	22	65	61		
前期日程		263	495	471	306	1.5	23	0	283	247	229	53	105	178		
後期日程		5	6	6	4	1.5	0	0	58	51	39	19	16	42		
小計	5	9	9	0	0.0	0	0	0	4	1	2	0	2	4		
A		5	19	9	3	6.3	0	0	0	0	0	0	0	0		
電気電子工学コース	10	31	31	10	3.1	0	0	10	5	5	10	3	1	10		
情報工学コース	4	16	6	4	1.5	0	0	4	3	3	4	0	3	4		
社会工学コース	6	11	11	7	1.6	0	0	7	7	0	7	0	4	7		
化学・物質工学コース	5	10	10	5	2.0	0	0	5	4	4	5	0	4	5		
機械工学コース	3	12	12	4	3.0	0	0	4	4	0	4	0	1	3		
電気電子工学コース	2	6	6	3	2.0	0	0	3	3	3	3	0	2	3		
社会工学コース	2	3	3	1	3.0	0	0	1	1	0	1	0	0	1		
化学・物質工学コース	5	11	11	2	5.5	0	0	2	2	2	2	0	2	2		
機械工学コース	2	2	2	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
電気電子工学コース	4	20	20	1	20.0	0	0	1	1	1	1	0	1	1		
情報工学コース	5	10	11	1	10.0	0	0	1	1	1	1	0	1	1		
社会工学コース	2	11	11	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
化学・物質工学コース	3	5	5	1	5.0	0	0	1	0	1	1	0	1	0		
小計	67	177	17	48	3.7	0	0	48	39	9	46	2	24	24		
外国人留学生	若干	2	2	2	1	2.0	0	0	1	0	0	0	0	1		
合計	380	1,110	835	447	1.9	45	0	402	347	55	314	14	145	257		

入学
状況
選抜

学部	日程・学科等	募集人員	志願者	受験者 A	合格者 B	競争率 A/B	辞退者	追加合格者	入学者	男女別		新卒既卒別		地域別				
										男	女	新卒	既卒	その他	県内	県外	九州・沖縄	
理 療 科 学	前期日程	40	82	75	49	1.5	4	0	45	21	24	40	5	0	19	26	38	
	選抜方法A(文系受験)																	
	選抜方法B(理系受験)																	
	小計	40	142	134	98	2.7	3	0	46	30	16	34	12	0	15	31	38	
	後期日程	80	224	209	209	2.1	7	0	91	51	40	74	17	0	34	57	76	9
	選抜方法A(文系受験)																	
	選抜方法B(理系受験)																	
	小計	13	99	93	13	2.2	2	0	13	7	6	11	2	0	3	10	11	1
	推薦(選抜方法A(文系受験))	13	127	121	13	3.2	0	0	0	12	8	5	12	1	0	2	10	1
	小計	28	226	215	28	2.7	2	0	26	15	11	23	3	0	6	20	20	2
推薦(選抜方法A(文系受験))	6	20	17	6	2.8	0	0	0	6	4	6	0	0	0	3	3	5	
推薦(選抜方法B(理系受験))	6	24	22	6	3.7	0	0	0	6	4	6	0	0	0	3	3	5	
推薦(選抜方法A(文系受験))	4	6	6	4	1.5	0	0	0	4	3	1	4	0	0	0	4	2	
推薦(選抜方法B(理系受験))	16	50	45	16	2.8	0	0	0	16	7	9	16	0	0	6	10	12	
小計	8	16	14	8	1.8	2	0	0	6	4	2	0	0	0	6	6	0	
外国人留学生	130	516	343	150	2.3	11	0	139	77	62	113	20	6	46	93	108	0	
合計	45	291	286	59	4.8	4	0	55	43	12	35	20	0	5	50	19	0	
前期日程																		
後期日程																		
推薦I	45	180	83	45	1.8	3	0	0	42	31	11	20	22	0	6	36	17	
推薦II	15	47	41	15	3.1	0	0	0	15	12	3	15	0	0	4	11	10	
外国人女子	5	13	13	5	2.6	0	0	0	5	4	1	5	0	0	0	5	3	
外国人留学生	若干	1	1	1	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
外国人留学生	若干	6	5	5	5.0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
合計	110	554	435	126	3.5	8	0	118	91	27	75	42	1	15	103	49	0	
前期日程	1,006	2,692	2,409	1,163	2.1	89	8	1,082	658	424	818	281	3	383	699	898	0	
後期日程	241	2,015	787	302	2.6	56	1	247	153	94	151	95	1	54	193	183	0	
推薦	180	454	434	169	2.6	0	0	169	64	105	155	14	0	72	97	145	0	
社会人	64	95	94	72	1.3	12	0	60	34	26	53	5	2	19	41	47	0	
社会人	40	362	362	114	3.2	0	0	114	63	51	105	9	0	46	68	102	0	
外国人女子	142	362	362	114	3.2	0	0	114	63	51	105	9	0	46	68	102	0	
外国人女子	若干	7	7	7	1.8	1	0	1	3	0	3	0	0	0	2	3	0	
外国人留学生	若干	109	83	35	2.7	8	0	27	20	7	0	0	0	0	2	0	0	
合計	1,641	5,734	4,188	1,839	2.3	168	9	1,702	992	710	1,282	384	36	574	1,128	1,375	0	

注1) 多文化社会学部(前期日程・後期日程)、医学部医学科(前期日程)および水産学部(前期日程)の志願者数は、第1段階選抜の合格者を上欄に、不合格者数を下欄に表示した。

注2) 志願者には、出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による受験資格無資格者であることが判明したものは含まない。

合格者の得点率段階別成績

学部・学科等	日程	区分	得点率段階別																				満点	人数計	平均点	総得点(最高)	総得点(最低)	
			0%	5%未満	5%以上10%未満	10%以上15%未満	15%以上20%未満	20%以上25%未満	25%以上30%未満	30%以上35%未満	35%以上40%未満	40%以上45%未満	45%以上50%未満	50%以上55%未満	55%以上60%未満	60%以上65%未満	65%以上70%未満	70%以上75%未満	75%以上80%未満	80%以上85%未満	85%以上90%未満	90%以上95%未満						95%以上100%
多文化社会学部 国際公共政策コース	前期	センター試験																				3	300	87	246.4	523.50		
	後期	個別試験																					3	300	87	212.7	413.30	
社会学部 社会行動コース	前期	センター試験																						300	12	265.6	526.55	
	後期	個別試験																						300	12	220.4	435.50	
社会学部 言語コミュニケーションコース	前期	センター試験																						300	5	*	*	
	後期	個別試験																						360	5	*	*	
多文化社会学部 オランダ特別コース	前期	センター試験																						900	60	588.3	1114.20	
	後期	個別試験																						600	60	380.8	803.50	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						800	18	594.1	788.80	
	後期	個別試験																						300	18	163.2	630.00	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						900	5	*	*	
	後期	個別試験																						300	5	*	*	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						1100	5	*	*	
	後期	個別試験																						200	5	*	*	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						900	7	*	*	
	後期	個別試験																						600	7	*	*	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						900	8	*	*	
	後期	個別試験																						600	8	*	*	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						700	5	*	*	
	後期	個別試験																						700	5	*	*	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						700	2	*	*	
	後期	個別試験																						700	2	*	*	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						900	5	*	*	
	後期	個別試験																						700	5	*	*	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						900	3	*	*	
	後期	個別試験																						600	3	*	*	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						900	3	*	*	
	後期	個別試験																						300	3	*	*	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						900	6	*	*	
	後期	個別試験																						600	6	*	*	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						900	15	612.0	1110.45	
	後期	個別試験																						600	15	411.6	940.10	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						900	8	*	*	
	後期	個別試験																						600	8	*	*	
教育学部 学校教育教員養成課程	前期	センター試験																						800	1	*	*	
	後期	個別試験																						300	1	*	*	

学部・学科等	日程	区分	%													満点	人数計	平均点	総得点最高 総得点最低												
			0% 5%未満	5%以上 10%未満	10%以上 15%未満	15%以上 20%未満	20%以上 25%未満	25%以上 30%未満	30%以上 35%未満	35%以上 40%未満	40%以上 45%未満	45%以上 50%未満	50%以上 55%未満	55%以上 60%未満	60%以上 65%未満					65%以上 70%未満	70%以上 75%未満	75%以上 80%未満	80%以上 85%未満	85%以上 90%未満	90%以上 95%未満	95%以上 100%					
経営学部	前期	センター試験																									450	214	305.5	614.90	
		個別試験																										300	214	210.7	477.20
	後期	センター試験																										400	49	305.2	473.10
医学部 医学科	前期	センター試験																										200	49	129.5	419.70
		個別試験																										450	88	388.9	1091.05
	後期	センター試験																										760	88	633.5	985.50
医学部 保健学科	前期	センター試験																										450	80	308.2	564.10
		個別試験																										300	80	183.1	445.00
	後期	センター試験																										450	28	298.2	624.90
法学部	前期	センター試験																										400	28	227.4	443.90
		個別試験																										900	34	697.6	1038.00
	後期	センター試験																										300	34	240.0	843.40
薬学部 薬科学科	前期	センター試験																										500	7	*	*
		個別試験																										300	7	*	*
	後期	センター試験																										800	34	661.7	926.80
工学部	前期	センター試験																										300	34	219.2	850.10
		個別試験																										600	13	532.1	700.00
	後期	センター試験																										200	13	148.9	665.80
環境科学部 環境科学科	前期	センター試験																										400	34	304.5	628.05
		個別試験																										600	24	501.5	697.40
	後期	センター試験																										200	24	134.6	601.40
環境科学部 (選択方法A)	前期	センター試験																										700	306	452.1	1009.80
		個別試験																										600	306	347.1	725.00
	後期	センター試験																										600	78	454.3	673.80
環境科学部 (選択方法B)	前期	センター試験																										200	78	159.4	571.40
		個別試験																										800	49	538.1	741.20
	後期	センター試験																										200	49	124.4	622.40
水産学部	前期	センター試験																										600	15	439.2	587.20
		個別試験																										100	15	69.4	459.40
	後期	センター試験																										800	49	531.8	872.40
	個別試験																											400	49	279.4	778.90
	センター試験																											600	13	433.0	569.00
	個別試験																											100	13	72.7	454.80
	センター試験																											900	59	550.4	221.25
	個別試験																											260	59	191.8	180.00
	センター試験																											1000	45	729.7	889.00
	個別試験																											100	45	75.8	771.00

注1) 大学入試センター試験及び個別学力試験では、学部・学科により受験生に課す教科・科目等が異なる。本表の得点率は、学部・学科で定める傾斜配点をもとに算出している。
 2) *印は、段階評価し点数化しないもの。個別学力検査を課さないもの。合格者が10人未満のため個人情報保護のため個人情報を掲載しないものを示す。
 3) 多文化社会学部において外国語検定試験利用者については、大学入試センター試験の外国語の得点を満点として取り扱っている。
 4) 右端には、各学部のセンター試験と個別学力試験の総得点について、上段に最高総得点、下段に最低総得点を表示している。
 ただし、水産学部の前期日程については、大学入試センター試験を資格試験的に利用し、大学入試センター試験の得点は可否判定には利用しないため、個別試験のみの最高点及び最低点を表示している。

平成30年度特別入試入学者選抜状況

1. アドミッション・オフィス入試(AO入試)

〇AO入試Ⅰ(大学入試センター試験を課さない)

学 部		課程等	募集人員	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数	入学者数
多文化 社会学部	一般枠	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	8	13	12	9	9
		オランダ特別	2	2	2	2	2
	グローバル・ 国際バカロレア枠	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	4	3	3	3	3
		オランダ特別	1	0	0	0	0
計			15	18	17	14	14
教育学部		小学校教育コース	15	61	30	15	15
		幼稚園教育コース	10	20	19	10	10
		特別支援教育コース	1	3	2	1	1
		計	26	84	51	26	26
経済学部		実践力枠	5	29	12	5	5
		グローバル枠	10	7	7	6	6
		計	15	36	19	11	11
工学部		機械工学コースA	-	-	-	-	-
		機械工学コースB	6	11	11	7	7
		電気電子工学コースA	5	6	6	4	4
		電気電子工学コースB	5	10	10	5	5
		情報工学コースA	1	9	3	0	0
		情報工学コースB	3	12	9	4	4
		構造工学コースA	5	19	15	3	3
		構造工学コースB	2	5	5	1	1
		社会環境デザイン工学コースA	10	31	25	10	10
		社会環境デザイン工学コースB	3	6	6	3	3
		化学・物質工学コースA	4	6	6	4	4
		化学・物質工学コースB	2	3	3	1	1
計			46	118	99	42	42
水産学部		水産学科	5	13	12	5	5
合 計			107	269	198	98	98

〇AO入試Ⅱ(大学入試センター試験を課す)

学 部	課程等	募集人員	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数	入学者数	
歯学部	歯学科	10	34	30	10	10	
薬学部	薬科学科	4	0	0	0	0	
工学部		機械工学コース	5	11	11	2	2
		電気電子工学コース	2	2	2	0	0
		情報工学コース	4	20	20	1	1
		構造工学コース	5	10	10	1	1
		社会環境デザイン工学コース	2	11	11	1	1
		化学・物質工学コース	3	5	5	1	1
		計		21	59	59	6
合 計		35	93	89	16	16	

〇AO入試総合計

学 部	課程等	募集人員	志願者数	第1次選考 合格者数	合格者数	入学者数
全学部		142	362	287	114	114

2. 推薦入試

○推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）

学 部 ・ 学 科 等				募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	推薦入試A	35	67	67	35	35
			推薦入試B	5	4	4	4	4
			(小 計)	40	71	71	39	39
		中学校教育コース	国語専攻	3	6	6	3	3
			社会専攻	3	8	8	3	3
			数学専攻	2	14	14	2	2
			理科専攻	3	9	9	4	4
			音楽専攻	1	4	4	1	1
			美術専攻	1	2	2	1	1
			保健体育専攻	2	11	11	2	2
			技術専攻	2	5	5	2	2
			家庭専攻	2	4	4	2	2
			英語専攻	3	11	11	4	4
		(小 計)	22	74	74	24	24	
		幼稚園教育コース	5	18	18	5	5	
特別支援教育コース	4	4	4	3	3			
計	71	167	167	71	71			
経済学部	総合経済学科(昼間コース)			20	20	20	19	19
医学部	保健学科	看護学専攻	推薦入試①	8	32	32	8	8
			推薦入試②	2	2	2	2	2
		理学療法学専攻		2	14	14	2	2
		作業療法学専攻		2	16	16	2	2
	計			14	64	64	14	14
水産学部	水産学科			15	47	47	15	15
合 計				120	298	298	119	119

○推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）

学 部 ・ 学 科 等				募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
医学部	医 学 科	推薦入試A		15	33	31	17	17
		推薦入試B		15	22	19	3	3
		推薦入試C(佐賀)		2	4	3	2	2
		推薦入試C(宮崎)		2	6	6	2	2
		推薦入試D		10	41	32	10	10
		計			44	106	91	34
環境科学部	環境科学科	推薦入試①A(文系)		6	20	17	6	6
		推薦入試①B(理系)		6	24	22	6	6
		推薦入試②		4	6	6	4	4
	計			16	50	45	16	16
合 計				60	156	136	50	50

○推薦入試合計

学 部 ・ 学 科 等				募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数
全学部				180	454	434	169	169

3. 帰国子女入試

学 部	学科等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
多文化社会学部	国際公共政策コース他	若干人	4	4	2	2
	オランダ特別コース	若干人	0	0	0	0
	小 計		4	4	2	2
工学部	機械工学コース	若干人	0	0	0	0
	電気電子工学コース	若干人	0	0	0	0
	情報工学コース	若干人	0	0	0	0
	構造工学コース	若干人	1	1	0	0
	社会環境デザイン工学コース	若干人	0	0	0	0
	化学物質工学コース	若干人	1	1	1	1
	小 計		2	2	1	1
水産学部	水産学科	若干人	1	1	1	0
合 計			7	7	4	3

4-1. 社会人入試(11月期募集)

学 部	学科等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
経済学部	(夜間主コース)	40	64	63	51	41	
医学部	保健 学 科	看護学専攻	2	2	2	0	0
		理学療法学専攻	1	1	1	0	0
		作業療法学専攻	1	0	0	0	0
		小 計	4	3	3	0	0
合 計		44	67	66	51	41	

4-2. 社会人入試(3月期募集)

学 部	学科等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
経済学部	(夜間主コース)	20	28	28	21	19

5. 外国人留学生入試

学 部	学科等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
多文化社会学部	国際公共政策コース他	若干人	7	5	2	0
	オランダ特別コース	若干人	0	0	0	0
教育学部	学校教育教員養成課程	若干人	1	1	1	1
経済学部	総合経済学科	若干人	12	9	9	7
医学部	医学科	若干人	0	0	0	0
	保健学科	若干人	0	0	0	0
	小 計		0	0	0	0
歯学部	歯学科	若干人	3	1	0	0
薬学部	薬学科	若干人	1	1	0	0
	薬科学科	若干人	0	0	0	0
	小 計		1	1	0	0
工学部	機械工学コース	若干人	11	10	3	2
	電気電子工学コース	若干人	7	5	2	2
	情報工学コース	若干人	19	18	2	2
	構造工学コース	若干人	3	3	0	0
	社会環境デザイン工学コース	若干人	7	6	3	2
	化学物質工学コース	若干人	16	15	4	4
	小 計		63	57	14	12
環境科学部	環境科学科	8	16	14	8	6
水産学部	水産学科	若干人	6	5	1	1
合 計			109	93	35	27

11. 平成 31 年度入試の主な変更点（詳細）

【多文化社会学部】

1. 一般入試（前・後期日程）及びAO入試で利用可能な外国語検定試験を次のとおり廃止及び追加する。
廃止：TOEFL Junior Comprehensive 341 点以上のスコア（AO入試は継続）
追加：GTEC(4 技能) 1140 点以上のスコア及び GTEC(3 技能) 700 点以上のスコア

【教育学部】

1. 中学校教育コース英語専攻の外国人留学生入試の出願要件に、次の項目を追加する。
○TOEFL iBT, TOEFL PBT 又は TOEIC L&R を受験していること。（ただし、出願期間最終日から過去 2 年以内に受験した外国語検定試験に限る。）

【医学部保健学科】

1. 社会人入試の合否判定基準を次のとおり変更する。
（旧）「小論文、面接のいずれかの得点が著しく低い者については、個別に審査して合否を決定する。」

（新）「小論文、面接のいずれかの得点が著しく低い者、あるいは総得点が一定の基準に達していない者については個別に審査して合否を決定する。」

【歯学部】

1. 一般入試（前・後期日程）の出願書類に「志願調書」を追加する。様式等の詳細は本学HP参照。
2. 一般入試（前期日程）の『個別学力検査等』について、「外国語」を必須とし「数学」及び「理科」から 1 教科選択とする。
3. 一般入試（後期日程）において、「総合問題・面接」の採点・評価基準を次のとおり変更する。
（旧）総合問題は、理解力、判断力、論理的思考力、表現力等をみる。日本語、英語による教科横断的問題で、成績を点数評価する。
面接は、集団面接を行い、歯学、歯科医療に対する資質や適性等を総合的に判断する。点数化せず、段階評価する。

（新）総合問題は、理解力、判断力、論理的思考力、表現力等をみる。日本語、英語による教科横断的問題で、成績を点数評価する。
面接は、個人面接を行い、アドミッション・ポリシーに基づき、志願調書を参考に、志望動機、意欲、目的意識、コミュニケーション能力、協調性等を総合的に判断する。点数化せず、段階評価する。
4. 外国人留学生入試の『選抜方法等』について、上記 2. の一般入試（前期日程）の個別学力検査等と同様に、「外国語」を必須とし「数学」及び「理科」から 1 教科選択とする。
5. 外国人留学生入試において、出願要件に次の項目を追加し、利用可能な日本留学試験の成績を変更する。
○出願要件
上記の要件を満たし、かつ、日本留学試験の日本語（聴解・聴読解、読解及び記述）合計 360 点以上、基礎学力（数学、理科 2 科目）320 点以上の得点を有すること。

○日本留学試験の成績
（旧）平成 29 年 6 月若しくは 11 月又は平成 30 年 6 月若しくは 11 月実施分のいずれか 1 回分の成績
（新）平成 29 年 6 月、11 月又は平成 30 年 6 月実施分のいずれか 1 回分の成績

【薬学部】

1. 薬学科において、次のとおり変更する。

○新たに推薦入試（募集人員4人）を導入する。出願要件及び選抜方法は以下のとおり。

【出願要件】

高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの

（本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。）

- ①地域医療を志し、学習成績概評が㊤又はA段階に属する者で、人物に優れ、長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの
- ②大学卒業後あるいは博士課程修了後、長崎大学病院あるいは長崎大学病院の推薦する病院、薬局等にて3年間、薬剤師業務に従事することを確約できる者
- ③大学入試センター試験で、薬学部が指定した教科・科目を受験する者
- ④合格した場合は、入学することを確約できる者

【選抜方法等】

高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。

ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。

＜大学入試センター試験指定教科・科目＞

数 : 数Ⅰ・数A

数Ⅱ・数B

理 : 物理, 生物から1

化学

外 : 英, 独, 仏, 中, 韓 から1

[3教科5科目]

○一般入試（後期日程）の募集人員を10人から6人に変更する。

○一般入試（後期日程）の個別学力検査等に「面接」を加え、「総合問題, 面接」による選抜に変更する。なお、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。また、後期日程においては、薬学部が指定する大学入試センター試験の3教科5科目の合計点が600点満点中480点以上の者を第1段階の選抜の合格者とする。

2. 薬科学科において、次のとおり変更する。

○AO入試（募集人員4人）を廃止する。

○新たに推薦入試（募集人員4人）を導入する。出願要件及び選抜方法は以下のとおり。

【出願要件】

高等学校又は中等教育学校を平成29年4月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月以降に修了した者及び平成31年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの

（本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。）

- ①薬学・生命科学分野の研究者・技術者を志し、学習成績概評が㊤又はA段階に属する者で、人物に優れ、博士号の取得を目指して長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士後期課程又は博士課程まで進学することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの
- ②大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程に進学し、その後、博士号の取得を目指して同研究科博士後期課程又は博士課程に進学することを確約できる者
- ③大学入試センター試験で、薬学部が指定した教科・科目を受験する者
- ④合格した場合は、入学することを確約できる者

【選抜方法等】

高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。

ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。

＜大学入試センター試験指定教科・科目＞

数 : 数Ⅰ・数A
 数Ⅱ・数B
理 : 物理, 生物から1
 化学
外 : 英, 独, 仏, 中, 韓 から1

[3教科5科目]

【工学部】

1. AO入試Ⅰ・Bにおいて、電気電子工学コースの出願要件に次の項目を追加する。

○工業又は水産（電気・通信）に関する教科・科目を20単位以上修得した者及び平成31年3月までに修得見込みの者

2. AO入試Ⅰにおいて、電気電子工学コースの募集人員を次のとおり変更する。

AO入試Ⅰ・A : (旧) 5人 → (新) 4人

AO入試Ⅰ・B : (旧) 5人 → (新) 6人

3. AO入試Ⅰ, Ⅱにおいて、選抜方法等の合否判定（第2次選考）へ下線部分を追加する。

AO入試Ⅰ：上記の配点で適性評価と基礎学力評価の合計点が140点以上である者を対象に、合計点の高い順に合格者を決定する。

ただし、適性評価の点数が著しく低い場合は、不合格とする。

AO入試Ⅱ：総合点300点以上の者を対象に、総合点の高い順に合格者を決定する。

ただし、面接の点数が著しく低い場合は、不合格とする。

4. 外国人留学生入試において、出願要件に次の項目を追加し、利用可能な日本留学試験の成績を変更する。

○出願要件

上記の要件を満たし、かつ、日本留学試験の日本語（聴解・聴読解及び読解）合計240点以上の得点を有すること。

○日本留学試験の成績

(旧) 平成29年6月若しくは11月又は平成30年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績

(新) 平成29年6月, 11月又は平成30年6月のいずれか1回分の成績

12. 2020 年度長崎大学入学者選抜方法の変更点について（予告）

2020年度長崎大学入学者選抜方法の変更点は次のとおりです。

1. 多文化社会学部の一般入試（前期日程・後期日程）において、大学入試センター試験の外国語の得点を満点として取り扱い第1段階選抜の合格者とする外国語検定試験のスコアについて、「GTEC for STUDENTS(L&R&W) 700 点以上」及び「GTEC for STUDENTS(L&R&W)+(S) 850 点以上」を対象から外します。
また、「GTEC CBT 1040 点以上」を「GTEC CBT 1100 点以上」に変更します。
2. 多文化社会学部のAO入試 I（一般枠）において、出願要件で利用可能な外国語検定試験のスコアについて、「TOEFL Junior Comprehensive 341 点以上」、「GTEC for STUDENTS(L&R&W) 700 点以上」及び「GTEC for STUDENTS(L&R&W)+(S) 850 点以上」を対象から外します。
また、「GTEC CBT 1040 点以上」を「GTEC CBT 1100 点以上」に変更します。
3. 教育学部中学校教育コース社会専攻の外国人留学生入試において、出願要件に次の項目を追加します。
○TOEFL iBT 41 点以上、TOEFL PBT 440 点以上、TOEIC L&R 400 点以上のいずれかのスコアを有すること。（ただし、出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。）
また、『選抜方法等』について、「国語，面接」を「面接」に変更します。
4. 歯学部一般入試（後期日程）において、2段階選抜を実施します。ついては、入学者選抜方法等に次の項目を追加します。
○入学志願者が後期日程においては募集人員（7人）の約20倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施することが極めて困難となるため、大学入試センター試験の成績により第1段階の選抜を行い、個別学力検査等の受験者を決定する。

13. 2021 年度長崎大学入学者選抜方法の変更点について（予告）

2021年度長崎大学入学者選抜方法の変更点は次のとおりです。

【全学部共通】

2021年度長崎大学入学者選抜から卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえた入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、「学力の3要素」（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価することとします。

また、各々の入学者選抜としての特性をより明確にするため、入試区分を次のとおり変更します。

2020年度入学者選抜	2021年度入学者選抜
一般入試	一般選抜
A〇入試Ⅰ	総合型選抜Ⅰ
A〇入試Ⅱ	総合型選抜Ⅱ
推薦入試Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅰ
推薦入試Ⅱ	学校推薦型選抜Ⅱ

注)「総合型選抜Ⅰ」及び「学校推薦型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さず、「総合型選抜Ⅱ」及び「学校推薦型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課します。

1. 一般選抜

- 原則として、大学入学共通テストの5教科7科目（国語及び数学の記述式問題を含む）を課します。
- 個別学力検査に思考力・判断力・表現力を評価する高度な記述式問題を導入します。
- 原則として、国が出すCEFR*の段階別成績表示による対照表の水準が「A2」以上であることを出願資格^(注1)とします。また、同対照表の水準に応じて「大学入学共通テスト」の英語科目の得点に加点します。
なお、学部・学科等によっては、「個別学力検査」において、各学部・学科のアドミッション・ポリシーに基づき、CEFRの水準に応じて加点する場合があります。
※ Common European Framework of Reference for Languages : Learning , teaching , assessment（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠）
(注1) 学部・学科等によっては、「B1」以上を出願資格とする場合があります。
- 調査書を配点の対象とします^(注2)。その割合は配点合計の10%以下とします。ただし、調査書を提出できない場合は調査書に代わる書類・資料を求めることとし、その書類・資料を用いた評価を行います。
(注2) 調査書記入担当者の主観で記入する箇所は、一般選抜において配点の対象としません。
- 面接又はペーパー・インタビュー（面接に代わる筆記試験）を課します^(注3)。
(注3) 多文化社会学部は、主体性等の評価において面接（もしくはペーパー・インタビュー）を実施しない場合があります。実施しない場合は、主体性等は調査書を通じて評価を行います。

2. 総合型選抜、学校推薦型選抜

- 各学部・学科のアドミッション・ポリシーに基づき、提出書類、小論文、口頭試問、実技、各教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の結果等を用い、学力の3要素を多面的・総合的に評価します。
なお、学校推薦型選抜においては、学校長の推薦書に記載された学習歴や活動歴を踏まえた学力の3要素も評価の資料の一部として用います。
- 大学入学共通テストの英語を課す入試区分においては、原則として、CEFRの段階別成績表示による対照表の水準「A2」以上を出願資格^(注4)とします。また、学部・学科等によっては、各学部・学科のアドミッション・ポリシーに基づき、CEFRの水準に応じて加点する場合があります。
(注4) 学部・学科等によっては、異なる水準を出願資格とする場合があります。

※ 詳細につきましては、決まり次第、大学ホームページで公表します。

入試に関する問い合わせ先

長崎大学学生支援部入試課

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

☎ 095-819-2111

長崎大学ホームページ（入試情報サイト）

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/nyu-main.html>